

平成 24 年度
外国人観光客満足度調査報告書

I.空 路 調 査

II.クルーズ船調査

沖縄県

目次

第一部 空路調査	1
1. 訪沖外国人観光客の属性	
(1) 回答者属性.....	2
(2) 旅行経験.....	4
2. 訪沖外国人観光客の旅行内容	
(1) 同行者.....	6
(2) 旅行ルート（直行・経由）.....	7
(3) 旅行形態.....	8
(4) 宿泊数.....	9
(5) 宿泊先.....	10
(6) 交通手段.....	11
(7) 訪問先.....	12
3. 訪沖外国人観光客の滞在中の消費活動	
(1) 沖縄で購入したもの.....	16
4. 訪沖外国人観光客の情報源	
(1) 沖縄を選んだ決め手.....	18
(2) 観光の決め手となった情報源.....	20
(3) 滞在中に役立った情報源.....	21
5. 沖縄旅行の評価	
(1) 活動の参加率.....	22
(2) 活動の満足度.....	23
(3) 再訪時に行いたいこと.....	24
(4) 沖縄旅行で得られた満足度.....	25
6. 沖縄への再訪意向	
(1) 再訪意向.....	31
(2) 再訪時期.....	31
7. 訪沖外国人観光客の旅行支出（空路）	
(1) 消費額推計結果.....	32
(2) 費目別旅行支出.....	32
8. 空路国籍別サマリー	33
第二部 クルーズ船調査	39
9. 訪沖外国人観光客の属性	
(1) 回答者属性.....	40
(2) 旅行経験.....	42

10. 訪沖外国人観光客の旅行内容	
(1) 同行者	44
(2) 下船形態	44
(3) ツアー購入形態	45
(4) 交通手段	46
(5) 訪問場所	47
(6) クルーズ船旅行参加理由	49
(7) 下船理由	50
11. 訪沖外国人観光客の情報源	
(1) 観光の決め手となった情報源	51
(2) 沖縄で役に立った情報源	52
12. 沖縄旅行の評価	
(1) 沖縄旅行で得られた満足度	53
13. 沖縄への再訪意向	
(1) 再訪意向	58
14. 石垣島入域に関する情報	
(1) 石垣島下船の状況	59
(2) 下船形態	59
(3) 訪問場所	60
(4) 石垣島の満足度	61
15. 訪沖外国人観光客の旅行支出（海路）	
(1) 消費額推計結果	62
(2) 費目別旅行支出	62
16. クルーズ船国籍別サマリー	63
付属資料Ⅰ 最も満足した商品分析	67
<input type="checkbox"/> 最も満足した商品分析 空路	68
<input type="checkbox"/> 最も満足した商品分析 クルーズ船	74
付属資料Ⅱ 自由記述	77
<input type="checkbox"/> 活動の満足度に関する自由記述 空路	78
<input type="checkbox"/> 沖縄観光に関する自由記述 空路	102
<input type="checkbox"/> 石垣島・八重山の感想に関する自由記述 クルーズ船	147
<input type="checkbox"/> 沖縄観光に関する自由記述 クルーズ船	150
付属資料Ⅲ アンケート票	155
<input type="checkbox"/> アンケート票 空路・クルーズ船	156
付属資料Ⅳ クロス表	163
<input type="checkbox"/> クロス表 空路・クルーズ船	164

□ 調査概要

1. 調査目的

沖縄に訪問する外国人観光客を対象にアンケート調査を実施。観光動向やニーズを把握し、外国人観光客の受入体制の強化、充実を図るための情報収集を目的とする。

2. 調査対象

沖縄出発（搭乗・乗船）の外国人観光客

I. 空路 那覇空港国際線利用者

II. クルーズ 沖縄に寄港したクルーズ船の外国人観光客並びにクルーズ船乗務員

3. 調査の方法

調査対象者による自記式調査。中国語簡体字/繁体字・韓国語・英語で作成した調査票を使用。

4. 調査場所

I. 空路 那覇空港国際線搭乗待合室

II. クルーズ 泊ふ頭8号岸壁（若狭大型旅客船バース）

5. 調査期間

I. 空路 平成24年4月26日（木）～平成25年1月15日（火）

II. クルーズ 平成24年6月26日（火）～平成24年11月4日（日） 調査回数10回

6. 回収サンプル構成

I. 空路：2,328票 II. クルーズ：969票

表 回収サンプル数

「その他」は欧州、オセアニア、アジア諸国等が含まれる

国籍	I.空路	構成比	II.クルーズ	構成比
※中国本土	469	20.1%	171	17.6%
マルチビザ有	(227)	(52.2%)	(25)	(25.8%)
マルチビザ無	(208)	(47.8%)	(72)	(74.2%)
台湾	657	28.2%	530	54.7%
香港	614	26.4%	268	27.7%
韓国	365	15.7%		
米国	48	2.1%		
その他	175	7.5%		
合計	2,328	100.0%	969	100.0%

※中国本土については以下中国と表記する

空路調査

平成 24 年度外国人観光客満足度調査

第一部の構成

- 訪沖外国人観光客の属性
- 訪沖外国人観光客の旅行内容
- 訪沖外国人観光客の滞在中の消費活動
- 訪沖外国人観光客の情報源
- 沖縄旅行の評価
- 沖縄への再訪意向
- 訪沖外国人観光客の旅行支出
- 空路国籍別サマリー

1. 訪沖外国人観光客の属性

(1) 回答者属性

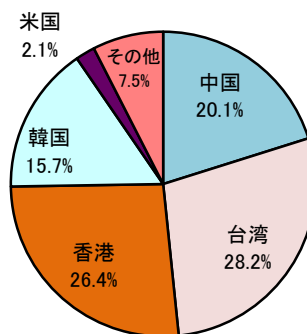
・国籍別構成比

国籍別構成比は中国 20.1%、台湾 28.2%、香港 26.4%、韓国 15.7%となり、これら4カ国が全国籍の9割以上を占める。その他の国籍にはカナダやヨーロッパ諸国などの欧米圏やオセアニア、またシンガポール、マレーシアなどのアジア圏が主に含まれる。

図表 1-1 回答者数（国籍別）

国籍	人数	構成比
中国	469	20.1%
台湾	657	28.2%
香港	614	26.4%
韓国	365	15.7%
米国	48	2.1%
その他	175	7.5%
合計	2328	100.0%

図表 1-2 回答者構成比（国籍別）



・中国人マルチビザ構成比

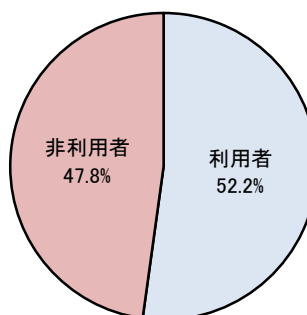
中国人マルチビザ利用者構成比は利用者 52.2%、非利用者 47.8%となり、利用者の比率が非利用者の比率を若干上回る。

また、平成 23 年度の中国人マルチビザ利用者構成比（利用者 49.7%、非利用者 50.3%）と比較すると、今年度の利用者の比率が昨年度の比率をわずかに上回る。

図表 1-3 回答者数（マルチビザ利用有無）

	人数	構成比
利用者	227	52.2%
非利用者	208	47.8%
合計	435	100%

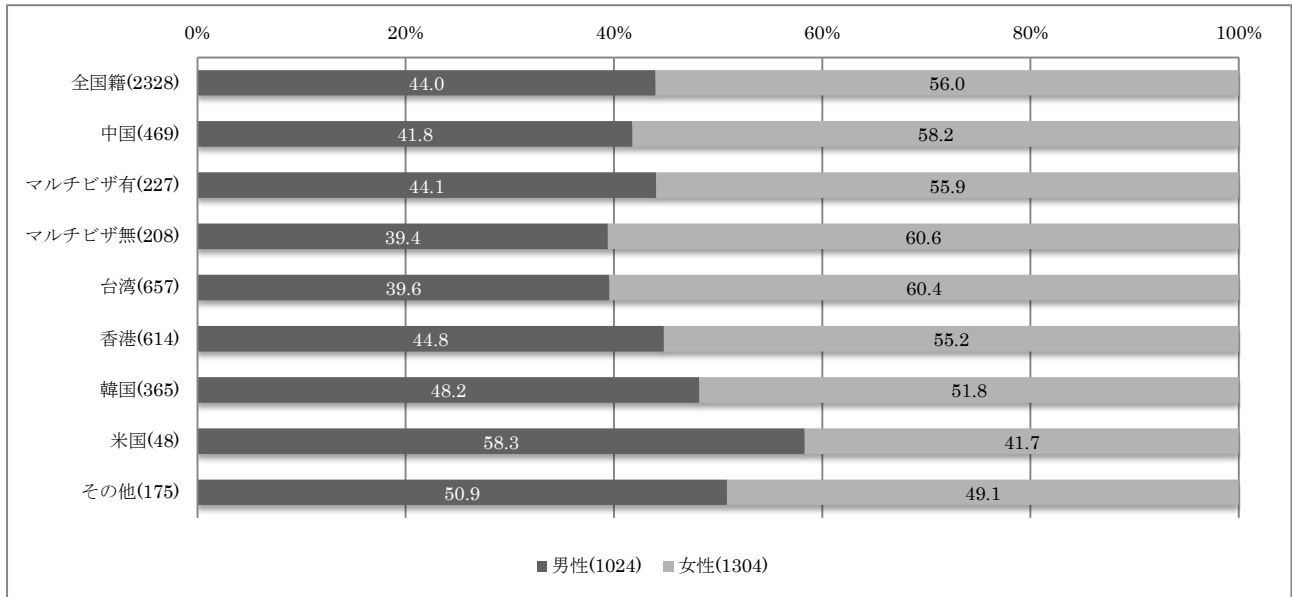
図表 1-4 回答者構成比（マルチビザ利用有無）



・性別構成比

性別構成比は全国籍で男性 44.0%、女性 56.0%となり、女性のほうがやや多い。中国、台湾、香港、韓国（以下「主要 4 カ国」）全てにおいて、女性が半数を上回る。一方、アメリカとその他の国籍では、男性の割合が女性の割合を上回る。

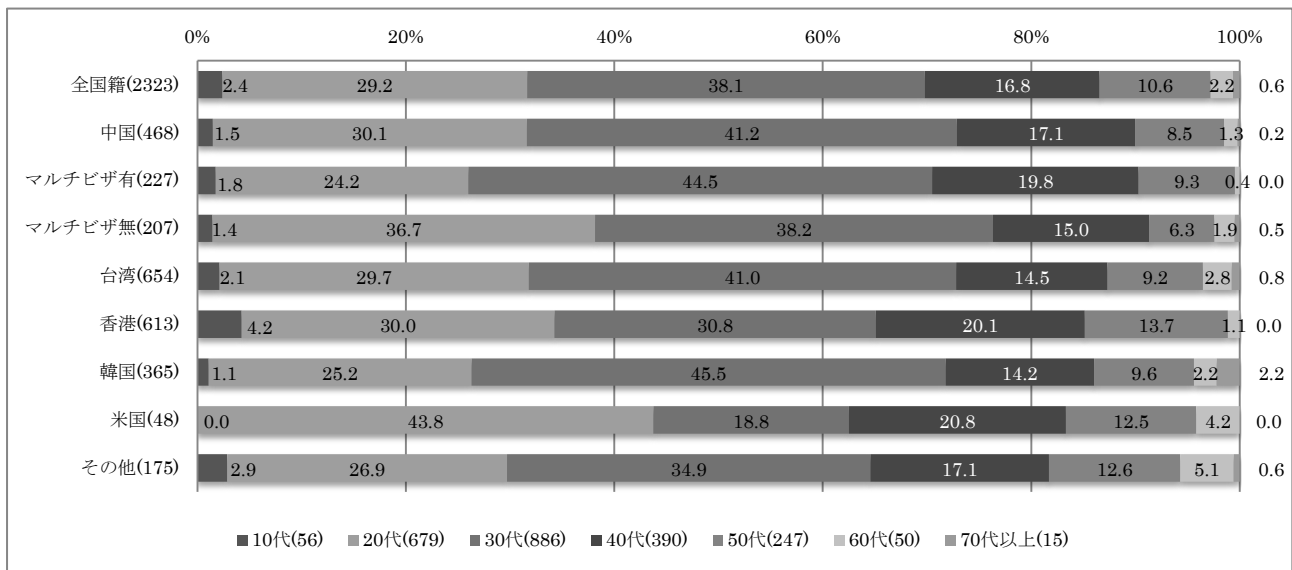
図表 1-5 性別構成比（国籍別）



・年代別構成比

年代別構成比は全ての国籍で 20 代・30 代が 6 割以上を占め、主要 4 カ国全てで 30 代が最も多い。また、全ての国籍で 40 代が 2 割以下、50 代が 1 割程度となり、10 代および 60 代以上は比率としては非常に低い。

図表 1-6 年代別構成比（国籍別）



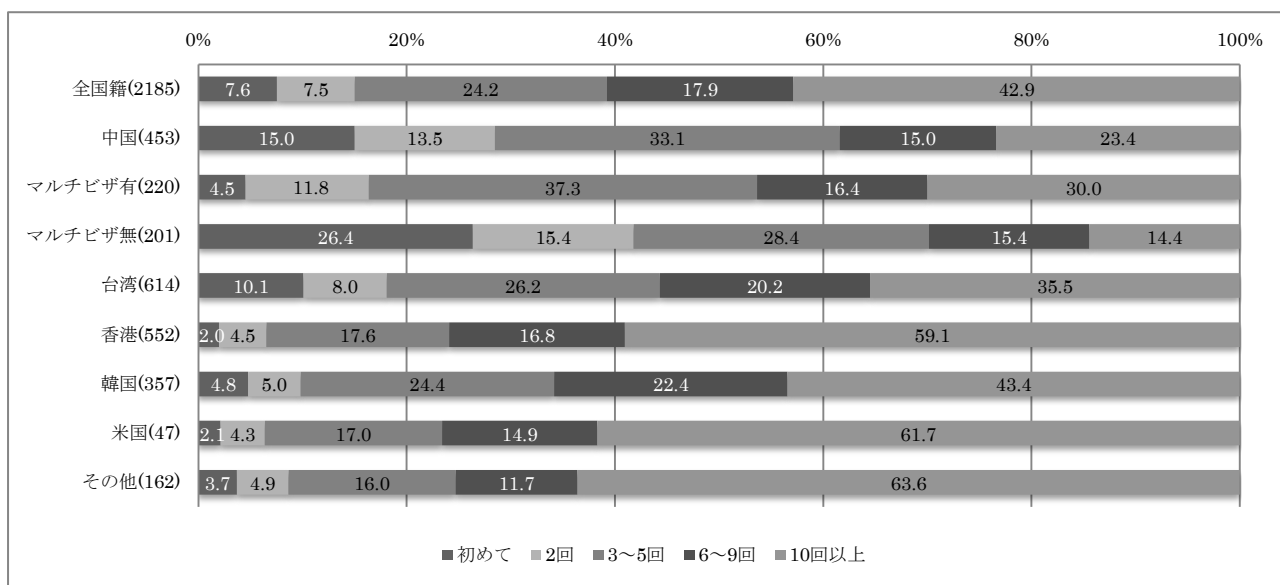
第一部 空路調査

(2) 旅行経験

・海外旅行経験

海外旅行経験については全国籍で「10回以上」が最も多いが、中国ではこの割合が23.4%と他の国籍に比べて低い。また「今回の沖縄旅行が初めての海外旅行」は中国で15.0%、台湾で10.1%、それ以外の国籍では5.0%以下だった。

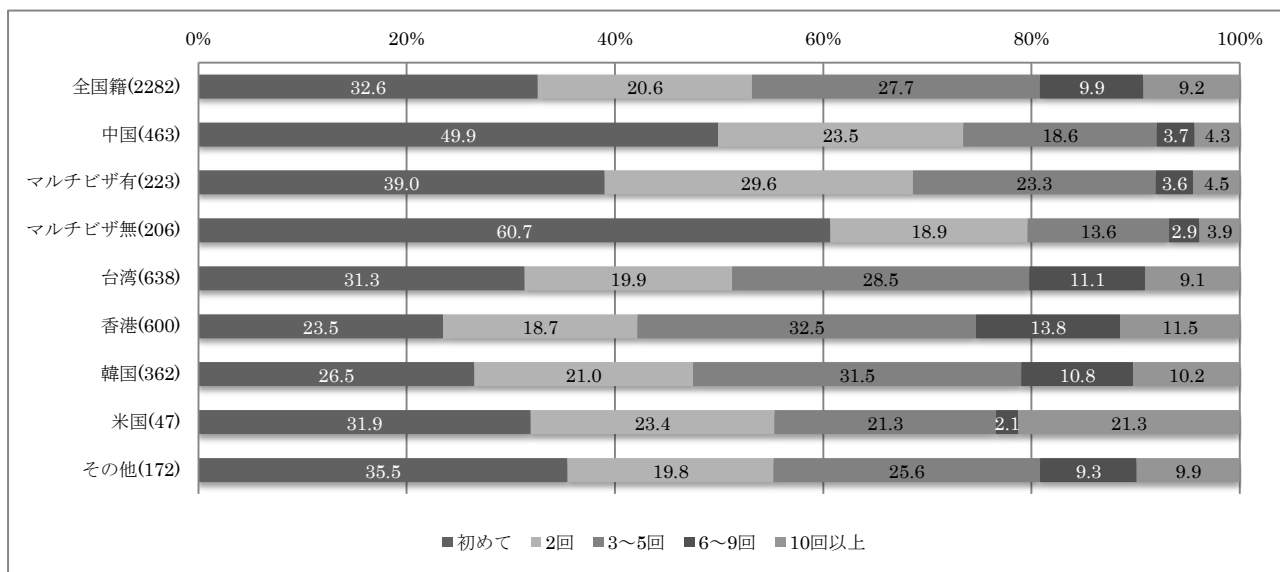
図表 1-7 海外旅行回数（国籍別）



・訪日旅行経験

訪日旅行経験については中国の約半数が「初めて」となっているが、マルチビザの利用の有無で大きな違いがある。また、それ以外の国籍では初来日は2~3割程度と比較的低く、約7割が訪日旅行のリピーターであることが伺える。

図表 1-8 訪日旅行回数（国籍別）

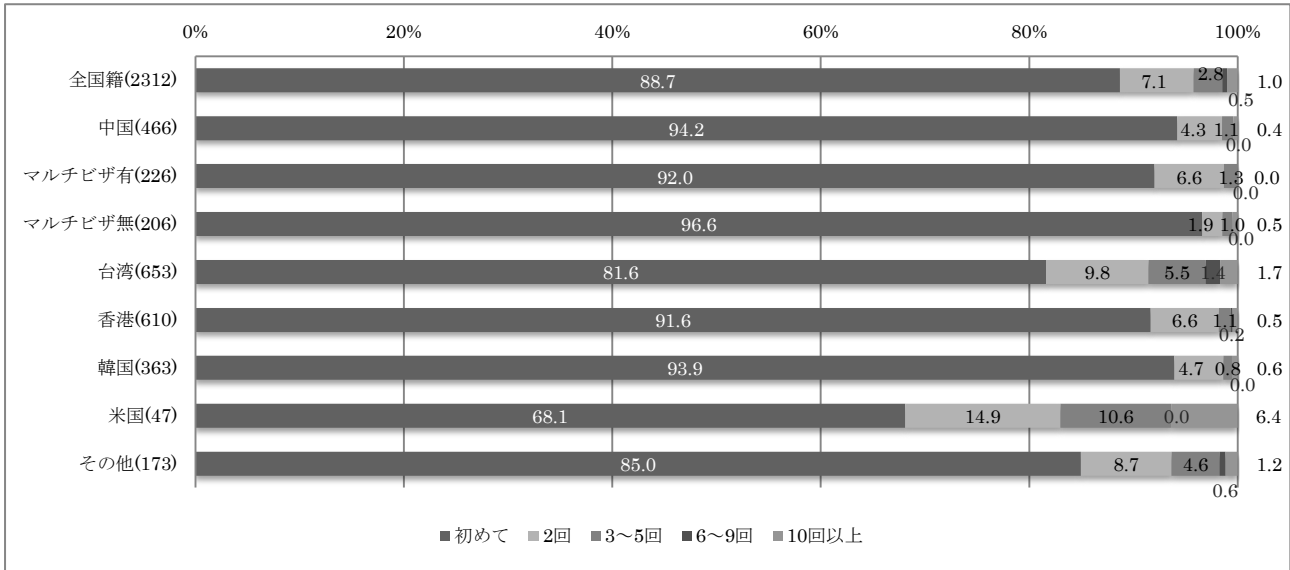


・ 沖縄旅行経験

沖縄旅行経験については、中国、香港、韓国の 9 割以上が「沖縄旅行は初めて」と回答している。アメリカは友人・家族訪問を目的とする旅行者が多く、他国と比べて旅行目的が異なる傾向があることから再来率が 31.9%と全国籍中最も高い。次いで台湾のリピーターは 2 割程度と他の国籍に比べやや多い。

しかし、沖縄旅行の全国籍のリピーターの割合は 1 割程度に過ぎず、外国人観光客の訪日旅行は約 7 割がリピーターであることと比較すると低くなっている（P.4 参照）。

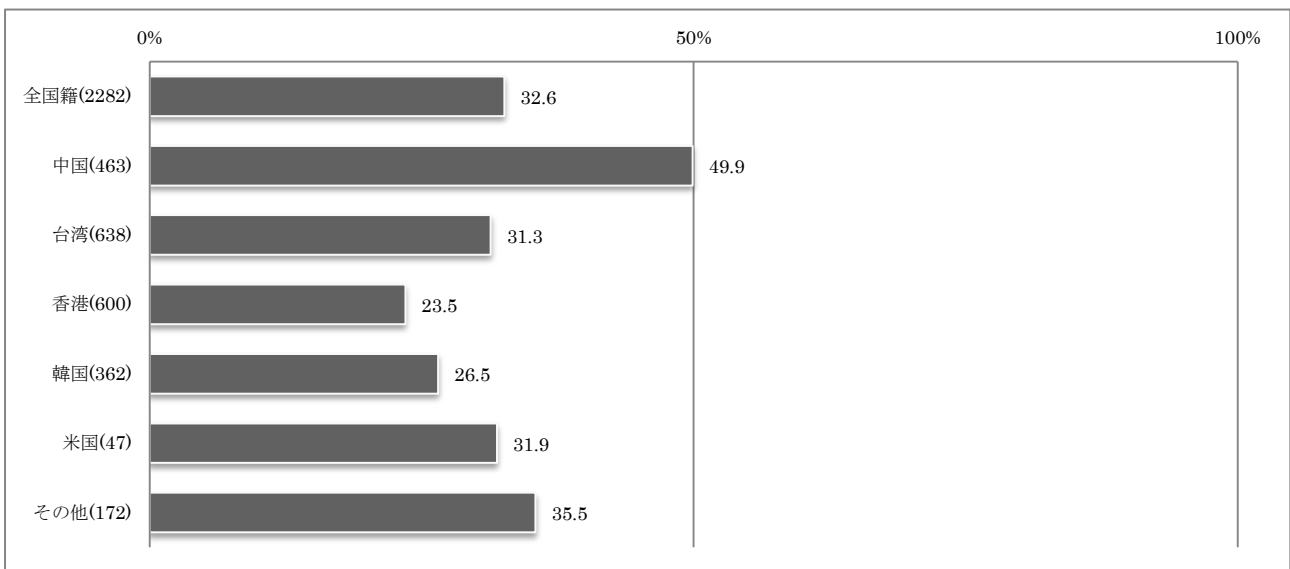
図表 1-9 沖縄旅行回数（国籍別）



・ 沖縄が初めての日本旅行

全国籍の割合が 32.6%に対し、中国は 49.9%と高い結果となった。

図表 1-10 沖縄が初めての日本旅行（国籍別）



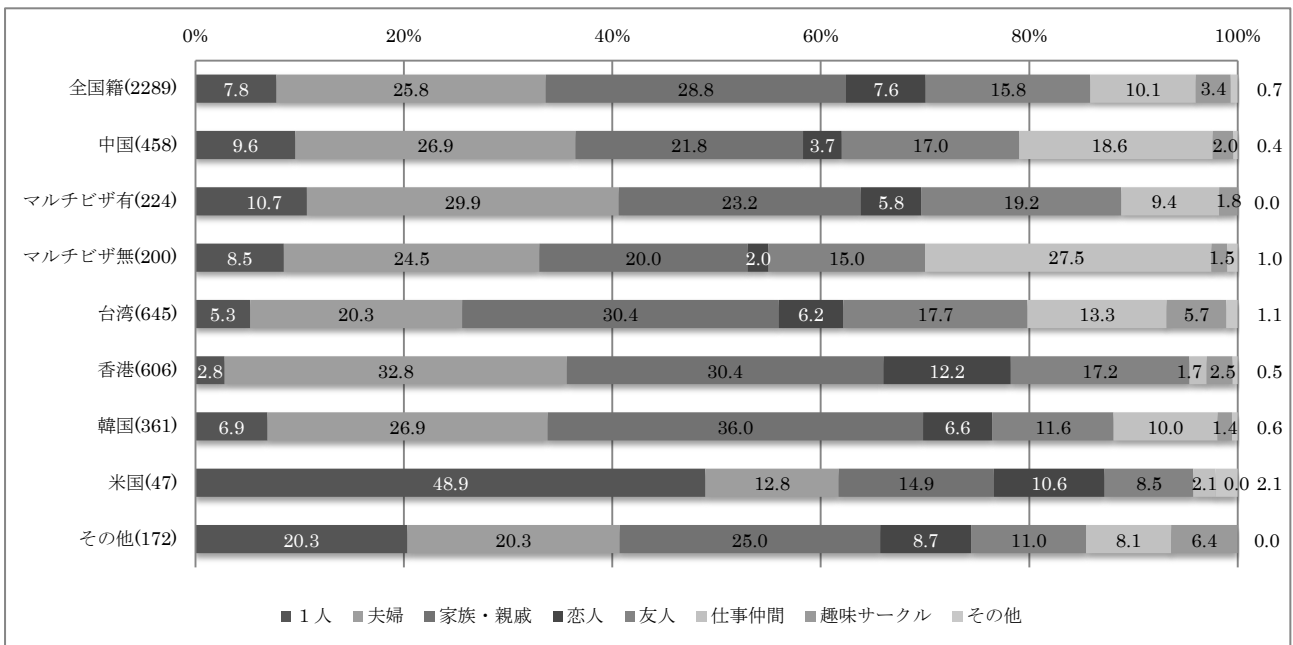
2. 訪沖外国人観光客の旅行内容

(1) 同行者

全国籍で「夫婦」や「家族・親戚」など家族を同行者とするものが多く、中国と台湾では約半数、香港と韓国では6割以上を占める。中国では「一人」で旅行する割合が9.6%と、台湾、香港、韓国に比べて若干高いが、マルチビザ非利用者は「仕事仲間」(27.5%)が最も高く、社員旅行での来沖が多いと考えられる(P.8 参照)。香港では「恋人」を同行する割合が12.2%と全国籍中最も高い。アメリカではほぼ半数が「一人」での旅行である。

また、その他の国籍のうちヨーロッパやオセアニアは「一人」や「夫婦」、「恋人」など少人数で行動する傾向がある一方で、その他アジアは「家族・親戚」が最も多い(巻末クロス表 P.164 参照)。

図表 2-1 同行者 (国籍別)



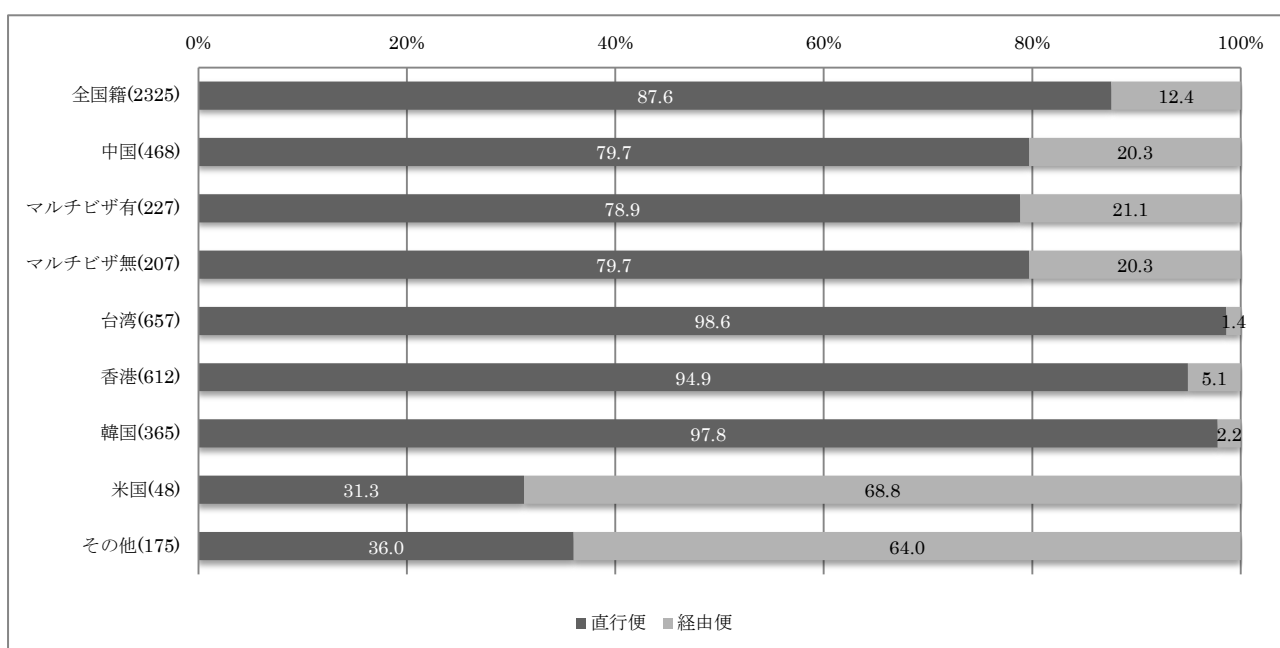
(2) 旅行ルート（直行・経由）

那覇から直行便が就航している空港（北京、上海、台北、台中、香港、ソウル、プサン（2012年10月17日就航）、グアムの8空港）を出発地とした往復ルートを「直行」とし、これらの空港が経由地であった場合、または旅行行程が往復ではないルートを「経由」とする。

台湾、香港、韓国では大半が直行便を利用して来沖しているのに対し、中国では2割が地方からの経由便で来沖していたり（例：天津→北京→那覇、南京→上海→那覇）、東京など他の日本都市から入国した後に沖縄に上陸している（例：上海→長崎→那覇）。直行便の利用客は、ほとんどが主要4カ国の在住者である。

※当調査対象は那覇空港国際線出国者のみ

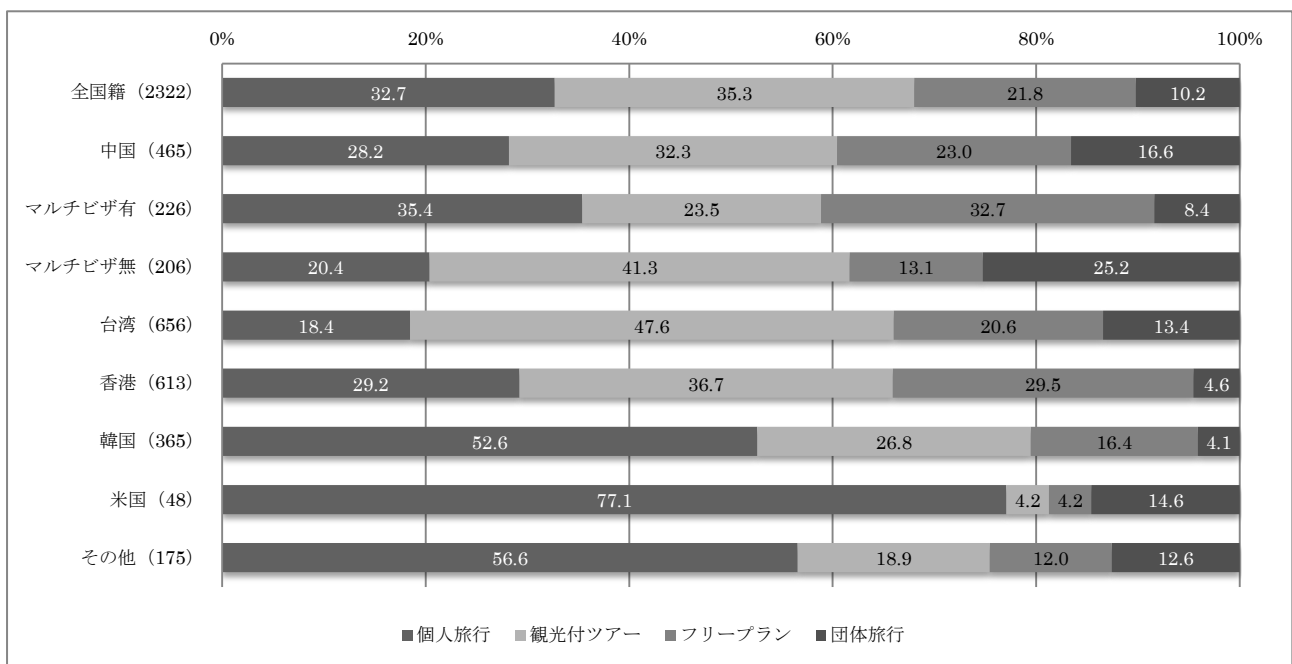
図表 2-2 旅行ルート（国籍別）



(3) 旅行形態

全国籍で「個人旅行」と「観光付きツアー」の比率が高い。中国では社員旅行等の「団体旅行」が16.6%と他の国籍に比べて高く、特にマルチビザ非利用者がこの形態で旅行する割合が25.2%と高い(P.6 参照)。台湾では「観光付きツアー」が約半数を占める一方、韓国では「個人旅行」が半数を上回る。また中国のマルチビザ利用者と香港の約3割が「フリープラン」を利用している。アメリカでは「個人旅行」が大多数を占め、団体で観光する傾向は少ない(アメリカの「団体旅行」(14.6%)のほとんどを招聘や出張が占める)。その他の国籍では、アジア圏は「観光付きツアー」や「団体旅行」に参加する傾向がある一方、ヨーロッパやオセアニアなど、アジア以外からの旅行者は個人旅行の割合が高い(巻末クロス表 P.164 参照)。

図表 2-3 旅行形態 (国籍別)



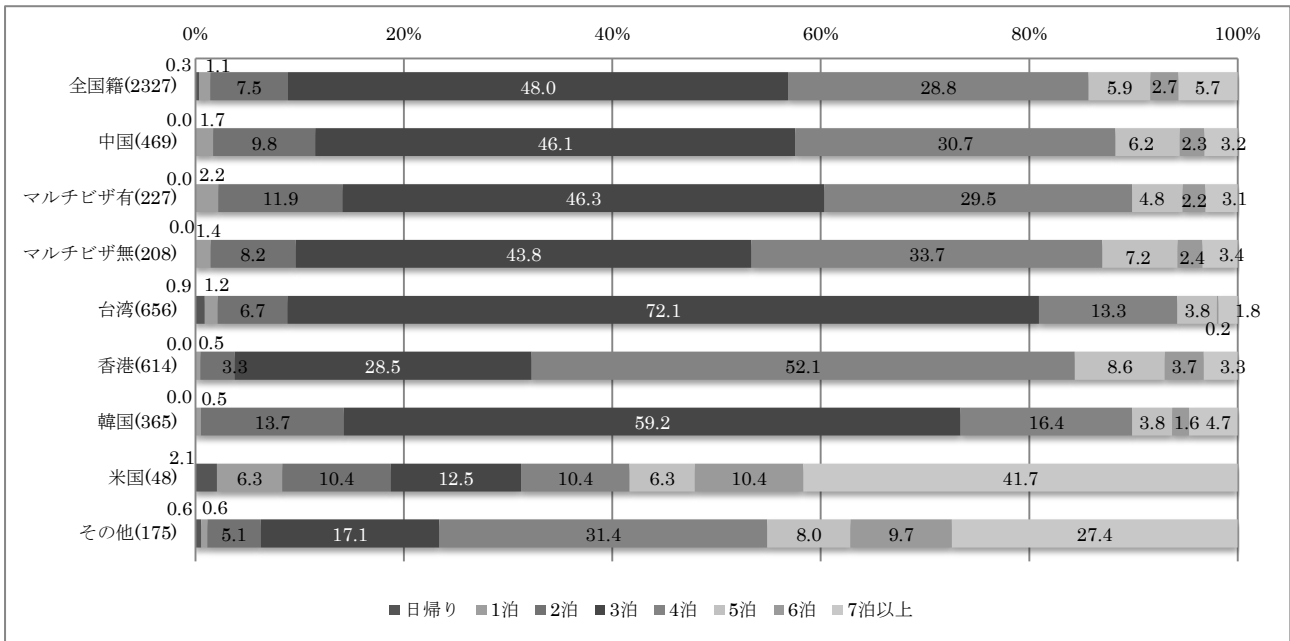
※「団体旅行」にはインセンティブや招聘、出張なども含まれる。

(4) 宿泊数

・ 宿泊数

主要4カ国では3~4泊が8割程度を占めるが、「3泊」以下が台湾では8割、韓国では7割なのに対して、香港では「4泊」以上宿泊する割合のほうが高い。アメリカやその他の国籍は一週間以上宿泊する旅行者が多い傾向にある。

図表 2-4 宿泊数（国籍別）



・ 平均泊数（滞在日数 90 日以内）

主要4カ国では、平均泊数は3~4泊で香港がやや多い傾向にある。「その他国籍」のうちヨーロッパ、アメリカは7泊以上の滞在が多く、「その他国籍」の平均泊数が高くなる要因となっている（巻末クロス表 P.164 参照）。

図表 2-5 平均泊数（国籍別）

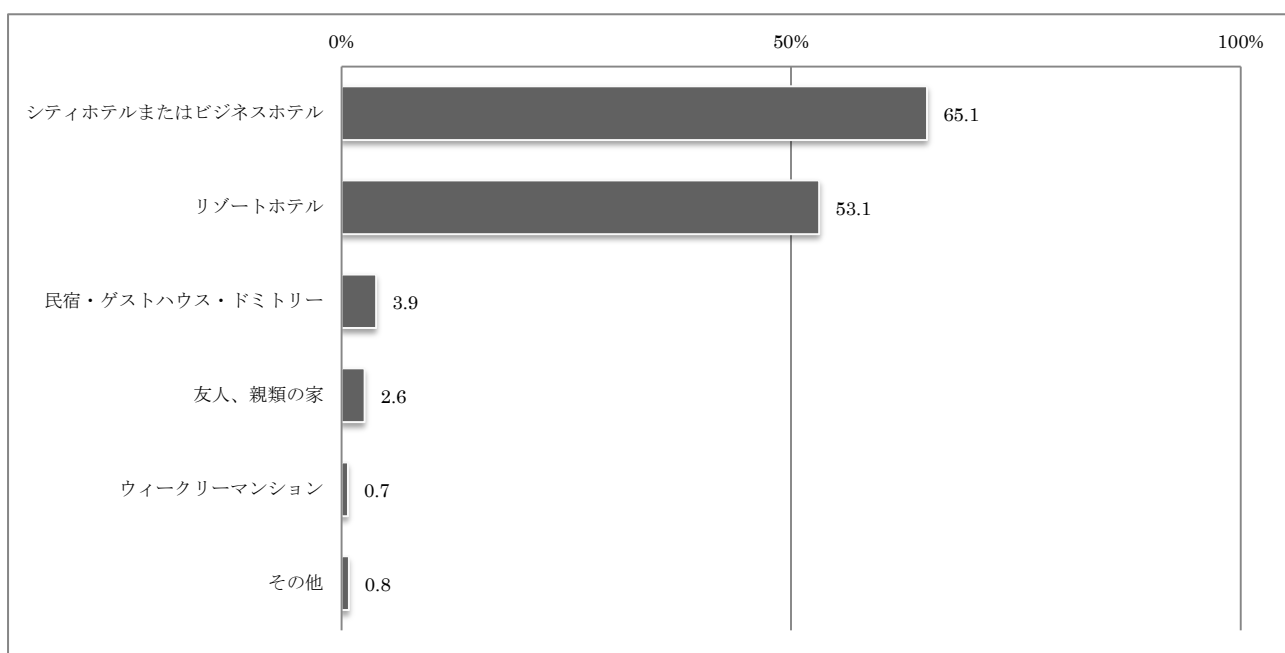
	全国籍	中国	(マルチビザ有)	台湾	香港	韓国	その他
第1四半期	4.02	3.47	(3.42)	3.36	3.86	3.47	8.24
第2四半期	4.29	3.48	(3.31)	3.86	4.18	3.26	9.32
第3四半期	3.92	4.08	(4.23)	3.13	3.83	3.52	7.28
第4四半期	3.96	4.11	(4.50)	3.12	3.81	3.37	10.75
年度合計	4.07	3.57	(3.54)	3.41	3.96	3.40	8.79

(5) 宿泊先

全国籍でホテルを利用する旅行者が圧倒的に多く、それ以外の宿泊施設（民宿、ウィークリーマンションなど）の利用率は低い。

主要4カ国で見ると、中国、台湾、香港では「シティホテルまたはビジネスホテル」が最も利用されている宿泊施設なのに対し、韓国では「リゾートホテル」の利用が最も多い。一方アメリカの半数は「友人・親類の家」や「その他（主に米軍基地内施設）」に宿泊しており、ホテルでの宿泊率は他の国籍に比べて比較的低い。「民宿・ゲストハウス・ドミトリー」はヨーロッパからの旅行者の利用率が高い傾向にある（巻末クロス表 P.164 参照）。

図表 2-6 宿泊先（宿泊施設別/複数回答）



(%)

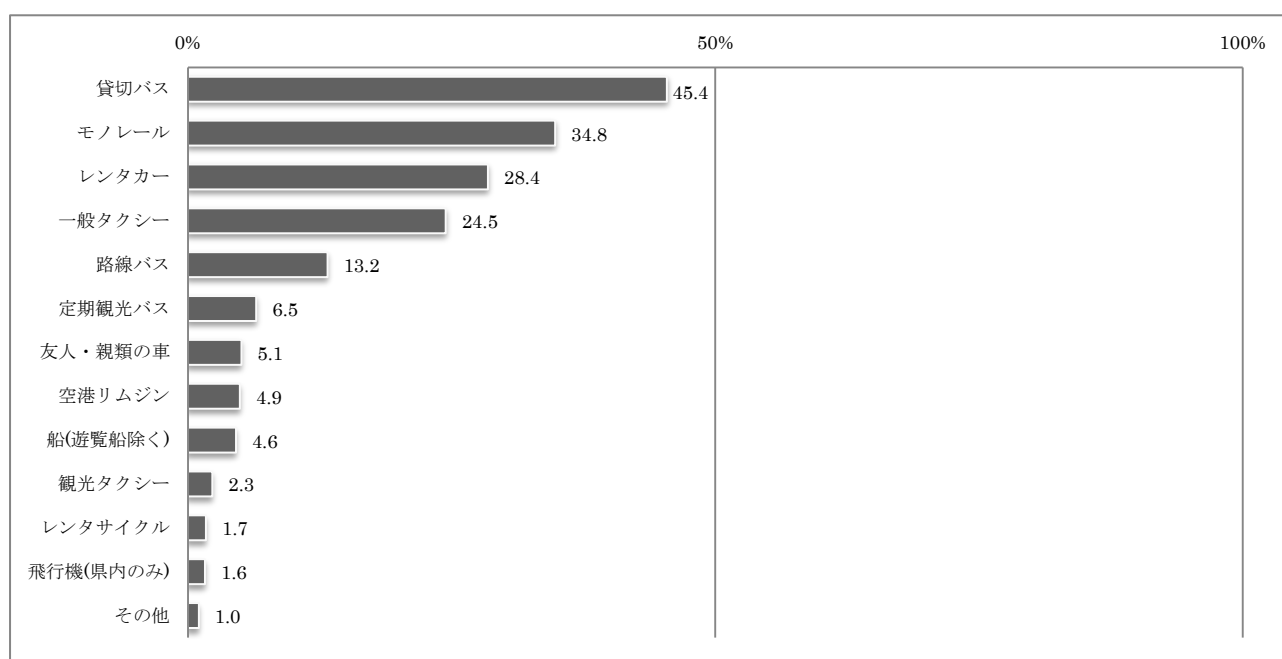
	全国籍 (2328)	中国 (469)		台湾 (657)	香港 (614)	韓国 (365)	米国 (48)	その他 (175)
		マルチビザ有 (227)	マルチビザ無 (208)					
シティホテルまたは ビジネスホテル	65.1	60.8	60.8	78.2	68.6	55.1	22.9	48.0
リゾートホテル	53.1	54.4	52.9	49.3	51.6	67.1	25.0	48.0
民宿・ゲストハウス・ドミトリー	3.9	2.3	2.2	3.8	2.1	3.6	6.3	14.3
友人、親類の家	2.6	0.4	0.4	1.4	0.8	2.7	39.6	8.6
ウィークリーマンション	0.7	0.2	0.0	0.6	0.3	0.0	6.3	4.0
その他	0.8	0.2	0.0	0.0	0.3	1.1	10.4	4.0

(6) 交通手段

「観光付きツアー」や「団体旅行」の形態が多い中国と台湾では「貸し切りバス」の利用が最も高い一方、「個人旅行」や「フリープラン」の形態が多い香港、韓国では「レンタカー」の利用率が最も高いなど、各国の旅行形態の傾向が反映されている。また、モノレールについてはアメリカ以外の全ての国籍で利用率が3割以上あり、全国籍でも2番目によく利用される交通手段となっている。

国籍別で見ると、中国の約半数が一般タクシーを利用しており、ツアー外の自由行動時などに利用する観光客が多いことが伺える。また、中国では国際免許の日本での使用が認められていないため、レンタカー利用率は低い。一方アメリカでは「友人・親類の車」と「一般タクシー」の利用が多く、その他の公共交通機関を利用する割合は比較的低い。

図表 2-7 交通手段（国籍別/複数回答）



(%)

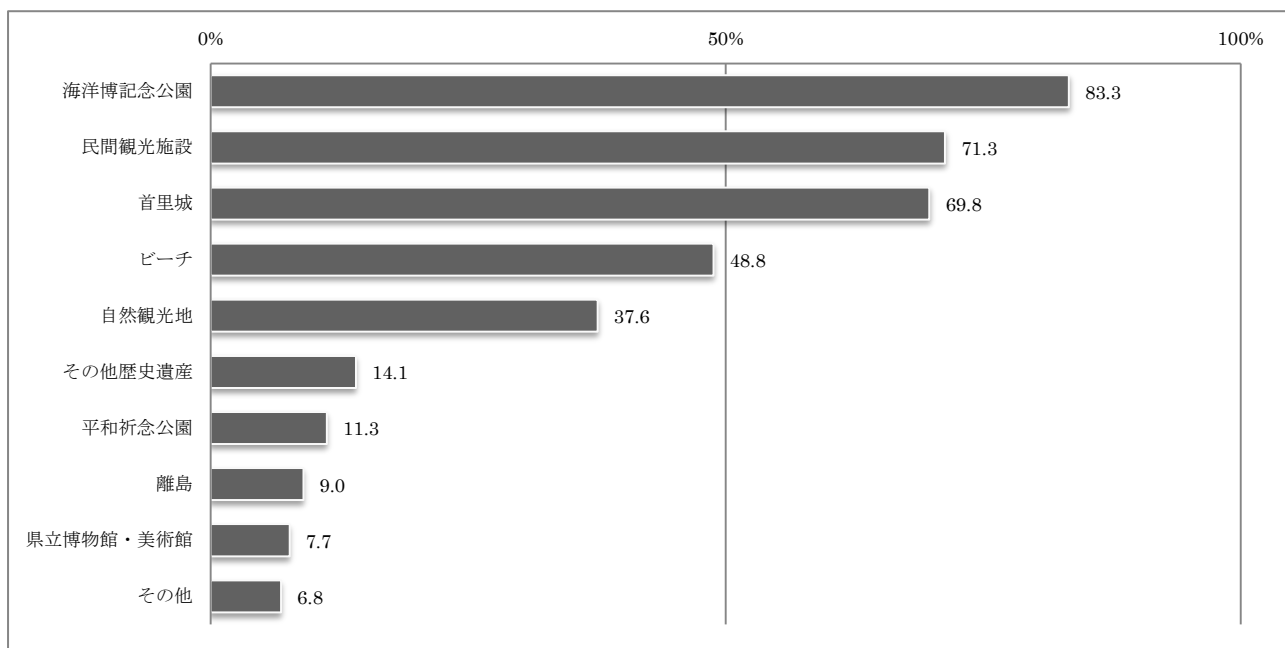
	全国籍 (2327)	中国 (468)		台湾 (657)	香港 (614)	韓国 (365)	米国 (48)	その他 (175)	
		マルチビザ有 (227)	マルチビザ無 (207)						
貸切バス	45.4	52.6	40.1	66.2	60.6	41.0	29.9	8.3	27.4
モノレール	34.8	31.0	35.7	27.1	37.4	39.3	30.1	18.8	33.7
レンタカー	28.4	9.6	11.0	7.2	20.1	41.4	47.9	8.3	29.7
一般タクシー	24.5	48.5	53.3	44.4	14.3	18.1	16.4	33.3	34.9
路線バス	13.2	20.7	25.1	17.4	10.7	11.2	7.1	18.8	21.1
定期観光バス	6.5	10.9	13.7	8.7	4.1	6.5	7.1	0.0	4.0
友人・親類の車	5.1	2.6	1.8	2.9	2.1	2.0	6.0	58.3	17.1
空港リムジン	4.9	6.2	7.0	5.8	5.2	5.2	2.7	8.3	3.4
船(遊覧船除く)	4.6	9.6	10.6	8.7	1.1	2.8	3.3	10.4	11.4
観光タクシー	2.3	6.2	7.9	4.3	1.2	1.5	0.8	4.2	1.7
レンタサイクル	1.7	1.9	1.8	1.9	0.9	2.4	0.3	4.2	4.0
飛行機(県内のみ)	1.6	3.0	2.6	3.4	1.1	0.5	1.1	0.0	5.7
その他	1.0	0.4	0.9	0.0	0.5	0.7	1.4	4.2	4.6

(7) 訪問先

・観光地

全ての国籍で「海洋博記念公園」への訪問率が最も高く、特に香港では 91.2%と非常に高い。アメリカとその他の国籍は、観光施設への訪問率が主要 4 カ国に比べてやや低い傾向にあるが、「その他歴史遺産」や「その他訪問先（米軍基地、スポーツ施設など）」への訪問率は比較的高い。

図表 2-8 訪れた観光地（国籍別/複数回答）



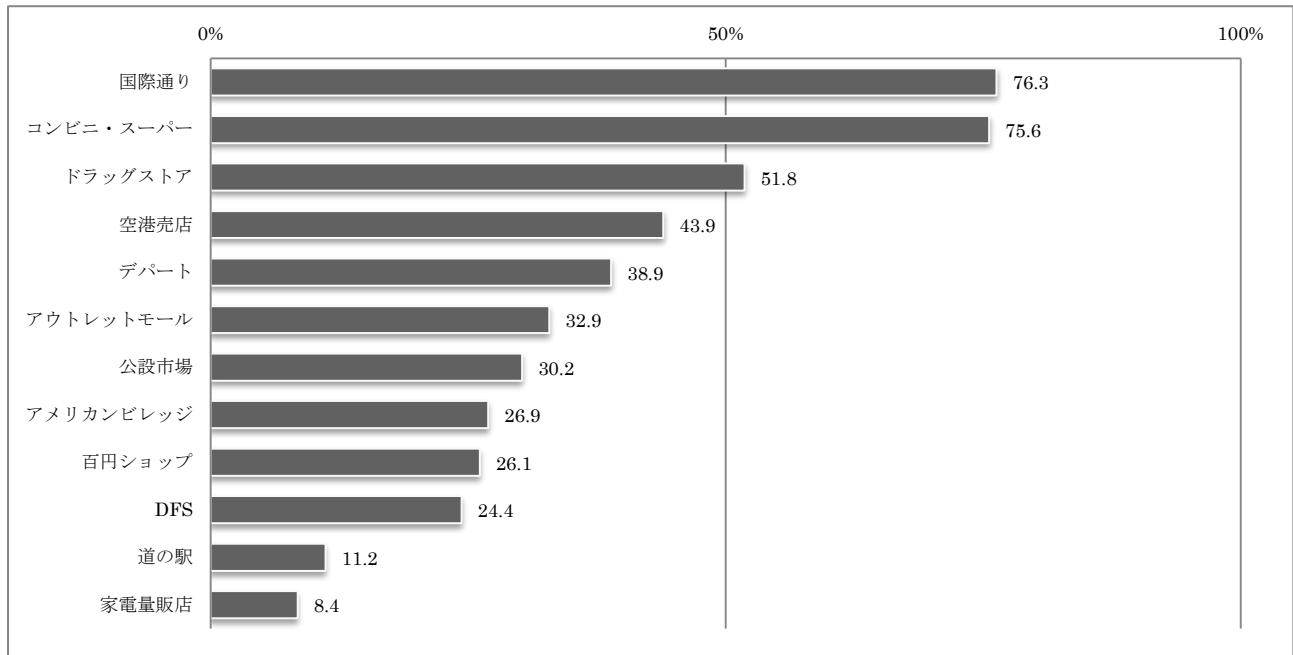
(%)

	全国籍 (2313)	中国 (465)	中国		台湾 (653)	香港 (613)	韓国 (363)	米国 (46)	その他 (173)
			マルチビザ有 (225)	マルチビザ無 (206)					
海洋博記念公園	83.3	75.9	72.0	80.1	86.1	91.2	84.6	54.3	69.9
民間観光施設	71.3	67.1	63.6	69.9	80.4	76.3	64.7	39.1	52.6
首里城	69.8	72.9	68.0	76.7	78.6	65.3	65.6	45.7	59.5
ビーチ	48.8	65.4	63.1	68.4	32.5	54.0	46.0	43.5	54.9
自然観光地	37.6	48.2	45.3	49.5	14.9	51.4	44.4	19.6	36.4
その他歴史遺産	14.1	13.5	15.6	9.7	12.1	12.2	17.9	21.7	19.7
平和祈念公園	11.3	5.8	4.4	6.8	9.6	10.3	26.2	6.5	5.8
離島	9.0	15.1	14.2	15.5	3.2	5.5	13.5	10.9	16.8
県立博物館美術館	7.7	5.6	4.4	6.8	9.0	8.5	6.9	13.0	5.2
その他	6.8	6.2	6.7	5.8	6.0	6.5	5.8	21.7	11.0

・買い物をした場所

全国籍で見ると「国際通り」で買い物をした率が76.3%と最も高いが、韓国、アメリカ、その他の国籍では「コンビニ・スーパー」がこれを上回る。中国と台湾では「ドラッグストア」の利用率も高く、特に台湾では76.0%と全国籍中最も高い。また、中国は「家電量販店」(18.5%)、香港は「デパート」(50.3%)、アメリカは「アメリカンビレッジ」(37.5%)の利用率が他の国籍に比べて高いなど、国籍によって買い物場所の傾向に違いが見受けられる。

図表 2-9 訪れたショッピングエリア (国籍別/複数回答)



(%)

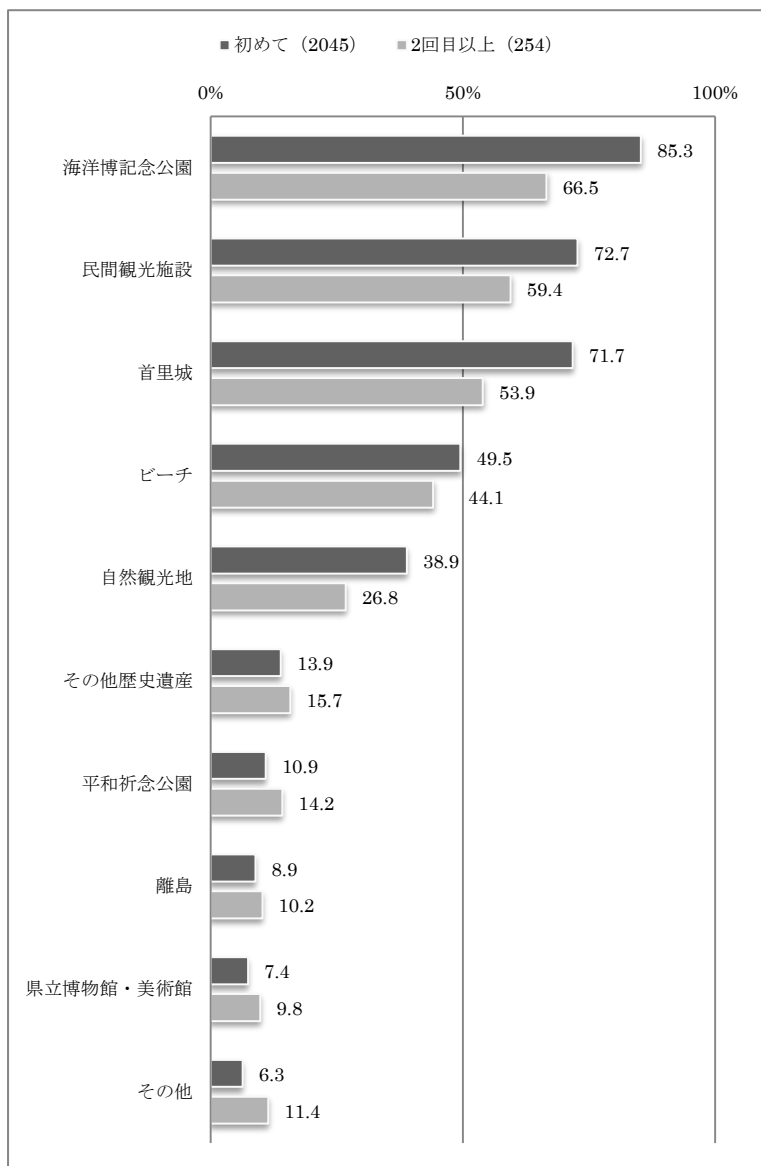
	全国籍 (2312)	中国 (466)		台湾 (655)	香港 (610)	韓国 (363)	米国 (48)	その他 (170)	
		マルチビザ有 (225)	マルチビザ無 (207)						
国際通り	76.3	76.8	75.1	78.3	83.1	89.8	53.7	41.7	58.2
コンビニ・スーパー	75.6	71.7	70.2	73.9	78.5	80.8	70.8	56.3	71.8
ドラッグストア	51.8	62.4	60.4	64.7	76.0	45.9	18.5	16.7	31.8
空港売店	43.9	45.3	47.6	44.4	47.0	40.8	46.8	29.2	37.6
デパート	38.9	45.9	45.3	45.9	40.2	50.3	15.2	25.0	28.2
アウトレットモール	32.9	41.0	34.7	49.3	41.7	26.6	23.7	12.5	24.7
公設市場	30.2	24.7	27.1	23.2	30.7	42.5	17.6	12.5	31.8
アメリカンビレッジ	26.9	23.2	23.6	23.2	22.0	30.2	33.9	37.5	27.1
百円ショップ	26.1	24.2	20.9	27.5	31.6	25.1	22.0	20.8	24.1
DFS	24.4	47.0	47.1	49.8	29.5	15.4	9.6	8.3	10.6
道の駅	11.2	11.4	10.2	11.6	9.6	14.9	9.1	2.1	10.0
家電量販店	8.4	18.5	18.7	18.8	9.2	4.4	2.8	8.3	4.7

第一部 空路調査

・訪問した観光地（初めて、2回目以上）

沖縄訪問が初めての観光客と、来沖2回目以上のリピーターを比較すると、リピーターが主要な観光地を訪れる率は初来沖客よりも下がる傾向にあるが、それでも半数以上は「海洋博記念公園」（66.5%）、「民間観光施設」（59.4%）、「首里城」（53.9%）を訪れている。一方、「その他歴史遺産」、「平和記念公園」、「離島」、「県立博物館・美術館」などを訪れる割合は初来沖客の訪問率をわずかに上回る。

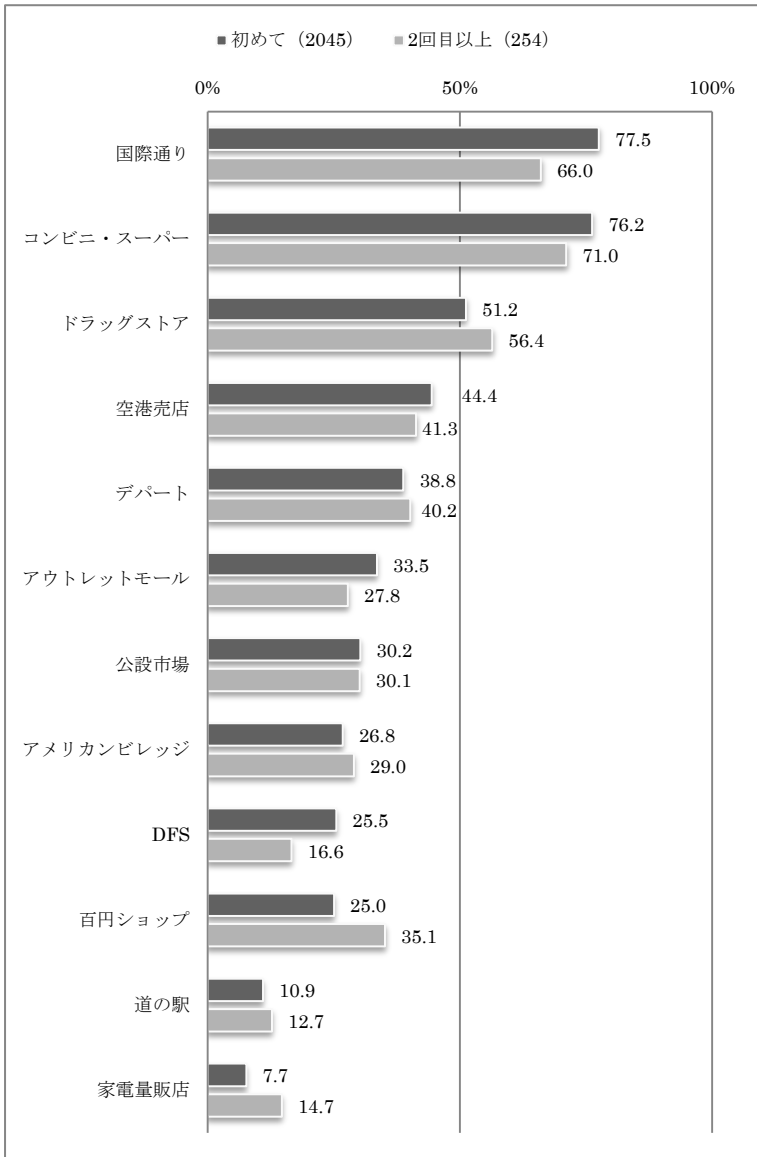
図表 2-10 訪問した観光地（初めて、2回目以上）



・訪問ショッピングエリア・施設（初めて、2回目以上）

沖縄訪問が初めての観光客と、来沖2回目以上のリピーターを比較すると、「国際通り」、「アウトレットモール」、「DFS」など、土産物や免税品などを主に扱う商業施設を来沖リピーターが訪れる率は初来沖客よりも下がる傾向にある一方、「ドラッグストア」、「百円ショップ」、「家電量販店」などを訪れる割合は初来沖客の訪問率を上回る。

図表 2-11 訪問したショッピングエリア・施設（初めて、2回目以上）



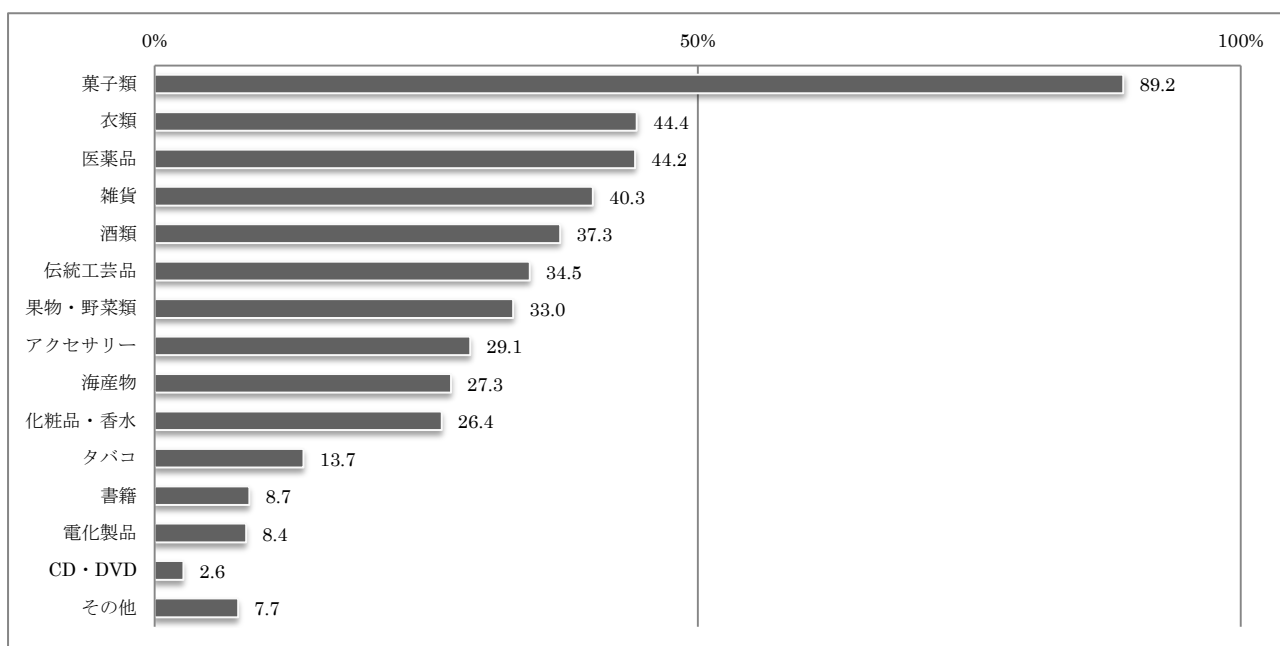
3. 訪沖外国人観光客の滞在中の消費活動

(1) 沖縄で購入したもの

・購入したもの

沖縄で購入したものについて、全国籍で「菓子類」の割合が他の商品に比べて圧倒的に高い。また中国では「化粧品・香水」(52.2%)や「電化製品」(19.0%)、台湾では「医薬品」(64.5%)、香港では「衣類」(51.0%)と「果物・野菜類」(50.3%)、韓国では「酒類」(52.6%)の購入率が他の国籍よりも高い。

図表 3-1 沖縄で購入したもの（国籍別/複数回答）



	全国籍 (2320)	中国 (469)	中国		台湾 (654)	香港 (614)	韓国 (363)	米国 (48)	その他 (172)
			マルチビザ有 (227)	マルチビザ無 (208)					
菓子類	89.2	83.6	83.3	84.6	90.2	95.0	89.3	72.9	84.3
衣類	44.4	47.3	47.1	47.1	46.2	51.0	26.2	37.5	46.5
医薬品	44.2	48.4	48.0	48.1	64.5	42.8	16.8	10.4	27.9
雑貨	40.3	40.3	37.0	42.8	44.3	42.5	33.9	25.0	35.5
酒類	37.3	33.9	34.8	33.7	39.9	29.8	52.6	33.3	32.6
伝統工芸品	34.5	44.8	48.0	41.3	28.3	40.4	23.4	39.6	31.4
果物・野菜類	33.0	26.4	30.0	24.0	26.5	50.3	20.1	33.3	41.3
アクセサリ	29.1	29.0	31.3	27.4	29.5	34.5	21.2	22.9	26.2
海産物	27.3	30.3	31.7	27.9	15.0	45.6	10.7	39.6	32.0
化粧品・香水	26.4	52.2	52.4	52.4	23.4	22.3	13.2	4.2	16.3
タバコ	13.7	19.6	18.5	20.2	19.1	7.7	8.0	14.6	10.5
書籍	8.7	10.9	11.5	11.1	6.3	10.3	4.1	12.5	15.1
電化製品	8.4	19.0	18.5	19.2	6.4	5.5	3.9	10.4	6.4
CD・DVD	2.6	3.4	2.6	4.8	1.7	3.1	1.1	6.3	4.7
その他	7.7	5.8	6.6	5.3	6.9	9.0	6.9	14.6	11.0

・最も満足した商品

購入したもののの中で最も満足したものについて、主要 4 カ国では「菓子類」の割合が最も高く、アメリカでは「伝統工芸品」、その他の国籍では「菓子類」に並び「衣類」の満足度が最も高かった。

なお、「付属資料 I 最も満足した商品分析」(P.67～P.76)では性別年代別に分析を行い、各国の購買指向や満足した商品の名称等を詳細に説明している。

図表 3-2 購入したもののの中で最も満足した商品（国籍別）

	(%)						
	全国籍 (1856)	中国 (375)	台湾 (534)	香港 (487)	韓国 (311)	米国 (31)	その他 (118)
菓子類	23.3	18.1	20.2	26.9	32.8	12.9	16.1
衣類	12.8	8.5	15.2	16.4	7.4	6.5	16.1
雑貨	10.8	14.9	12.2	8.2	7.4	6.5	12.7
酒類	7.9	4.3	6.7	2.7	23.2	6.5	6.8
医薬品	7.5	8.3	14.4	3.3	3.5	0.0	3.4
伝統工芸品	7.1	6.7	5.2	5.5	7.7	32.3	14.4
海産物	6.6	5.9	3.9	12.1	3.5	9.7	5.9
化粧品・香水	6.5	15.5	7.5	2.9	1.3	0.0	3.4
果物・野菜類	3.7	1.9	2.8	6.4	3.5	3.2	2.5
アクセサリ	2.5	2.7	2.8	2.3	2.3	0.0	2.5
電化製品	2.1	4.8	0.6	2.1	1.0	6.5	2.5
書籍	1.1	1.6	0.4	1.6	1.0	0.0	0.8
タバコ	0.6	0.5	1.7	0.2	0.0	0.0	0.0
CD・DVD	0.2	0.5	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0
その他	7.4	5.9	6.4	9.4	5.1	16.1	12.7

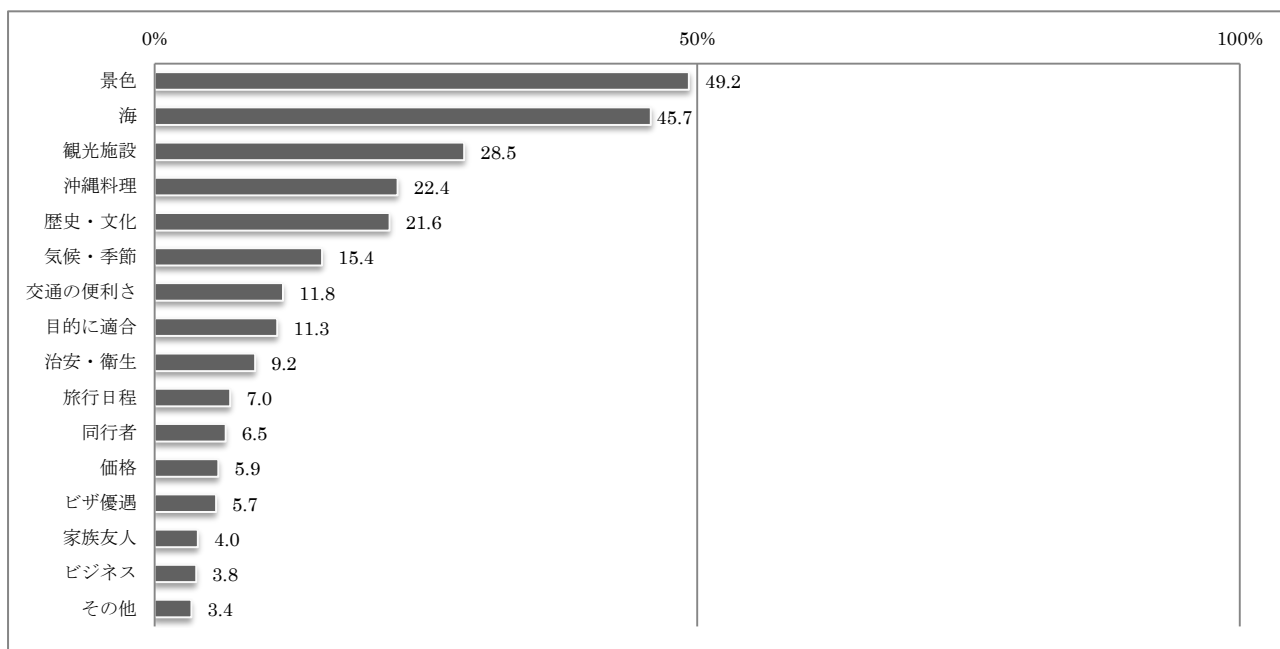
4. 訪沖外国人観光客の情報源

(1) 沖縄を選んだ決め手

・国籍別

来沖の決め手は「景色」(49.2%)、次いで「海」(45.7%)が全国籍共通して高かった。国籍別で見ると、中国では「沖縄料理」や「歴史・文化」など沖縄での異文化体験を決め手とする割合が高い一方で、台湾、香港、韓国では3~4割の観光客が「観光施設」を選ぶなど、娯楽面を重視する傾向が見られる。また、中国のマルチビザ利用者の3割は「ビザ優遇」を来沖の決め手にしている。韓国では「気候・季節」、「交通の便利さ」、「旅行日程」などを決め手とする割合が他の国籍に比べて高く、沖縄の温暖な気候や短期間旅行でのアクセスの良さを選ぶ傾向がある。アメリカでは約半数が「家族・友人の訪問」を旅行の決め手にしている。

図表 4-1 沖縄を選んだ決め手 (国籍別/複数回答)

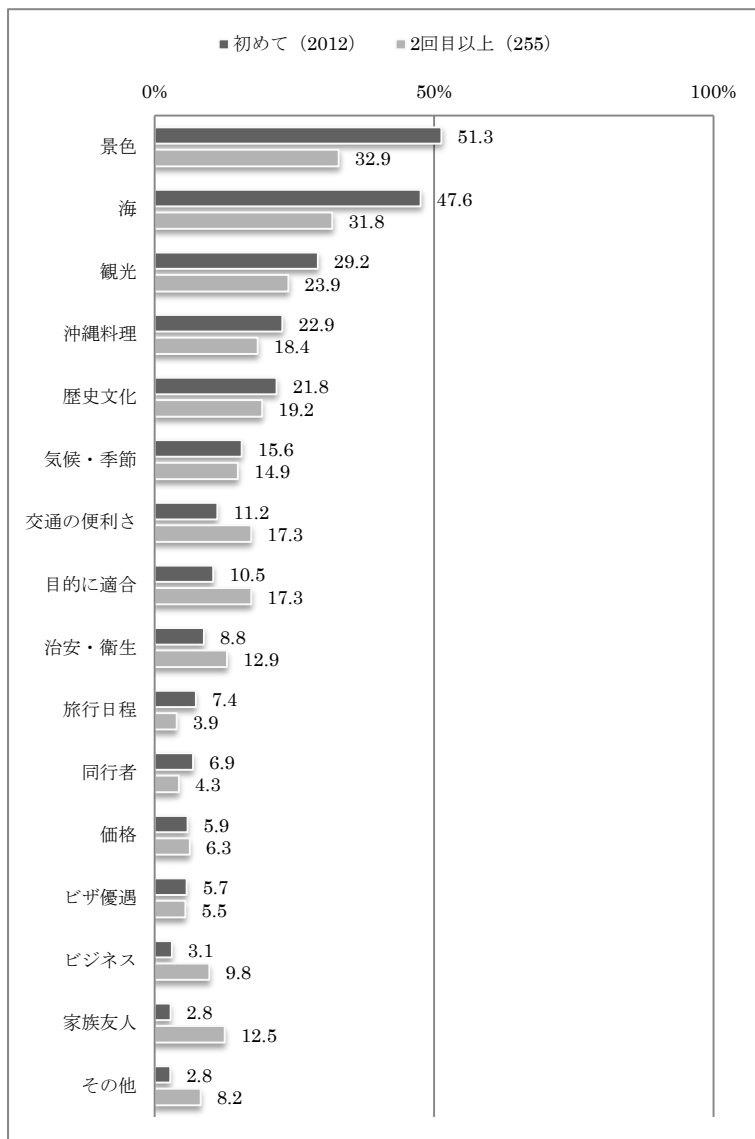


	全国籍 (2283)	中国 (459)	中国 (国籍別)		台湾 (644)	香港 (600)	韓国 (363)	米国 (47)	その他 (170)
			マルチビザ有 (223)	マルチビザ無 (206)					
景色	49.2	53.6	51.6	57.8	44.7	63.2	39.1	23.4	34.1
海	45.7	60.8	60.5	63.1	34.6	53.3	38.0	23.4	42.9
観光施設	28.5	12.6	11.7	13.6	29.8	39.5	30.3	10.6	28.8
沖縄料理	22.4	25.5	25.6	26.7	22.7	26.7	13.2	10.6	20.6
歴史・文化	21.6	25.3	23.3	28.2	29.5	16.3	11.3	14.9	24.7
気候・季節	15.4	12.4	13.5	11.7	12.3	15.7	25.9	10.6	13.5
交通の便利さ	11.8	3.3	4.0	2.9	16.9	10.2	20.9	2.1	4.7
目的に適合	11.3	4.4	3.1	4.4	18.5	9.2	15.4	2.1	4.1
治安・衛生	9.2	5.4	6.3	4.9	10.1	13.3	6.6	2.1	9.4
旅行日程	7.0	4.8	2.7	7.3	8.1	4.0	15.7	0.0	2.4
同行者	6.5	3.1	2.7	3.9	10.7	6.3	5.8	0.0	4.1
価格	5.9	4.4	4.9	3.4	8.5	7.0	2.2	2.1	4.7
ビザ優遇	5.7	18.7	30.0	5.8	5.4	0.8	0.0	0.0	1.8
家族友人	4.0	0.4	0.0	1.0	3.9	0.7	5.2	46.8	11.2
ビジネス	3.8	4.4	1.8	6.3	1.1	1.3	5.5	17.0	14.1
その他	3.4	2.2	1.3	2.4	3.6	2.3	3.0	6.4	9.4

・沖縄を選んだ決め手（初めて、2回目以上）

来沖が「初めて」と「2回目以上」の旅行者を比較すると、「ビジネス」や「家族・友人の訪問」、「その他（主に空手やゴルフ、マラソンなどのスポーツ関連）」など、目的が明確なリピーターの割合が高い一方で、「交通の便利さ」や「治安・衛生」など、来やすさや安全性を再訪の決め手とする人の割合が初来沖者よりも高くなる。

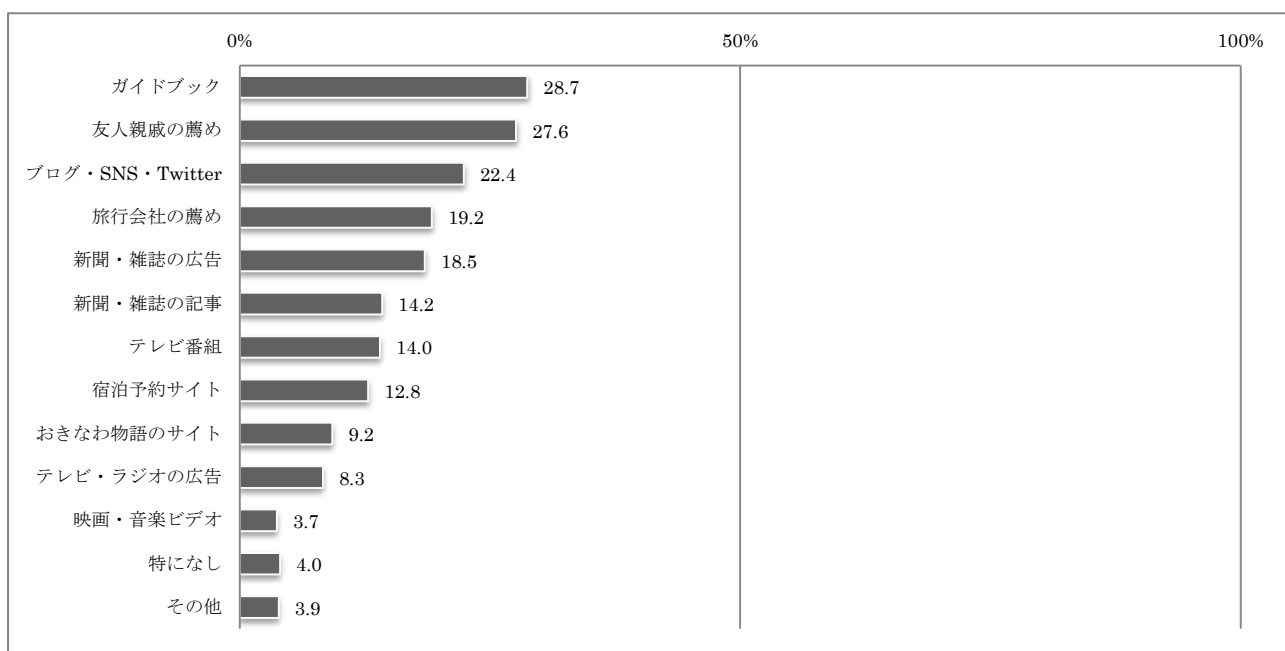
図表 4-2 沖縄を選んだ決め手（初めて、2回目以上）



(2) 観光の決め手となった情報源

全国籍で見ると「ガイドブック」(28.7%)の割合が「友人・親戚の薦め」(27.6%)をわずかに上回るが、香港と韓国以外の国籍では「友人・親戚の薦め」の割合が最も高いことから、口コミでの評判が沖縄への誘客に繋がっていることが伺える。また、韓国では「ブログ・SNS・Twitter」(43.6%)や「宿泊予約サイト」(25.2%)を利用する割合が他の国籍を大きく上回っており、インターネットを媒体とした情報収集を行う旅行者が多いことが見受けられる。香港では「新聞・雑誌の広告」(30.7%)と「新聞・雑誌の記事」(23.2%)が他の国籍よりも高く、紙媒体が有効な情報発信源となっている。

図表 4-3 観光の決め手となった情報源 (国籍別/複数回答)



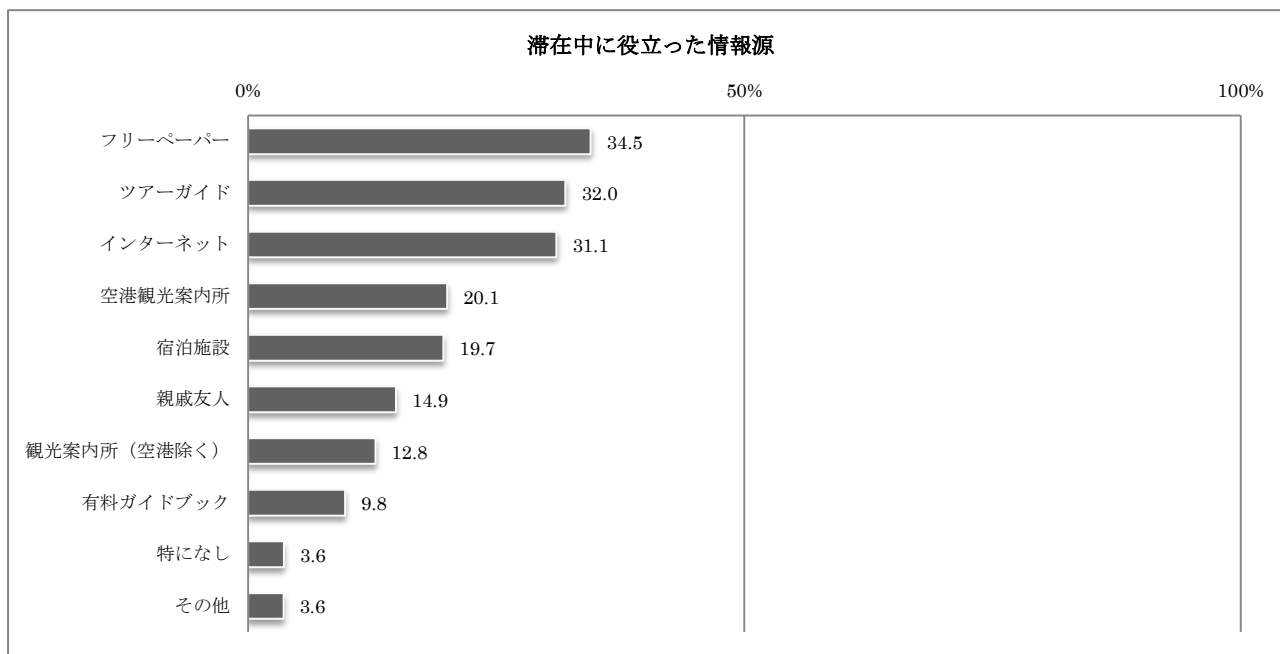
(%)

	全国籍 (2315)	中国 (466)	台湾		台湾 (652)	香港 (613)	韓国 (365)	米国 (48)	その他 (171)
			マルチビザ有 (225)	マルチビザ無 (207)					
ガイドブック	28.7	21.2	20.0	21.7	23.8	36.4	38.1	20.8	22.8
友人親戚の薦め	27.6	29.2	32.0	27.1	31.3	22.3	21.9	45.8	35.1
ブログ・SNS・Twitter	22.4	13.1	12.4	15.0	27.8	15.5	43.6	8.3	10.5
旅行会社の薦め	19.2	22.3	16.0	28.0	21.5	16.5	20.8	2.1	12.9
新聞・雑誌の広告	18.5	20.6	20.4	21.7	15.6	30.7	5.8	2.1	11.7
新聞・雑誌の記事	14.2	13.1	12.9	14.5	12.4	23.2	6.3	4.2	11.7
テレビ番組	14.0	12.0	10.7	12.1	14.9	18.1	9.6	6.3	12.9
宿泊予約サイト	12.8	11.6	13.3	9.2	12.3	8.6	25.2	2.1	9.9
おきなわ物語のサイト	9.2	8.4	6.7	9.7	10.1	10.4	9.0	4.2	5.8
テレビ・ラジオの広告	8.3	15.5	15.6	15.5	5.5	9.1	5.2	2.1	4.7
映画・音楽ビデオ	3.7	6.9	7.1	6.8	2.0	3.4	3.8	0.0	3.5
特になし	4.0	2.6	3.1	1.9	5.2	2.9	3.0	12.5	7.0
その他	3.9	1.7	1.8	1.9	2.1	1.5	6.6	18.8	15.2

(3) 滞在中に役立った情報源

滞在中役に立った情報源は、全国籍で見ると「フリーペーパー」が最も多く、主要4カ国では3～4割の旅行者が「役に立った」と回答している。中国（43.5%）、韓国（32.7%）ではインターネット、台湾（43.8%）ではツアーガイドがこれを上回る。アメリカでは「親戚友人」が50.0%と最も高い。

図表 4-4 滞在中に役に立った情報源（国籍別/複数回答）



(%)

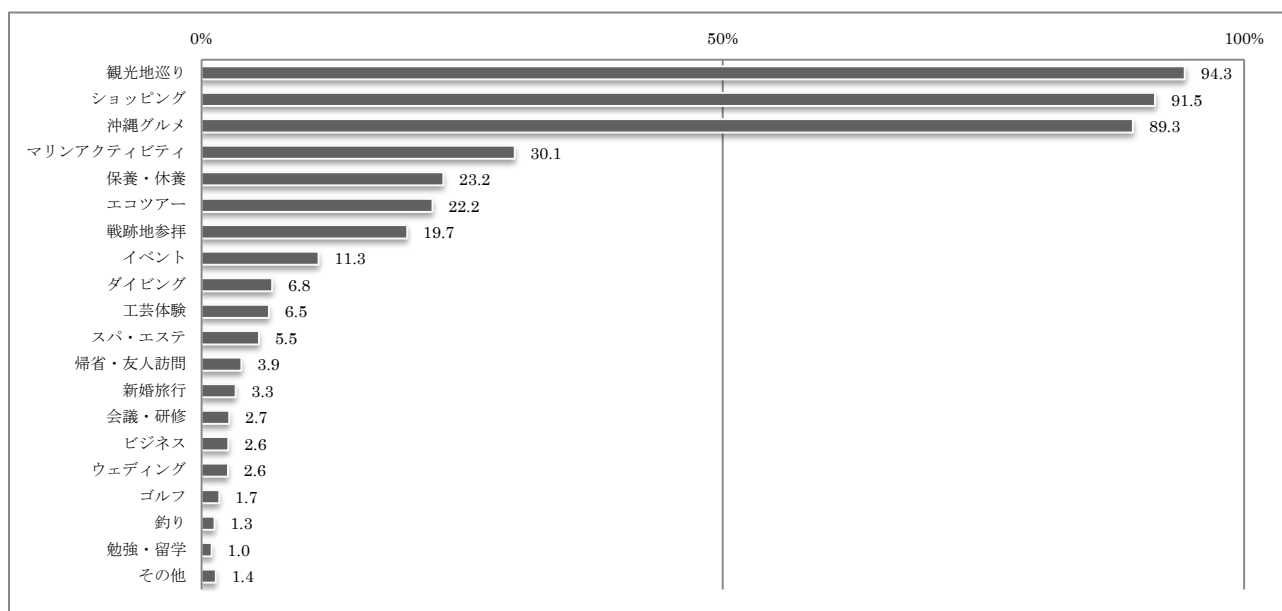
	全国籍 (2324)	中国 (469)	中国 (国籍不明)		台湾 (656)	香港 (612)	韓国 (364)	米国 (48)	その他 (175)
			マルチビザ有 (227)	マルチビザ無 (208)					
フリーペーパー	34.5	33.7	36.1	32.7	40.5	35.9	30.5	10.4	24.0
ツアーガイド	32.0	31.3	21.1	40.4	43.8	30.7	23.4	6.3	18.9
インターネット	31.1	43.5	49.3	37.0	20.6	30.2	32.7	35.4	35.4
空港観光案内所	20.1	25.2	27.8	22.1	17.1	24.3	9.6	18.8	24.6
宿泊施設	19.7	22.6	23.8	23.1	19.1	18.0	16.2	20.8	26.9
親戚友人	14.9	20.0	19.4	20.2	14.8	10.1	9.6	50.0	19.4
観光案内所 (空港除く)	12.8	16.4	19.4	14.9	10.1	16.2	6.9	6.3	16.0
有料ガイドブック	9.8	3.8	4.0	4.3	2.3	14.2	20.9	16.7	13.1
特になし	3.6	1.3	0.9	1.9	3.7	4.1	6.3	0.0	3.4
その他	3.6	4.7	4.8	4.3	2.9	2.3	3.6	10.4	5.7

5. 沖縄旅行の評価

(1) 活動の参加率

約9割が沖縄滞在中に「観光」(94.3%)、「ショッピング」(91.5%)、「沖縄グルメ」(89.3%)を経験している。中国と韓国では約4割が「マリナクティビティ」を体験しており、特に韓国では「保養・休養」(46.0%)や「スパ・エステ」(15.3%)など、リラックスすることを目的とする活動への参加割合が中国、台湾、香港に比べて高い。台湾では「エコツアー」(35.4%)や「戦跡地参拝」(29.8%)への参加が他の国籍に比べて高い。香港は、比率としては少ないものの「ウェディング」(6.4%)への参加が全国籍中最も高い。アメリカでは「保養・休養」(78.7%)、「帰省・友人訪問」(48.9%)と「ビジネス」(14.9%)が他の国籍に比べて特に高く、これらがアメリカの再訪率の高さに繋がっていると考えられる。

図表 5-1 活動の参加率（国籍別/複数回答）



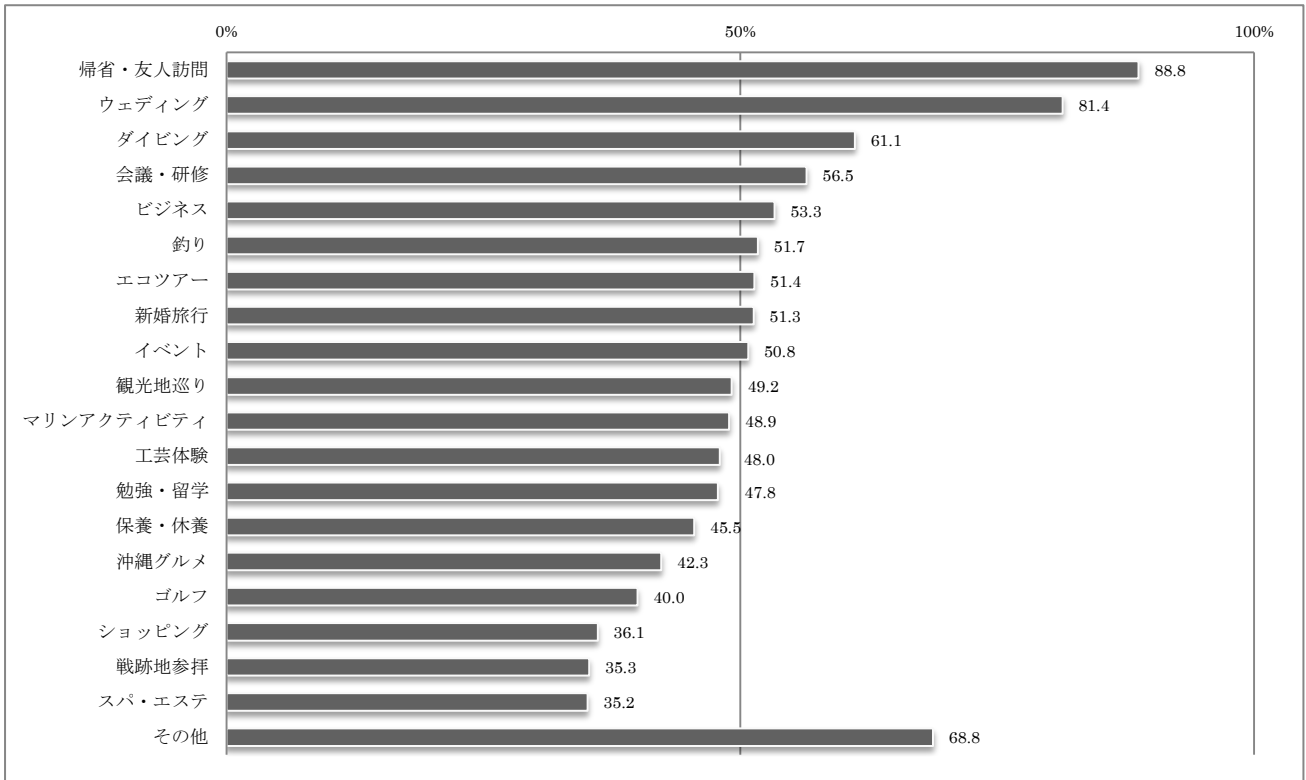
(%)

	全国籍 (2309)	中国 (463)	マルチビザ有		台湾 (652)	香港 (612)	韓国 (365)	米国 (47)	その他 (170)
			マルチビザ有 (224)	マルチビザ無 (207)					
観光地巡り	94.3	97.0	96.0	98.1	95.2	94.3	93.7	80.9	88.8
ショッピング	91.5	93.1	93.3	93.7	94.2	93.6	86.8	74.5	83.5
沖縄グルメ	89.3	86.6	89.7	84.1	90.5	92.2	91.0	70.2	84.1
マリナクティビティ	30.1	39.3	38.8	40.6	18.3	29.2	40.5	31.9	30.6
保養・休養	23.2	18.8	19.6	18.4	10.3	16.0	46.0	78.7	46.5
エコツアー	22.2	24.0	22.8	23.7	35.4	21.4	3.0	6.4	14.7
戦跡地参拝	19.7	6.3	6.3	6.3	29.8	21.6	14.8	27.7	20.0
イベント	11.3	12.1	12.9	11.1	12.6	4.4	17.5	19.1	12.9
ダイビング	6.8	10.6	11.2	10.6	4.8	7.0	2.7	10.6	11.2
工芸体験	6.5	3.9	2.7	5.3	8.1	8.2	3.6	4.3	8.2
スパ・エステ	5.5	4.3	5.8	3.4	1.5	3.6	15.3	12.8	8.2
帰省・友人訪問	3.9	0.9	0.4	1.4	3.1	0.7	4.4	48.9	12.9
新婚旅行	3.3	0.9	1.3	0.5	2.1	3.9	7.9	0.0	2.9
会議・研修	2.7	3.7	1.8	5.8	1.5	0.5	5.8	0.0	6.5
ビジネス	2.6	2.6	1.8	3.4	1.8	1.1	3.0	14.9	6.5
ウェディング	2.6	0.4	0.0	0.5	1.8	6.4	0.5	2.1	1.8
ゴルフ	1.7	0.6	0.9	0.0	1.5	1.1	2.7	4.3	4.7
釣り	1.3	1.3	0.9	1.0	0.6	1.1	0.5	4.3	4.7
勉強・留学	1.0	1.1	0.4	1.0	0.3	0.2	2.2	4.3	2.9
その他	1.4	0.0	0.0	0.0	2.3	0.8	0.3	4.3	5.3

(2) 活動の満足度

満足と答えた割合は、参加率は低いものの（P.22 参照）「帰省・友人訪問」（88.8%）、「ウェディング」（81.4%）、「その他（主に空手やゴルフ、マラソンなどのスポーツ関連）」（68.8%）などが高かった。一方、「観光地巡り」や「沖縄グルメ」、「ショッピング」など、活動の参加率が非常に高かった項目については満足度が総じて低くなる。さらに、来沖の決め手（P.18 参照）では「観光施設」や「沖縄料理」が上位に挙がっていたが、満足度に反映されておらず、期待と体験後の評価に差があることが伺える。

図表 5-2 活動について満足と答えた割合（国籍別/複数回答）

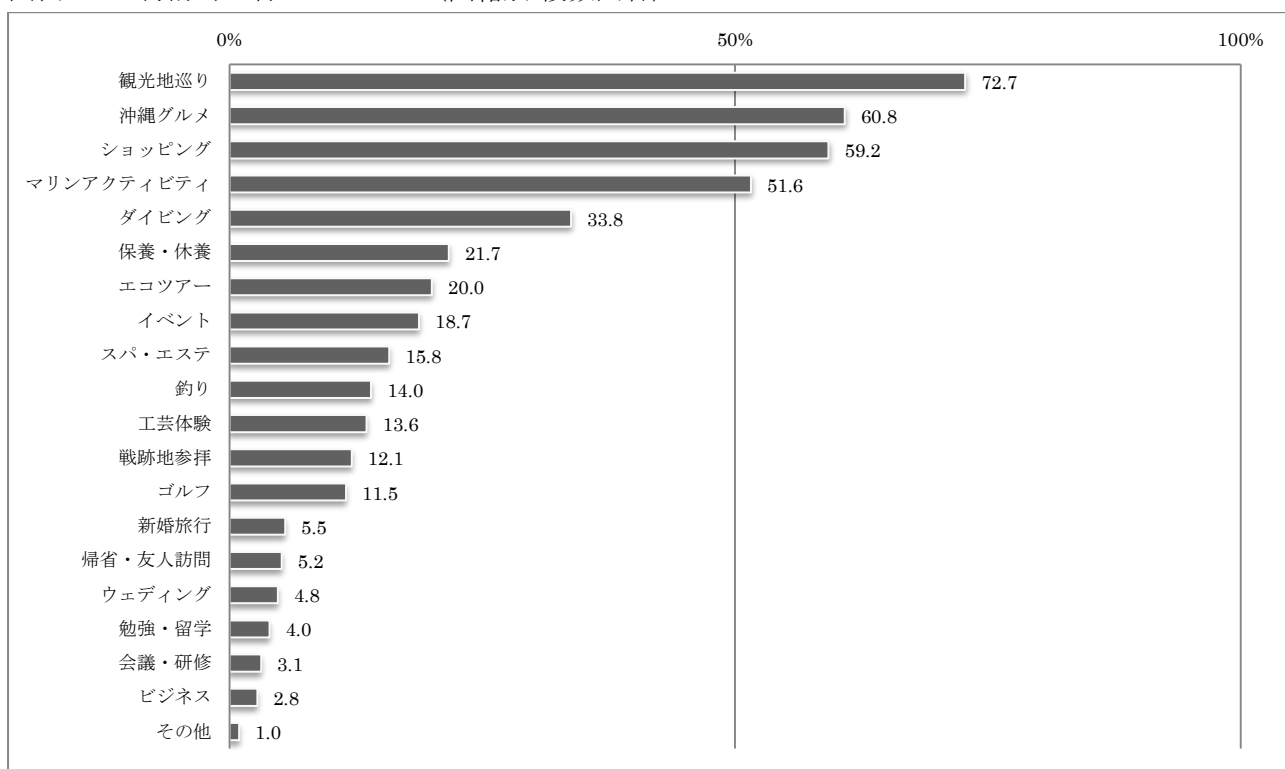


	全国籍	中国		台湾	香港	韓国	米国	その他
		マルチビザ有	マルチビザ無					
帰省・友人訪問(89)	88.8	100.0	100.0	75.0	50.0	93.8	91.3	100.0
ウェディング(59)	81.4	100.0	0.0	100.0	66.7	82.1	100.0	100.0
ダイビング(157)	61.1	75.5	60.0	90.9	48.4	55.8	40.0	80.0
会議・研修(62)	56.5	70.6	75.0	75.0	50.0	66.7	42.9	0.0
ビジネス(60)	53.3	91.7	100.0	100.0	41.7	71.4	36.4	28.6
釣り(29)	51.7	83.3	50.0	100.0	50.0	42.9	50.0	50.0
エコツアー(512)	51.4	67.6	72.5	59.2	48.5	43.5	45.5	33.3
新婚旅行(76)	51.3	100.0	100.0	100.0	50.0	37.5	55.2	0.0
イベント(260)	50.8	66.1	58.6	73.9	47.6	25.9	40.6	88.9
観光(2178)	49.2	62.8	57.2	68.5	50.1	43.7	41.8	47.4
マリナクティビティ(695)	48.9	61.5	57.5	64.7	45.4	42.5	43.2	53.3
工芸体験(150)	48.0	61.1	83.3	45.5	47.2	40.0	46.2	50.0
勉強・留学(23)	47.8	60.0	100.0	50.0	50.0	100.0	12.5	100.0
保養・休養(536)	45.5	51.7	45.5	60.5	43.3	32.7	39.3	67.6
沖縄グルメ(2063)	42.3	54.4	54.2	52.9	44.2	33.7	33.4	63.6
ゴルフ(40)	40.0	100.0	100.0	0.0	40.0	42.9	20.0	50.0
ショッピング(2112)	36.1	48.0	45.5	50.0	42.8	29.7	22.1	28.6
戦跡地参拝(456)	35.3	48.3	50.0	38.5	38.1	30.3	29.6	61.5
スパ・エステ(128)	35.2	20.0	23.1	14.3	50.0	36.4	33.9	33.3
その他(32)	68.8	0.0	0.0	0.0	53.3	80.0	0.0	100.0

(3) 再訪時に行きたいこと

沖縄再訪時に行きたいこととしては全国籍で「観光地巡り」(72.7%)が最も多く、韓国を除く全ての国籍で最も行きたい活動となった。中国、台湾、香港では「観光地巡り」、「沖縄グルメ」、「ショッピング」が上位3位を占めており、満足度の割には高くなっている。一方、韓国やアメリカでは「マリナクティビティ」や「保養・休養」の割合が高くなるなど、リゾート地、保養地として沖縄を再訪することを希望する傾向がある。また、アメリカでは4割以上の旅行者が「戦跡地参拝」を選択しており、他の国籍を大きく上回った。

図表 5-3 再訪時に行きたいこと (国籍別/複数回答)



(%)

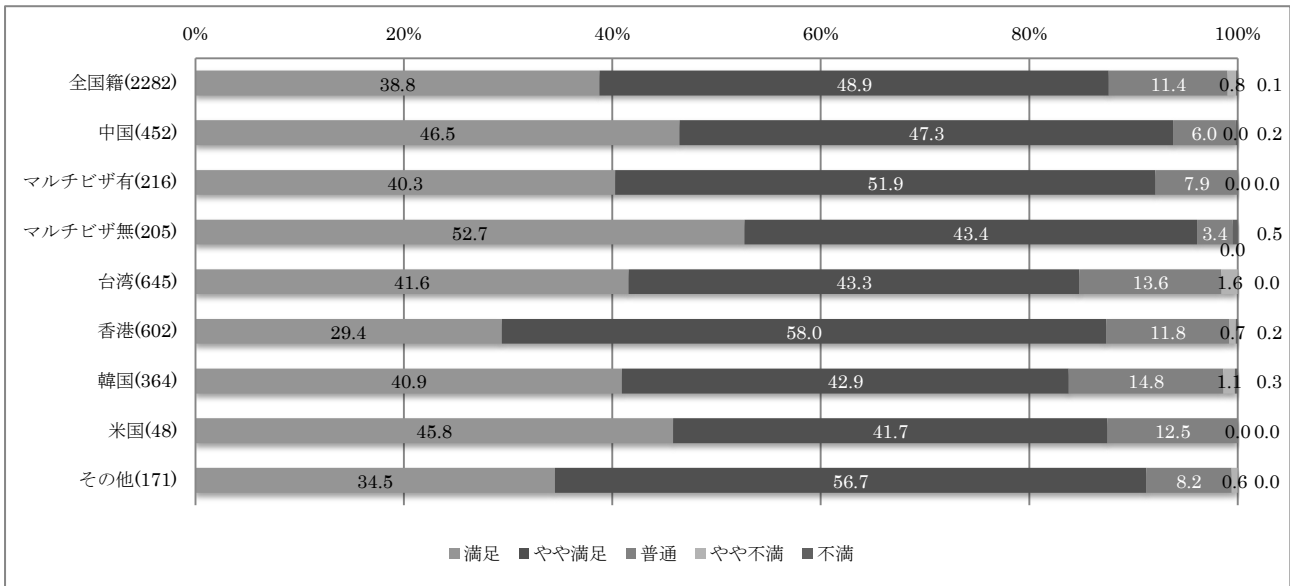
	全国籍 (1563)	中国 (276)	中国		台湾 (442)	香港 (407)	韓国 (297)	米国 (34)	その他 (107)
			マルチビザ有 (143)	マルチビザ無 (127)					
観光地巡り	72.7	71.4	72.7	69.3	76.7	80.1	56.9	73.5	75.7
沖縄グルメ	60.8	65.2	70.6	59.8	61.1	64.6	51.5	50.0	63.6
ショッピング	59.2	63.8	65.7	61.4	66.5	67.3	36.7	52.9	51.4
マリナクティビティ	51.6	51.4	53.8	50.4	43.9	51.1	64.3	47.1	51.4
ダイビング	33.8	48.2	48.3	49.6	30.1	32.7	25.6	47.1	34.6
保養・休養	21.7	23.2	23.8	23.6	14.9	13.0	31.3	55.9	41.1
エコツアー	20.0	22.8	21.0	25.2	26.5	20.6	6.1	44.1	15.0
イベント	18.7	14.9	14.7	15.0	25.1	15.7	12.8	41.2	23.4
スパ・エステ	15.8	15.6	18.2	12.6	14.7	12.0	19.5	32.4	19.6
釣り	14.0	22.8	21.7	25.2	10.9	10.8	11.8	35.3	15.9
工芸体験	13.6	13.8	9.8	18.9	15.6	13.8	6.7	38.2	15.0
戦跡地参拝	12.1	6.5	7.0	6.3	15.8	12.3	4.0	44.1	22.4
ゴルフ	11.5	11.6	10.5	12.6	10.4	8.4	17.8	17.6	8.4
新婚旅行	5.5	4.0	3.5	4.7	6.8	5.7	3.7	17.6	4.7
帰省・友人訪問	5.2	1.8	1.4	2.4	5.7	2.9	3.7	38.2	14.0
ウェディング	4.8	3.6	3.5	3.9	5.9	5.4	1.7	17.6	5.6
勉強・留学	4.0	1.8	1.4	2.4	6.1	2.9	1.0	20.6	7.5
会議・研修	3.1	2.5	2.8	1.6	3.8	2.7	1.7	8.8	5.6
ビジネス	2.8	1.4	1.4	1.6	4.3	2.5	0.7	11.8	3.7
その他	1.0	1.1	0.0	2.4	1.1	0.2	0.3	2.9	3.7

(4) 沖縄旅行で得られた満足度

・旅行全体

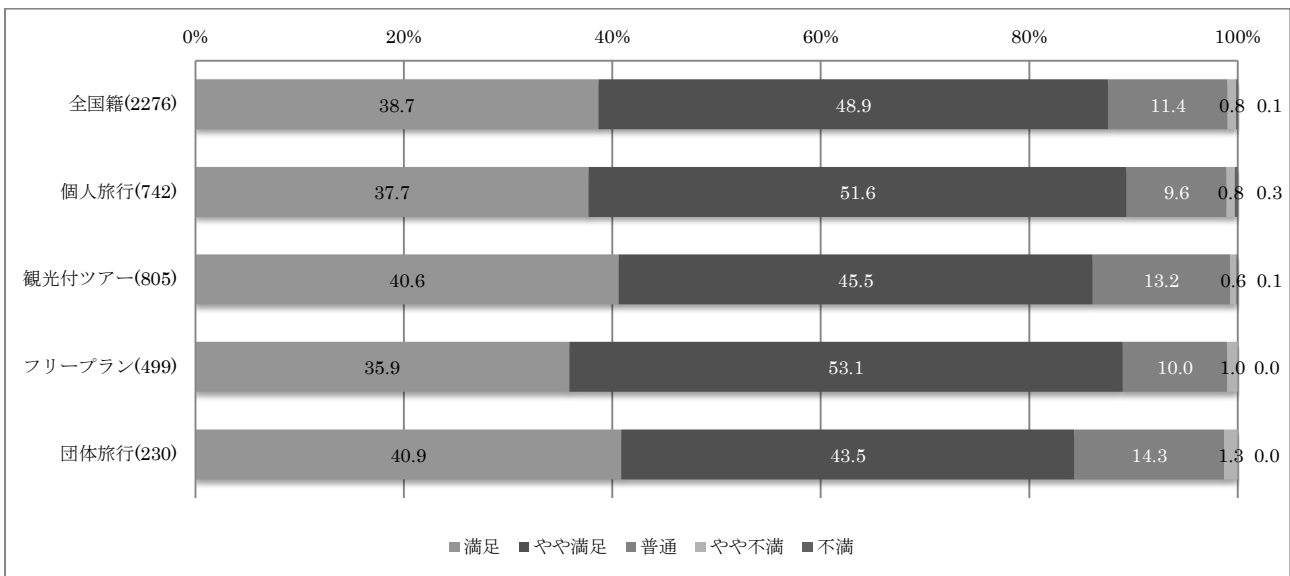
国籍別では旅行全体の「満足」「やや満足」を足した比率は全国籍で8割を超え、中国（93.8%）が最も高く、韓国（83.8%）が最も低かった。「満足」だけを見ると香港は29.4%と比較的低い。また、マルチビザ有無ではマルチビザ非利用者の方が満足度が高い。

図表 5-4 旅行全体の満足度（国籍別）



旅行形態別で旅行全体の満足度を見ると、「満足」と「やや満足」を足した比率は全旅行形態で8割を超え、形態間での差は少ないものの「団体旅行」（84.4%）が他の形態に比べてわずかに低い。「買い物の時間が短かすぎる」、「次回は個人旅行で訪れたい」など団体行動に対する不満がある一方で、「ガイドと一緒になければ道中大変だったと思う」など個人旅行に対しての不安の声もあった。

図表 5-5 旅行全体の満足度（旅行形態別）

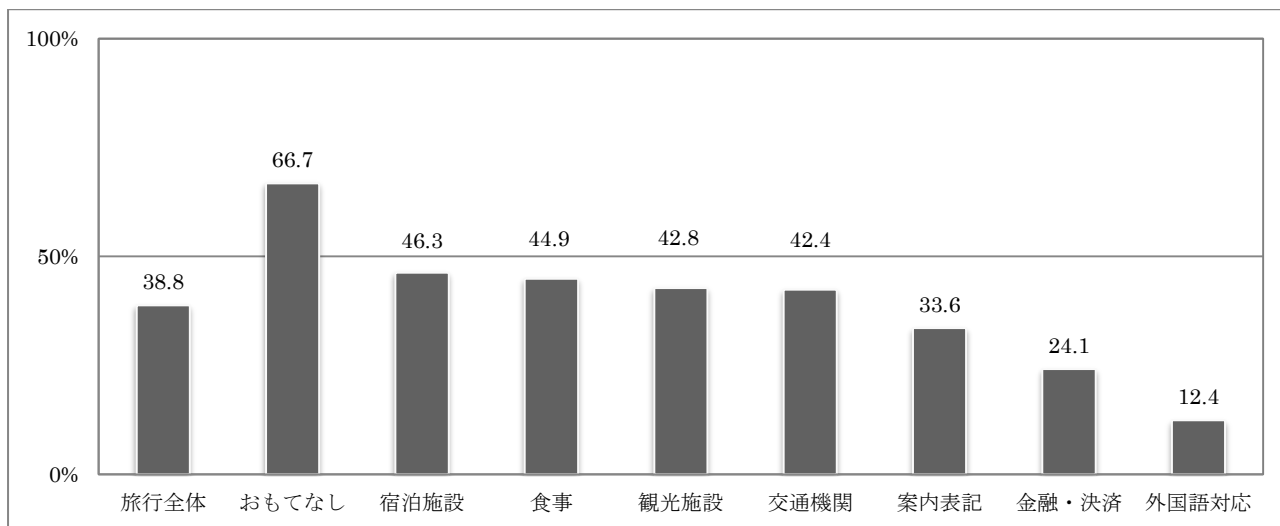


第一部 空路調査

・項目別「満足」の割合

全国籍で最も多く「満足」した項目は「おもてなし」(66.7%)で、「人がみな親切だった」、「接客態度が良く礼儀正しい」など、地元の人やスタッフの態度に好感を持つ声が非常に多かった。逆に最も満足度が低かった項目は「外国語対応」(12.4%)で、「言葉が通じなかった」との意見が圧倒的に多く、外国語対応能力の向上が早急に求められる。その他、自由記述(P.119以降参照)にWi-Fiに関する意見が多く寄せられた。

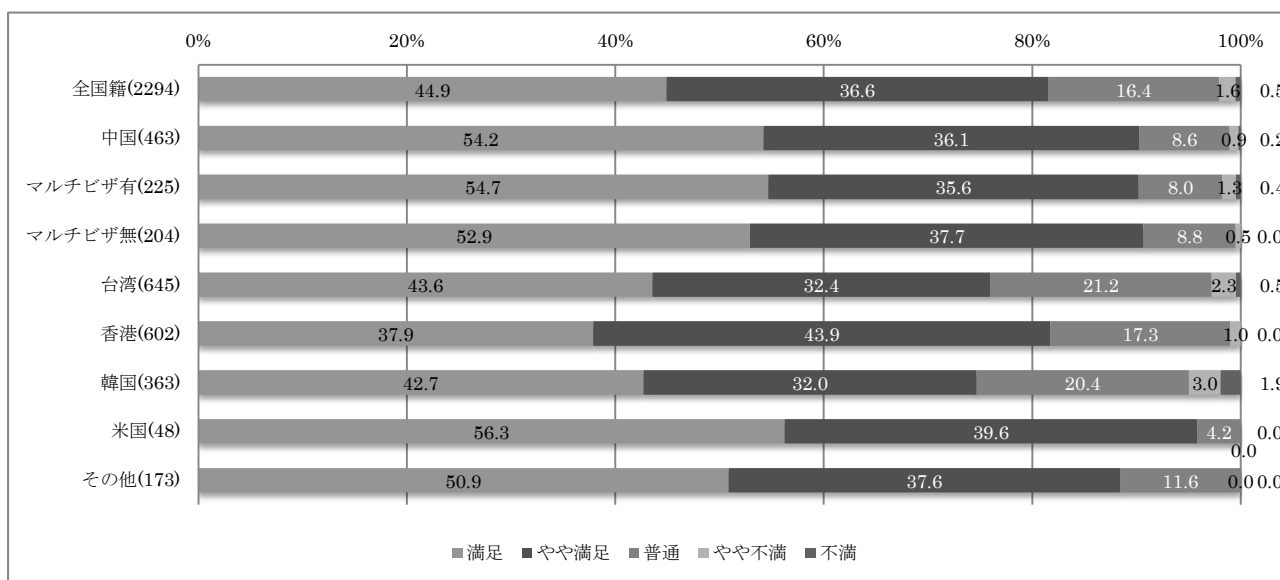
図表 5-6 満足と回答した項目



・食事

食事については「満足」「やや満足」と回答した人の割合が台湾(76.0%)と韓国(74.7%)では比較的低いが、それ以外の国籍では8割を超える。「美味しかった」「新鮮で健康的だった」という意見が多い一方で、「多様性が無い」、「脂っこくてしょっぱい」という声も聞かれた。

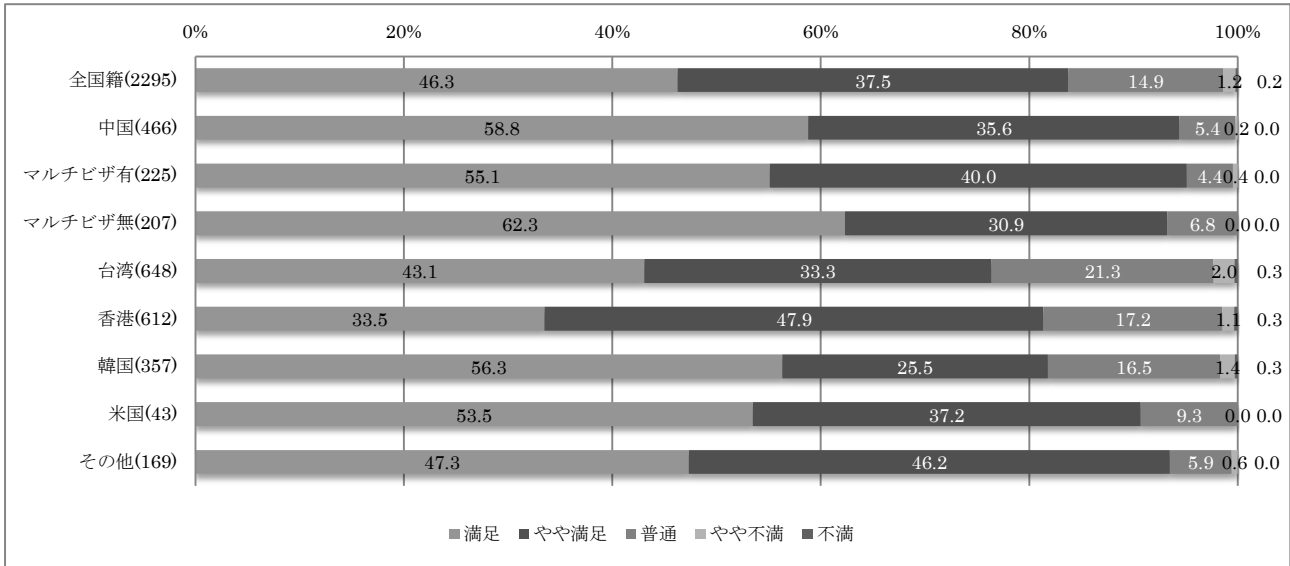
図表 5-7 食事の満足度(国籍別)



・ 宿泊施設

宿泊施設は「満足」「やや満足」と回答した人が中国で 94.4%、アメリカで 90.7%、その他の国籍で 93.5%と非常に高い反面、台湾（76.4%）、香港（81.4%）、韓国（81.8%）では満足度が下がる。アクセスや清潔面が評価される一方、部屋の狭さや設備の古さを指摘する意見が多かった。

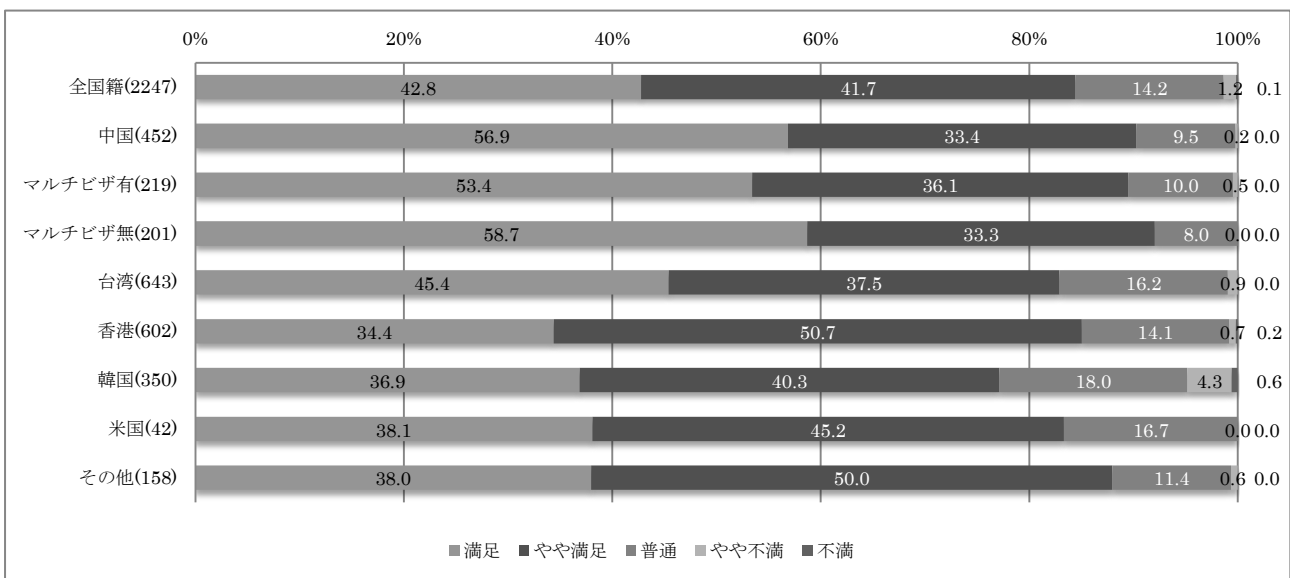
図表 5-8 宿泊施設の満足度（国籍別）



・ 観光施設

観光施設はほとんどの国籍で 8 割以上の方が「満足」「やや満足」と回答しているが、韓国（77.2%）は全国籍中最も低く、「やや不満」「不満」の回答も他の国籍に比べて最も高かった。「清潔でよく整えられていた」と設備面では高評価だったが、「観光施設が少ない」、「入場料に見合わない」などの声もあった。また、「台風で何もできなかった」などの意見も聞かれた。

図表 5-9 観光施設の満足度（国籍別）

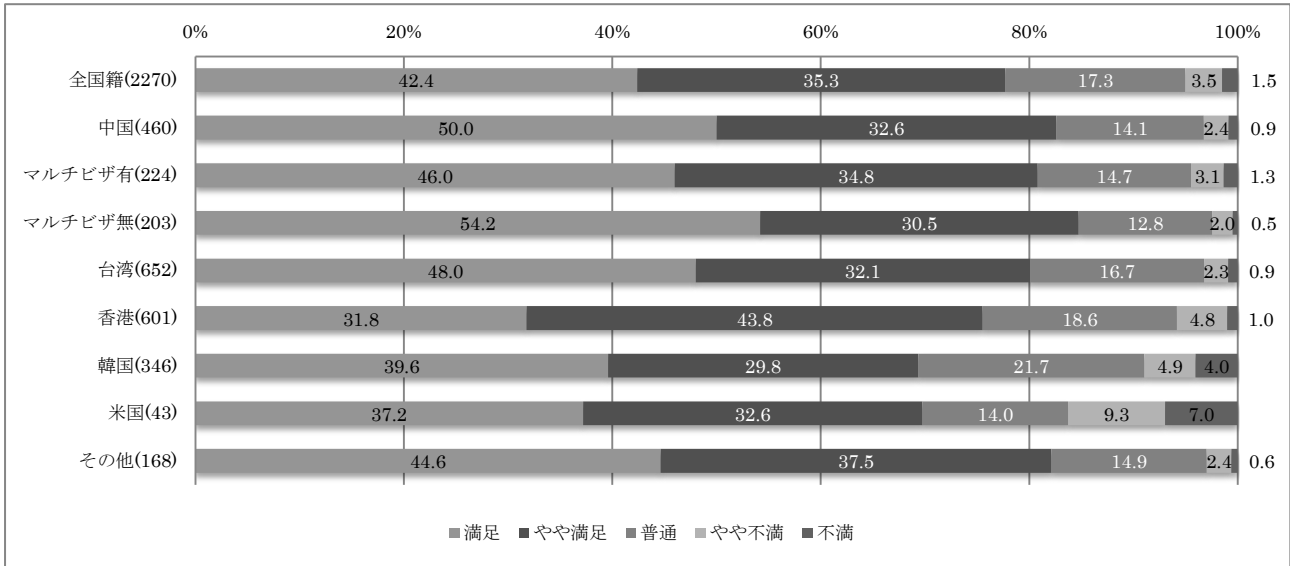


第一部 空路調査

・交通機関

満足している理由としてモノレールやレンタカーの便利さ、また、モノレールや路線バスの定刻通りの正確さをあげる一方、バスの料金が安い、運行本数が少ない、渋滞がひどいといった不満の声が聞かれた。全国籍と比較し、韓国と米国の「やや不満」「不満」の割合が高い傾向にある。

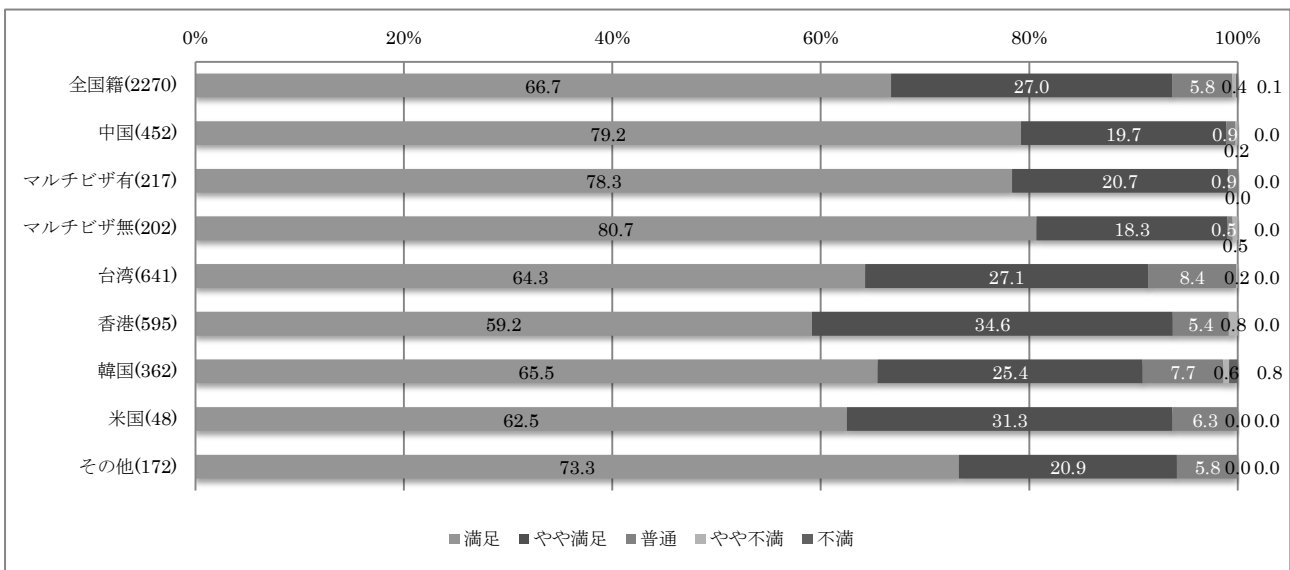
図表 5-10 交通機関の満足度（国籍別）



・おもてなし

全国籍で9割以上の旅行者が「満足」または「やや満足」している。「とても親切だった」、「温かいおもてなしを受けた」との意見が圧倒的に多い一方で、「意思疎通が出来たらもっと良い」という意見も見られた。

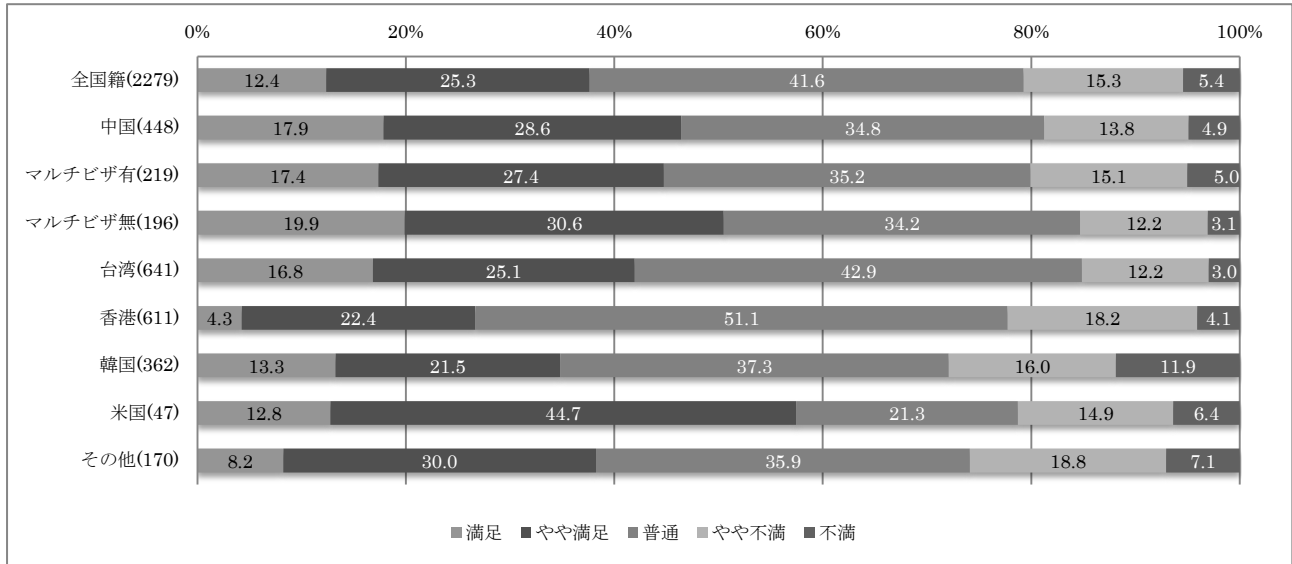
図表 5-11 おもてなしの満足度（国籍別）



・外国語対応能力

全国籍で「やや不満」「不満」という意見が約2割に上った。国籍を問わず、語学力向上を求める声が非常に多いほか、「外国語のメニューが無い」、「スタッフでも基本的な意思疎通ができない」など、受け入れ体制の不備に対する不満が多く聞かれた。

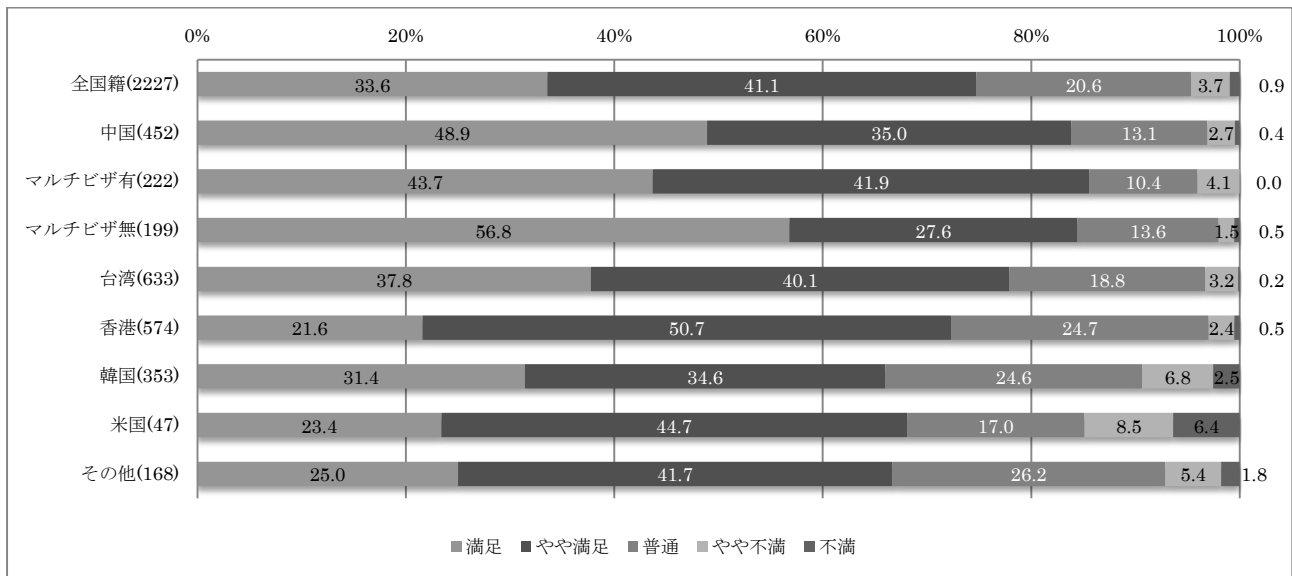
図表 5-12 外国語対応能力の満足度（国籍別）



・案内標記

中国の観光客の8割が「満足」「やや満足」と回答している一方、台湾（77.9%）、香港（72.3%）、韓国（66.0%）、アメリカ（68.1%）など満足度は比較的低い。「はっきりしていてわかりやすい」という意見がある一方で、地図やGPSの詳細な情報の不足や不正確性についての不満が多かった。

図表 5-13 案内表記の満足度（国籍別）

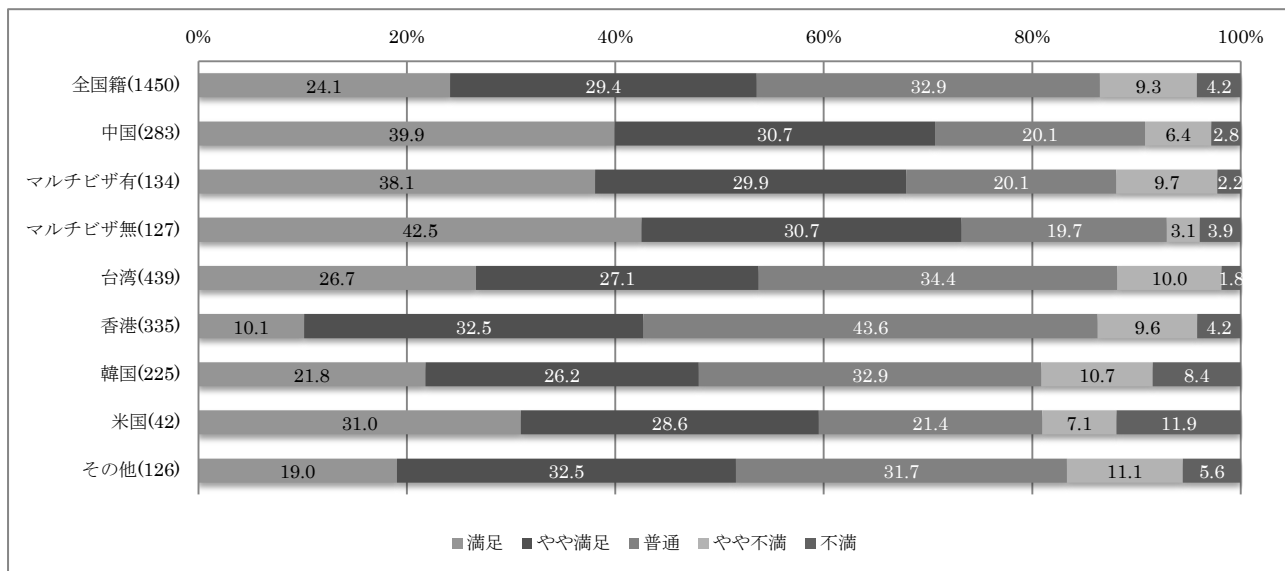


第一部 空路調査

・金融・決済の利便性

「外国語対応能力」に次いで、項目別の満足度での「やや不満」「不満」という意見が多い。「クレジットカードが使えなかった」「両替所が少ない」「ATMで自国のカードが使えない、24時間利用できない」など、設備対応を求める声が多く聞かれた。

図表 5-14 金融・決済の利便性の満足度（国籍別）

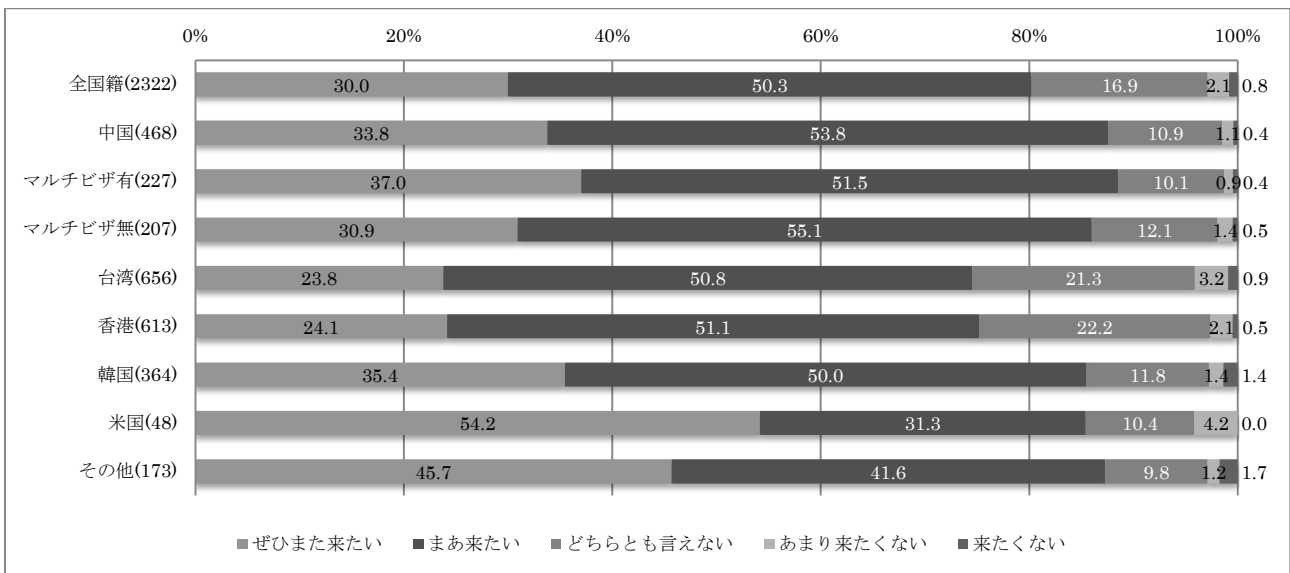


6. 沖縄への再訪意向

(1) 再訪意向

台湾、香港を除く全ての国籍で、「ぜひまた来たい」と「まあ来たい」を合わせると8割以上となり、再訪を希望する旅行者が多い。

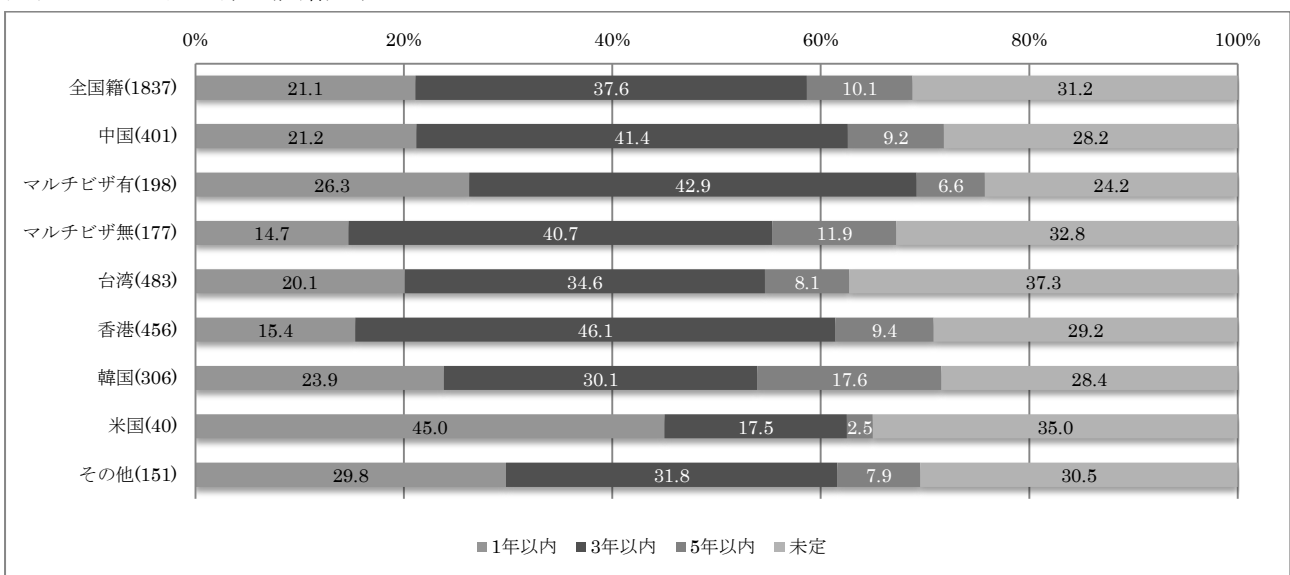
図表 6-1 再訪意向（国籍別）



(2) 再訪時期

「1年以内」の再訪を希望するのはアメリカ（45.0%）が最も多く、実際の再訪率に現れている。台湾では「未定」と回答した率が37.3%と最も高かったが、それ以外の国籍では「3年以内」の割合が最も高く、3~4割を占める。

図表 6-2 再訪時期（国籍別）



7. 訪沖外国人観光客の旅行支出(空路)

(1) 消費額推計結果 (四半期別、パッケージ参加費のうちの県内消費額を含む)

国籍別では中国が高く (125,181 円)、韓国が最も低い結果となった (64,404 円)。また、中国の中でもマルチビザ有が 129,181 円と全国籍の中で最も高い結果となった。時期としては第 1 四半期の消費額が最も高かった (93,514 円)。

図表 7-1 1人あたり観光消費額 (円) (国籍別)

	全国籍	中国	(マルチビザ有)	台湾	香港	韓国	その他
第1四半期	93,514	138,724	(152,206)	70,854	96,247	67,777	94,418
第2四半期	86,635	110,612	(102,783)	74,290	97,669	59,976	80,679
第3四半期	80,536	136,731	(156,437)	72,989	93,928	69,182	83,779
第4四半期	71,216	128,391	(133,961)	60,240	97,749	62,749	64,469
年度合計	83,336	125,181	(129,181)	69,988	96,737	64,404	81,894

※四捨五入のため総額が一致しない場合がある。

(2) 費目別旅行支出 (パッケージ参加費内訳を含む)

費目別では中国の土産・買物費の額の高さが際立っており (60,337 円)、飲食費は香港が最も高くなっている (24,579 円)。一方で台湾と韓国の消費額は低い傾向にあり、特に台湾の宿泊費 (13,823 円)、飲食費 (14,359 円)、韓国の土産・買物費 (14,773 円)、飲食費 (11,357 円) の低さが目立つ。

図表 7-2 1人あたり観光消費額 (円) 費目内訳 (国籍別)

	合計	宿泊費	土産・買物費	娯楽・入場費	飲食費	県内交通費	その他
中国	125,181	23,079	60,337	6,020	19,400	13,598	2,747
台湾	69,988	13,823	29,868	3,532	14,359	7,329	1,076
香港	96,737	22,013	30,102	6,065	24,579	12,669	1,309
韓国	64,404	21,902	14,773	4,978	11,357	9,783	1,610
その他	81,894	24,448	22,141	6,157	19,015	8,635	1,498
全国籍	83,336	19,420	30,264	4,956	17,262	9,952	1,483

※四捨五入のため総額が一致しない場合がある。

(1) 推計方法

当アンケート調査では、ツアー料金・往復交通費等旅行前支出、沖縄県県内での旅行中支出 (宿泊費、土産・買物費、娯楽・入場費、飲食費、県内交通費、その他) を調査し、四半期毎・国籍別に算出し、四半期毎・国籍別の入域観光客数により重みを付けて年平均値を推計している。なお、旅行前に支払われているツアー料金のうち県内観光産業に吸収される額については、個人旅行者の消費額費目構成比から推計し、旅行中の支払額に加算して、1人あたり観光消費額としている。

(2) 推計結果

24年度の1人あたり観光消費額は、空路は 83,336 円、海路は 20,001 円 (特例上陸者込み) となった。国籍別では、空路・海路とも中国本土が最も高く特に土産・買物費の額が高い。また飲食費は香港が最も高くなっている。

8. 空路国籍別サマリー

①中国



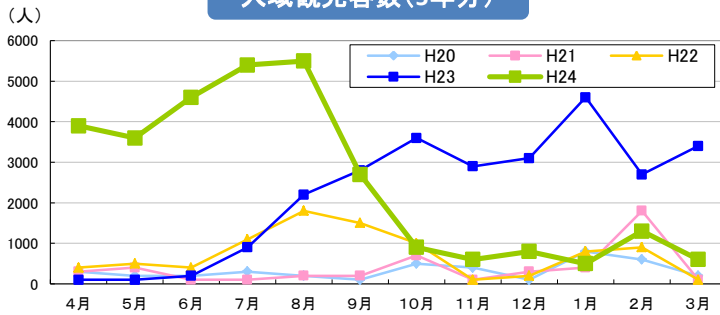
空路のみ

■ 訪沖外客数	30,400 人	(前年度比 114%、空路中シェア 12.7%)
■ 1人当たり旅行支出	125,181 円	■ 平均宿泊数 3.57 泊
■ 観光収入	約38 億円	(空路中シェア 19.1%、重点市場 第3位)

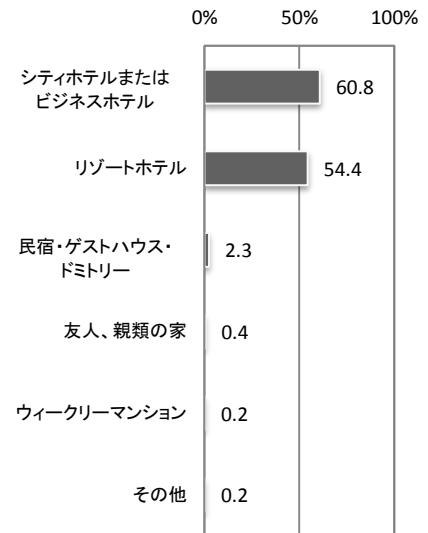
特徴

- ・平成23年度以降増加していたが、平成24年8月以降減少
- ・1人あたりの観光消費額が全国籍で最も高い
- ・団体旅行の割合が全国籍で最も高い。旅行全体の満足率が全国籍で最も高い

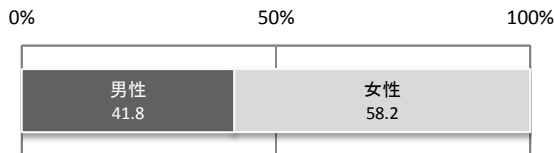
入域観光客数(5年分)



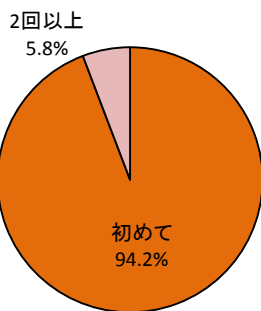
宿泊施設



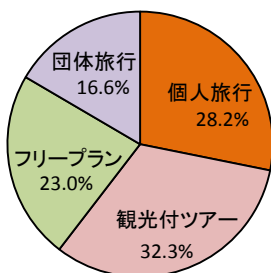
性別



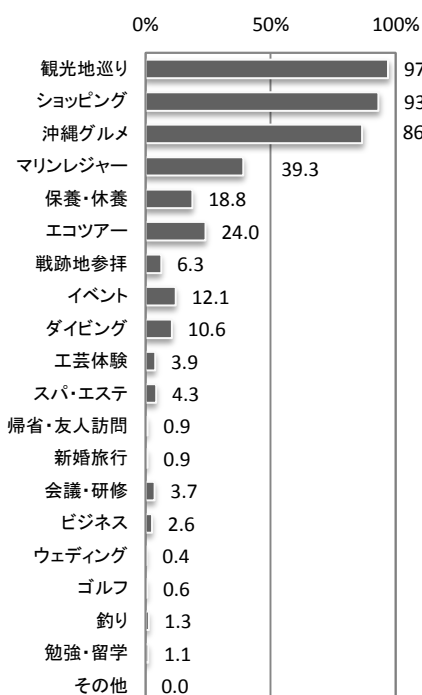
来沖回数



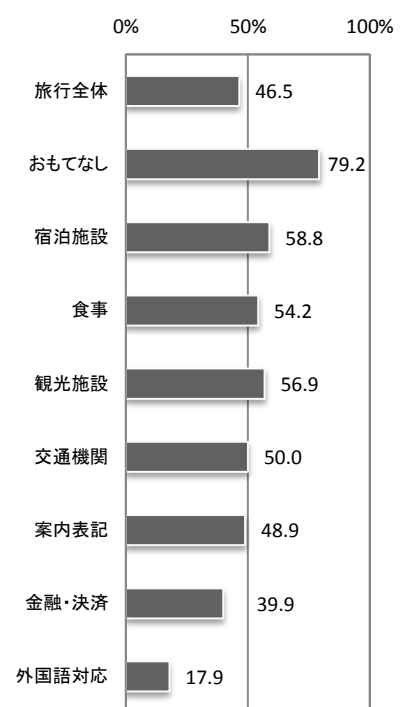
旅行形態




活動率



満足率





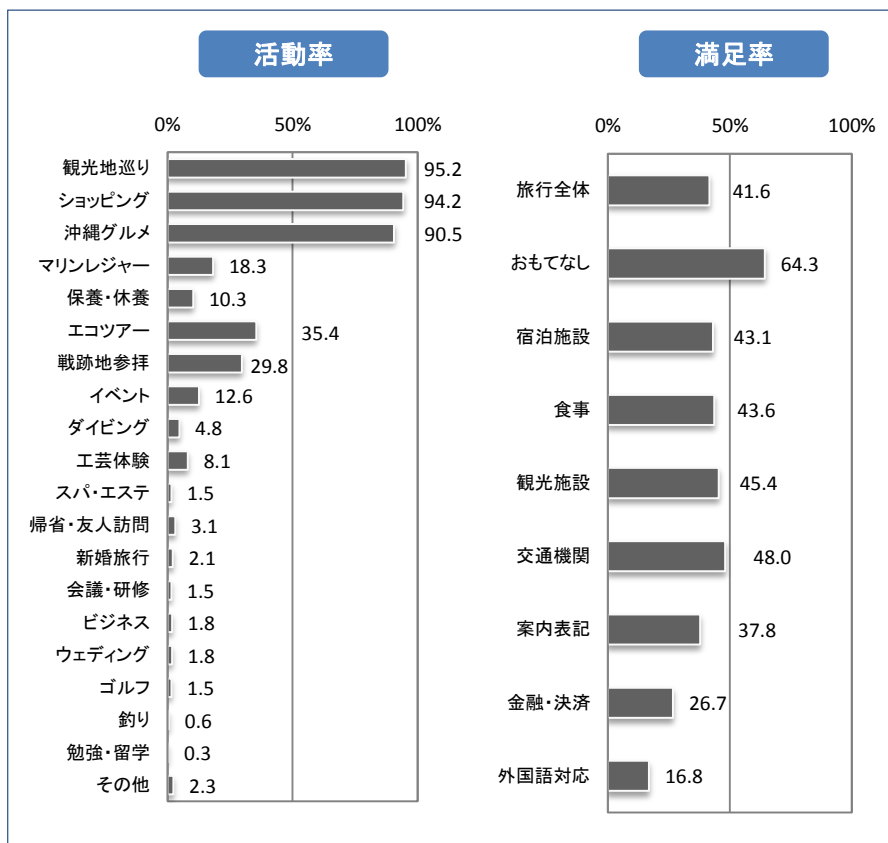
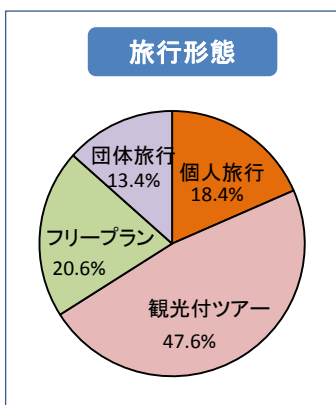
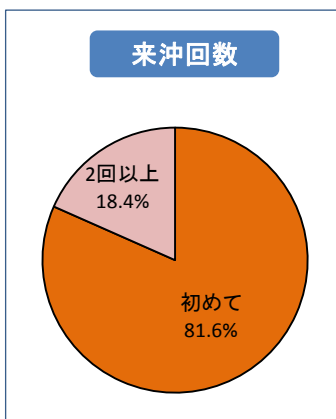
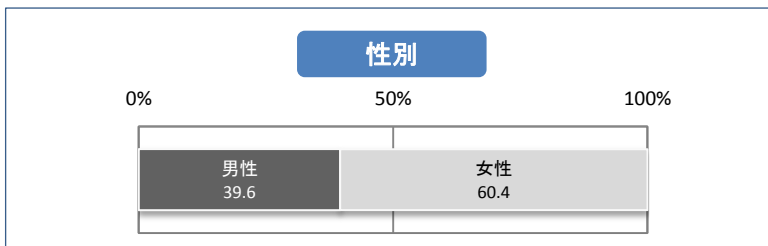
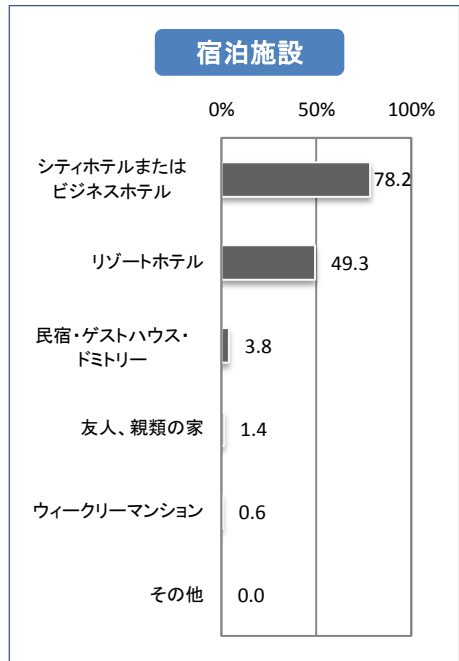
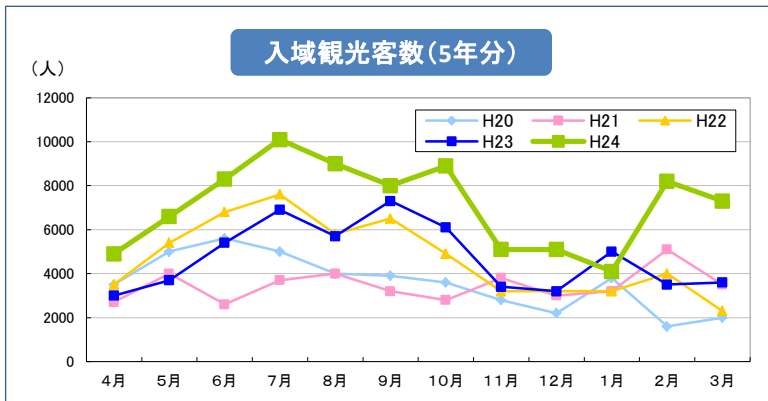
②台湾

空路のみ

■ 訪沖外客数	85,600 人	(前年度比 151%、空路中シェア 35.9%)
■ 1人当たり旅行支出	69,988 円	■ 平均宿泊数 3.41 泊
■ 観光収入	約60 億円	(空路中シェア 30.1%、重点市場 第1位)

特徴

- ・入域客数は平成24年度はほとんどの月で前年を上回った
- ・リピーターの割合が主要4か国の中で最も高い(18.4%)
- ・観光付ツアーが47.6%と半数近くを占め、個人旅行の割合が低い



③香港



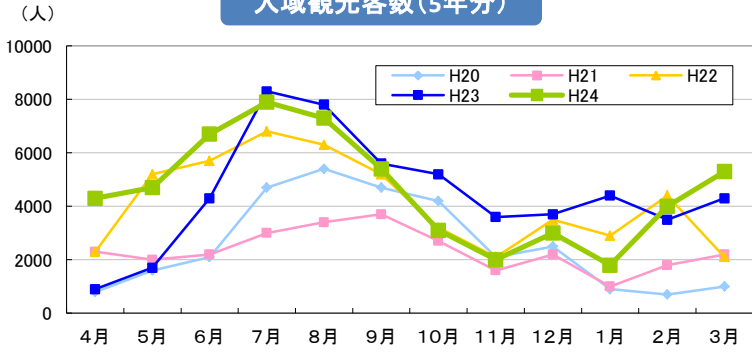
空路のみ

■ 訪沖外客数	55,500 人	(前年度比 104%、空路中シェア 23.3%)
■ 1人当たり旅行支出	96,737 円	■ 平均宿泊数 3.96 泊
■ 観光収入	約54 億円	(空路中シェア 27%、重点市場 第2位)

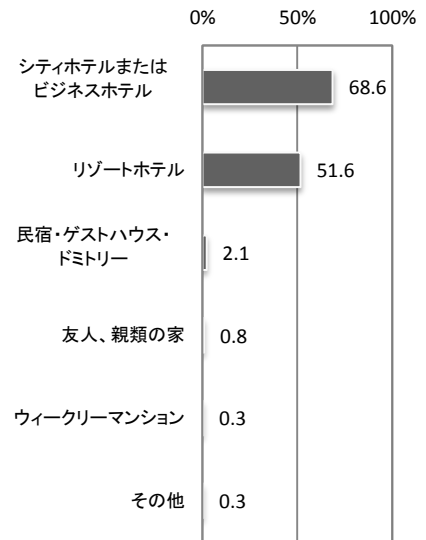
特徴

- ・夏時期の入域客数が多い。また、助成が半数以上を占める
- ・少数ではあるがウェディングの割合が全国籍と比較し高い
- ・旅行全体の満足率が29.4%と低く、特に外国語対応の満足率が低い

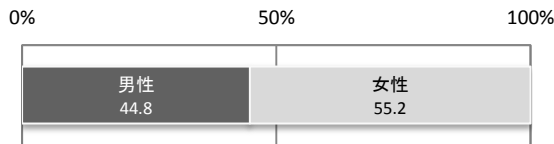
入域観光客数(5年分)



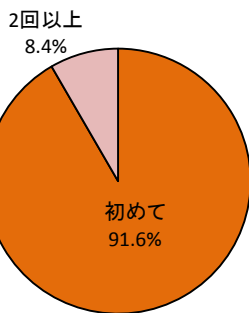
宿泊施設



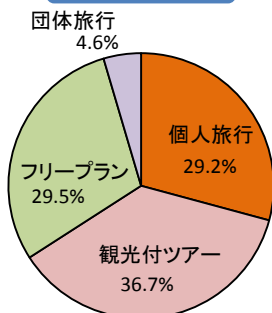
性年代



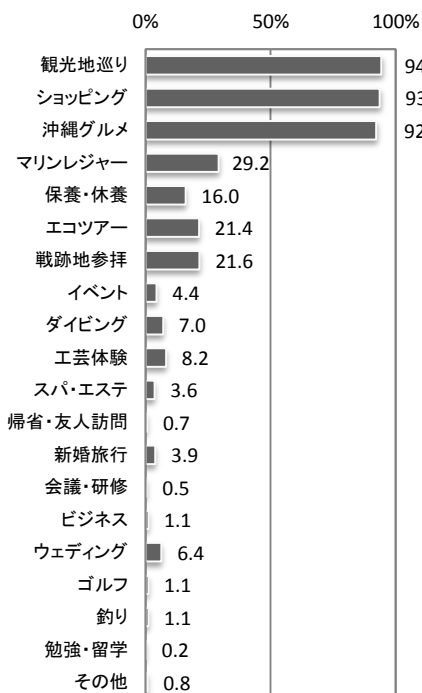
来沖回数



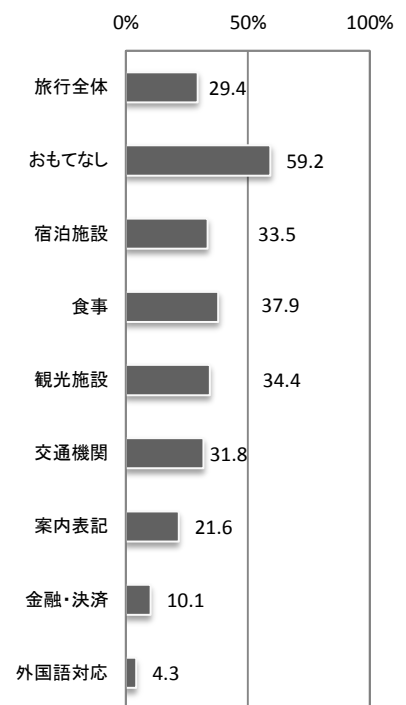
旅行形態




活動率



満足率





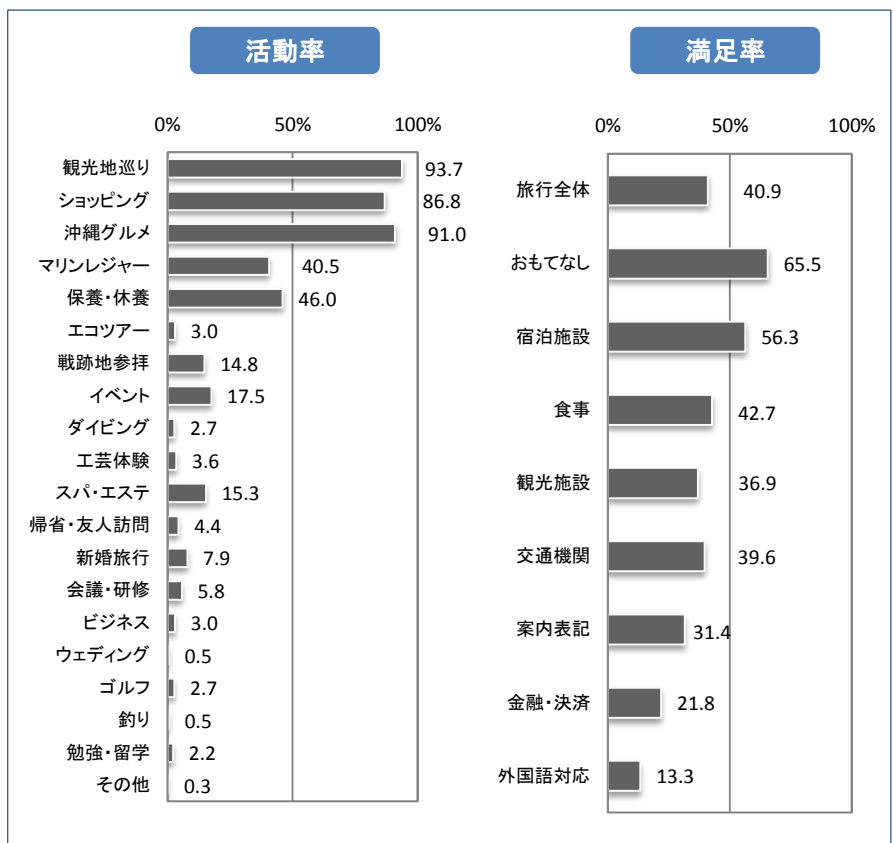
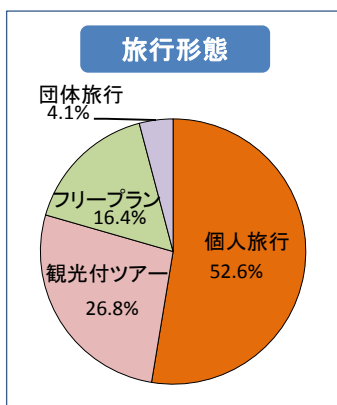
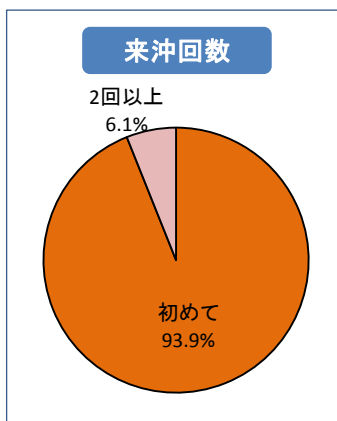
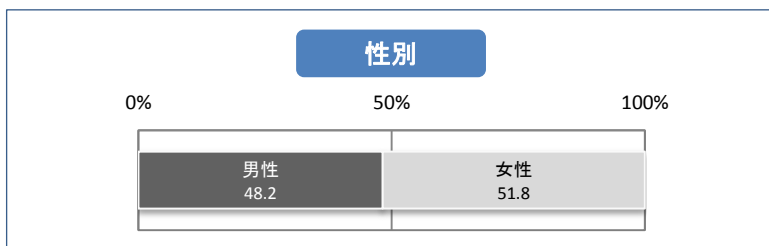
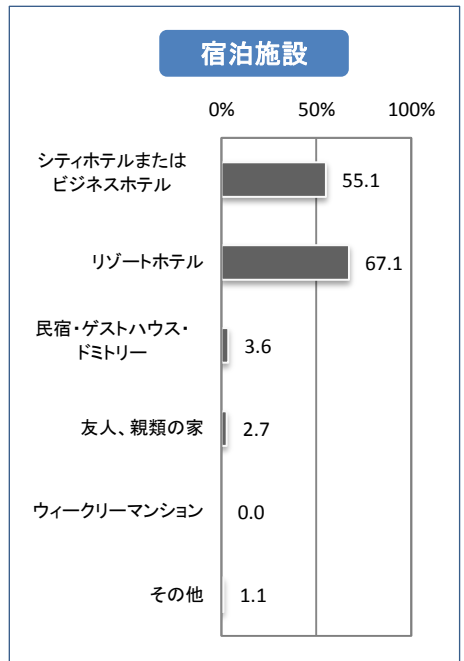
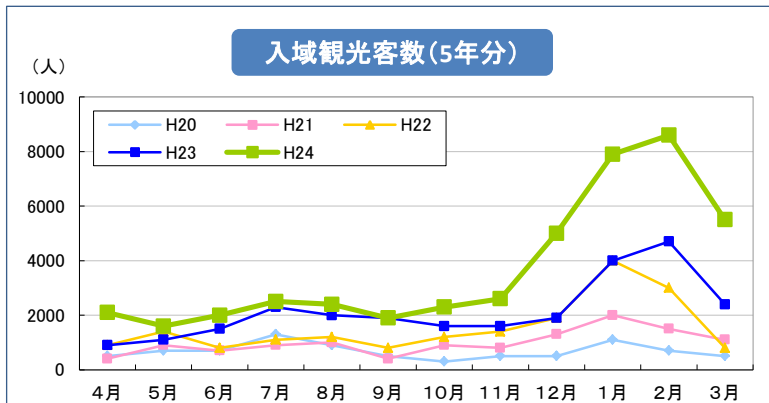
④韓国

空路のみ

- 訪沖外客数 44,400 人 (前年度比 171%、空路中シェア 18.6%)
- 1人当たり旅行支出 64,404 円
- 観光収入 約29 億円 (空路中シェア 14.4%、重点市場 第4位)

特徴

- ・リゾートホテルの利用率が全国籍で最も高い
- ・個人旅行が主要4か国で最も高く(52.6%)、一方団体旅行は最も低い(4.1%)
- ・冬時期の客数が多い。また保養・休養、スパ・エステの活動率が高い



⑤アメリカ



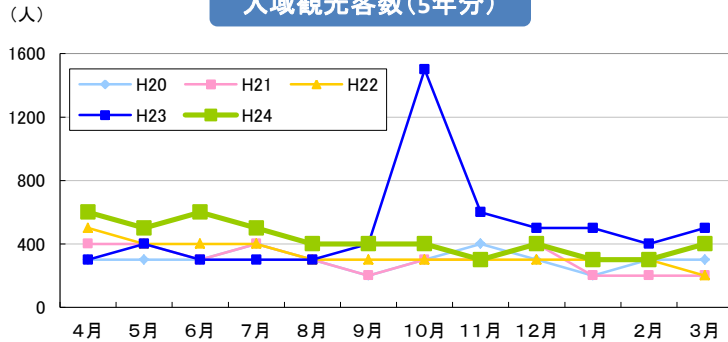
空路のみ

■訪沖外客数 5,100 人 (前年度比 85 %、空路中シェア 2.1 %)
 ■1人当たり旅行支出 算出不可 ■平均宿泊数 12.24 泊

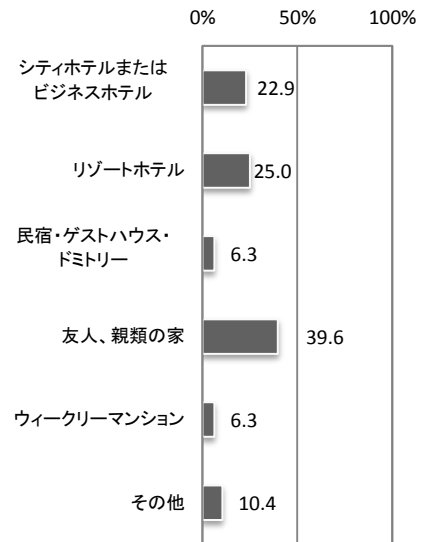
特徴

- ・友人・親類の家を利用する割合が高く、帰省・友人訪問の活動率の割合も高い
- ・個人旅行が高く、リピート率も31.9%と全国籍で最も高い
- ・保養・休養、ビジネスの活動率が高く、他の国籍と異なる傾向がある

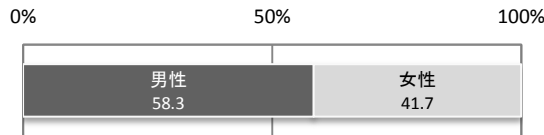
入域観光客数(5年分)



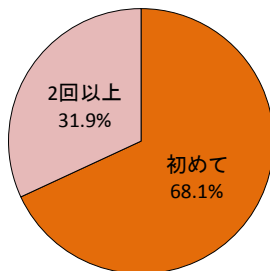
宿泊施設



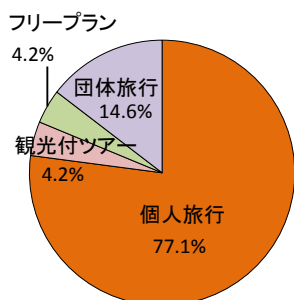
性別



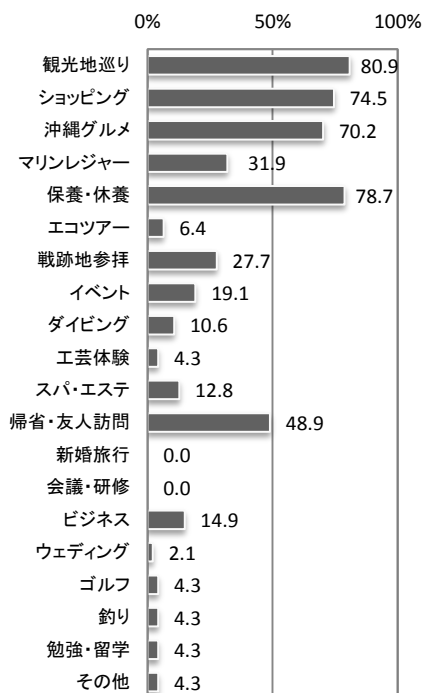
来沖回数



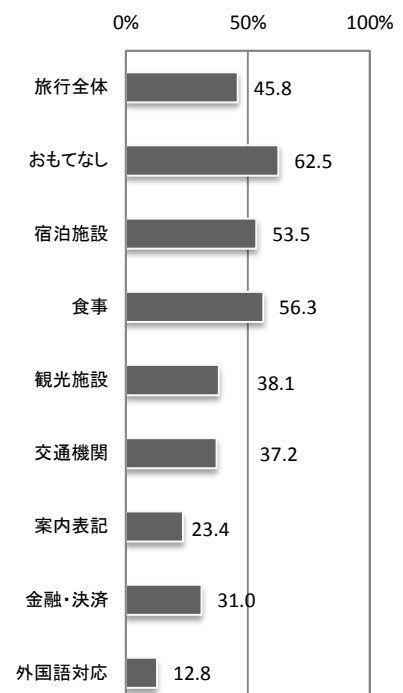
旅行形態



活動率



満足率



クルーズ船調査

平成 24 年度外国人観光客満足度調査

第二部の構成

- 訪沖外国人観光客の属性
- 訪沖外国人観光客の旅行内容
- 訪沖外国人観光客の情報源
- 沖縄旅行の評価
- 沖縄への再訪意向
- 石垣島入域に関する情報
- 訪沖外国人観光客の旅行支出

9. 訪沖外国人観光客の属性

(1) 回答者属性

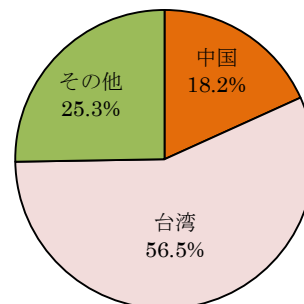
・国籍別構成比

国籍別構成比は、中国 18.5%、台湾 56.3%、その他国籍が 25.2%となっている。その他国籍の中には、香港・シンガポールなどのアジア圏や欧米圏も含まれる（以下詳細参照）。

図表 9-1 回答者数（国籍別）

国籍	人数	構成比
中国	171	18.2%
台湾	530	56.5%
その他	237	25.3%
合計	938	100%

図表 9-2 回答者構成比（国籍別）



■その他国籍の詳細（237名）

アジア 86 人、ヨーロッパ 82 人、オセアニア 23 人、北米 13 人、南米 11 人、アフリカ 10 人、ロシア 2 人、不明 10 人

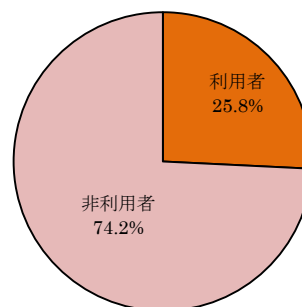
・中国人マルチビザ構成比

中国人マルチビザ利用者構成比は、利用者 25.8%、非利用者 74.2%である。

図表 9-3 回答者数（マルチビザ利用有無）

	人数	構成比
利用者	25	25.8%
非利用者	72	74.2%
合計	97	100%

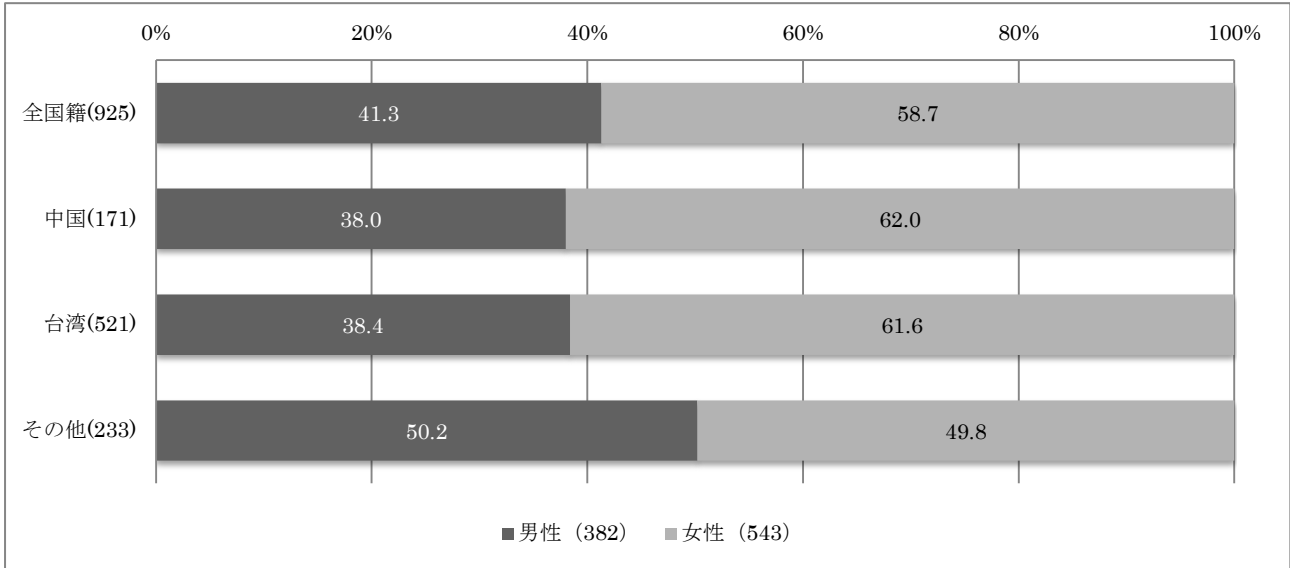
図表 9-4 回答者構成比（マルチビザ利用有無）



・性別構成比

性別構成比は、全国籍で男性 41.3%、女性 58.7%で女性の割合が多くなっているが、その他国籍ではほぼ同数となっている。

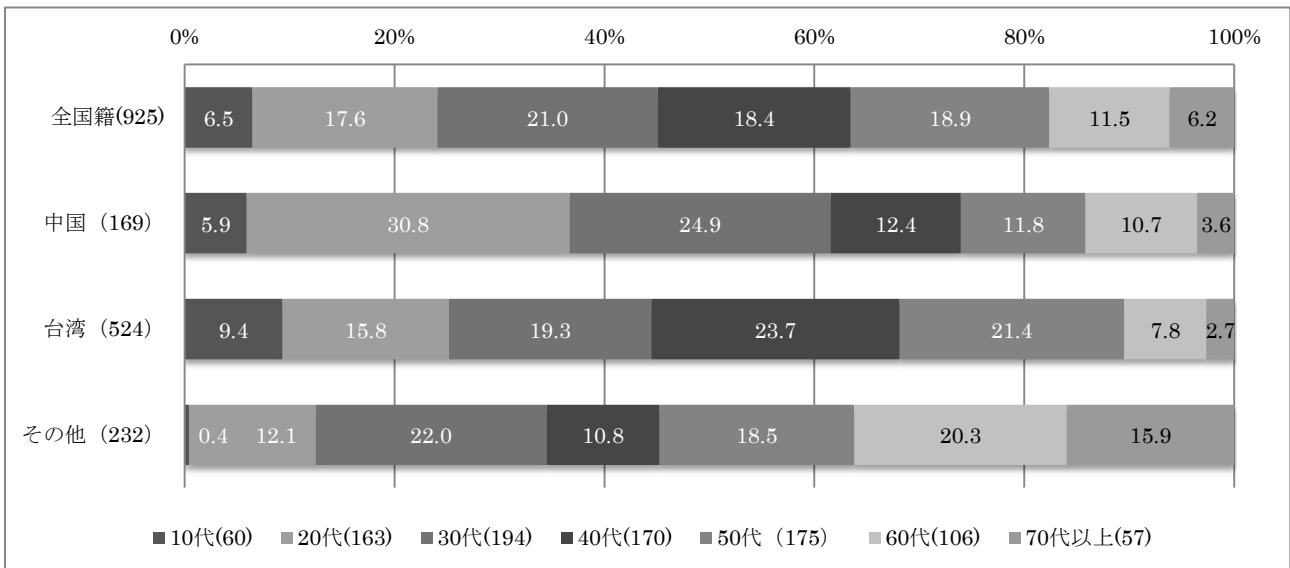
図表 9-5 性別構成比（国籍別）



・年代別構成比

年代別構成比は全国籍で 30 代以下が 45.1%となっている。空路では 30 代以下が 7 割を占める。ただし、中国では 30 代以下が 61.6%（空路は 72.8%, P.3 参照）となっている。

図表 9-6 年代別構成比（国籍別）



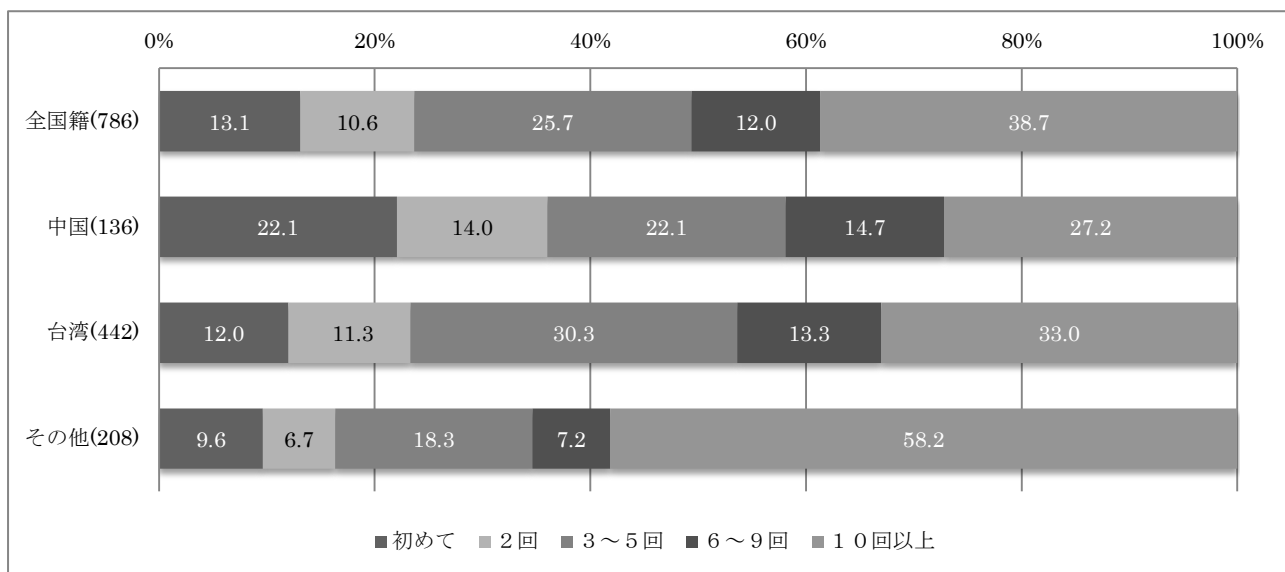
第二部 クルーズ船調査

(2) 旅行経験

・海外旅行経験

海外旅行経験について、全国籍では10回以上が38.7%と多く、2回以上までを含めると約9割となっている。空路利用の観光客も海外旅行経験10回以上が42.9%、2回以上を含めると92.4%となっており(P.4参照)、クルーズ・空路ともに海外旅行経験豊富な観光客が沖縄に訪問していると言える。

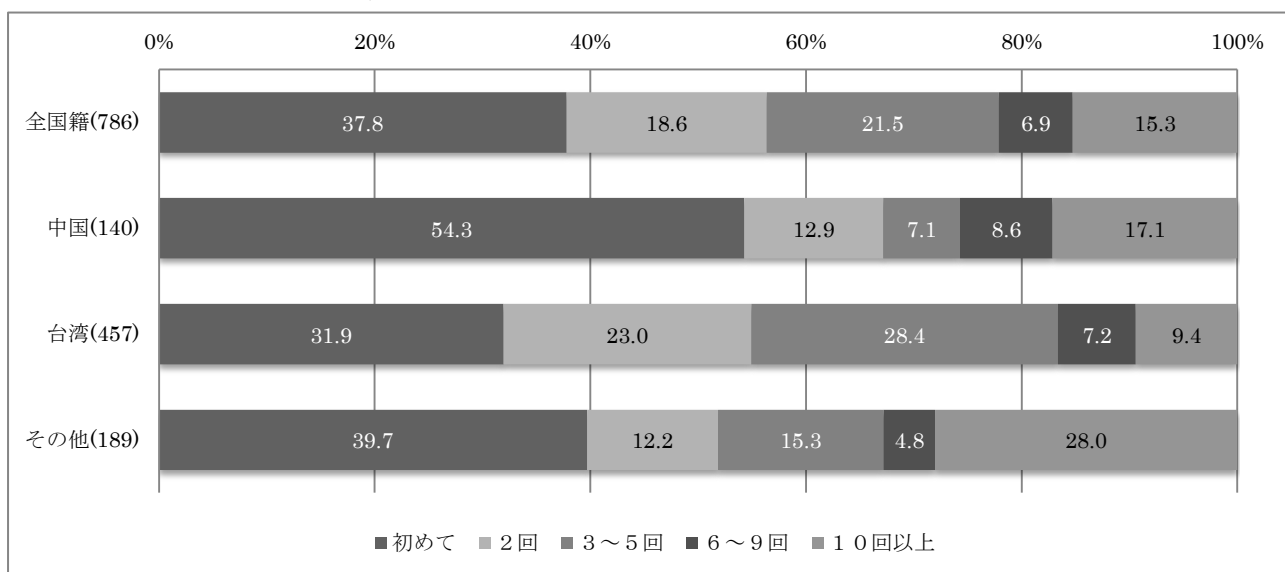
図表 9-7 海外旅行回数（国籍別）



・訪日旅行経験

訪日旅行経験について、全国籍では「初めて」が37.8%となっており、中国では54.3%と最も多い。

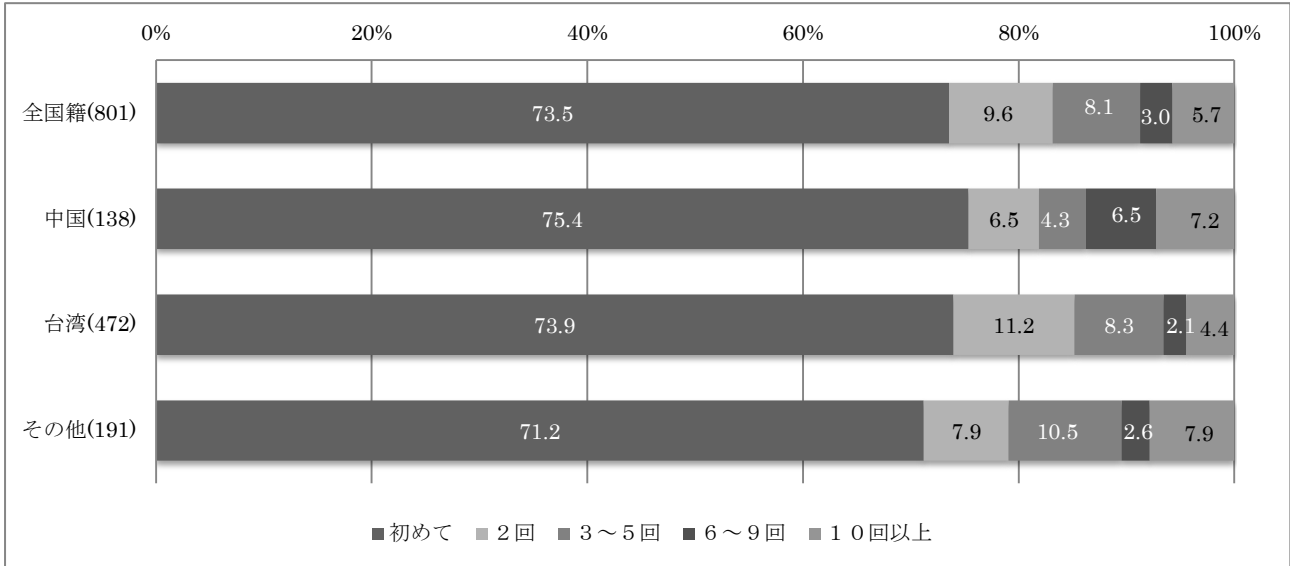
図表 9-8 訪日旅行回数（国籍別）



・ 沖縄旅行経験

沖縄旅行経験について、全国籍の約7割が「沖縄旅行は初めて」である。中国（75.4%）は沖縄旅行の経験が他の国籍にくらべてわずかに低い数値となっている。

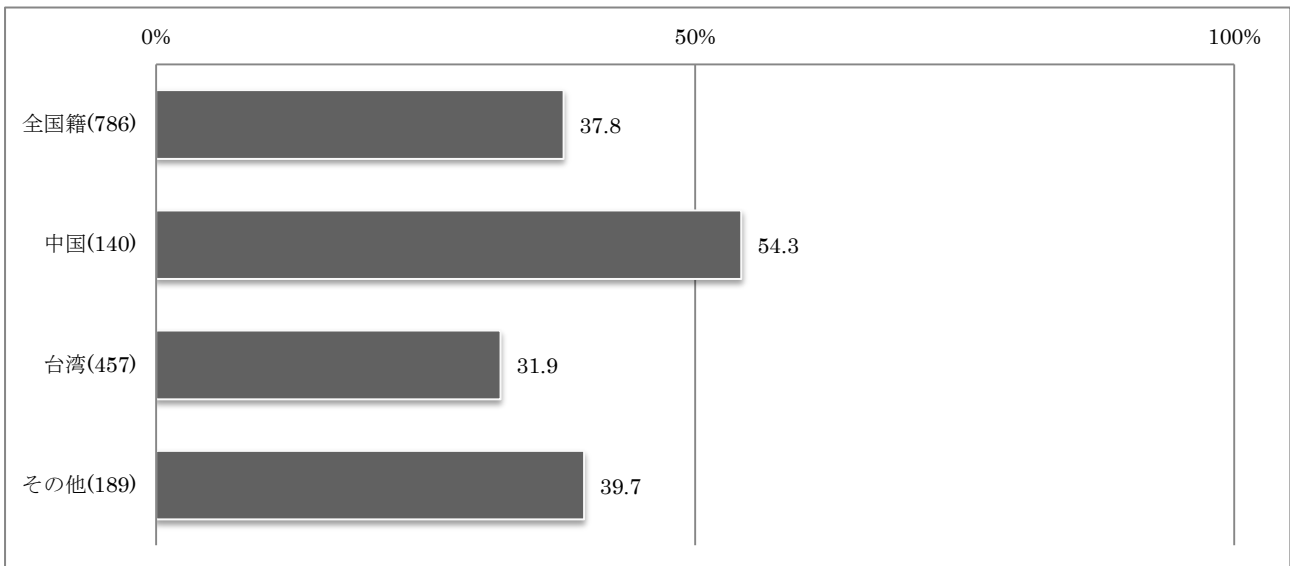
図表 9-9 沖縄旅行回数（国籍別）



・ 沖縄が初めての日本旅行

全国籍の割合が37.8%に対し、中国は54.3%と高い結果となった。空路もほぼ同様の数値であった（全国籍32.6%、中国49.9%、台湾31.3%、P.5参照）

図表 9-10 沖縄が初めての日本旅行（国籍別）

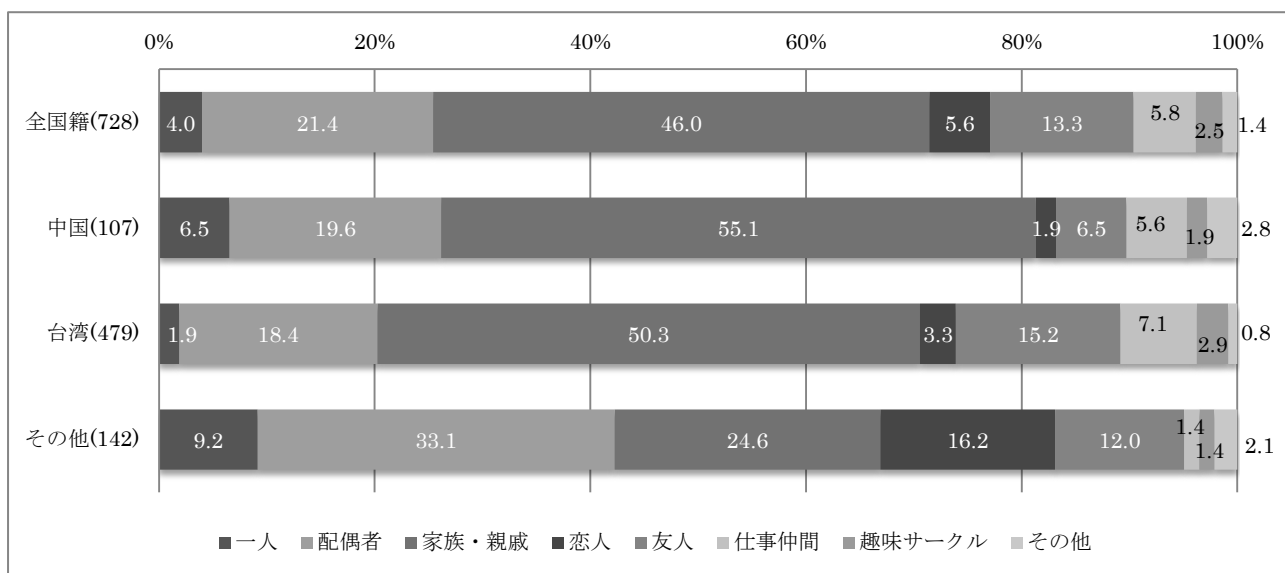


10. 訪沖外国人観光客の旅行内容

(1) 同行者

同行者について、全国籍では家族・親戚での旅行が46.0%と最も高く、特に中国(55.1%)、台湾(50.3%)が高い。

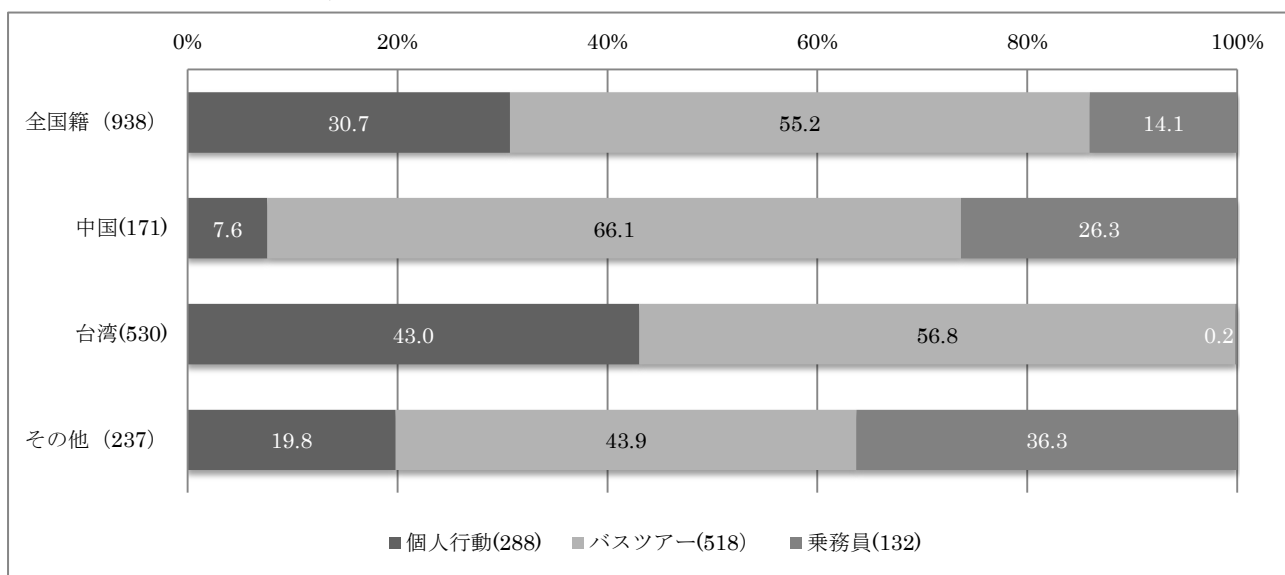
図表 10-1 同行者（国籍別）



(2) 下船形態

全国籍では、バスツアーへ参加した観光客が55.2%と最も多い。クルーズ乗務員も14.1%を占めており、自転車持参で下船する者もいる。台湾では、「個人行動」が43.0%と高い。

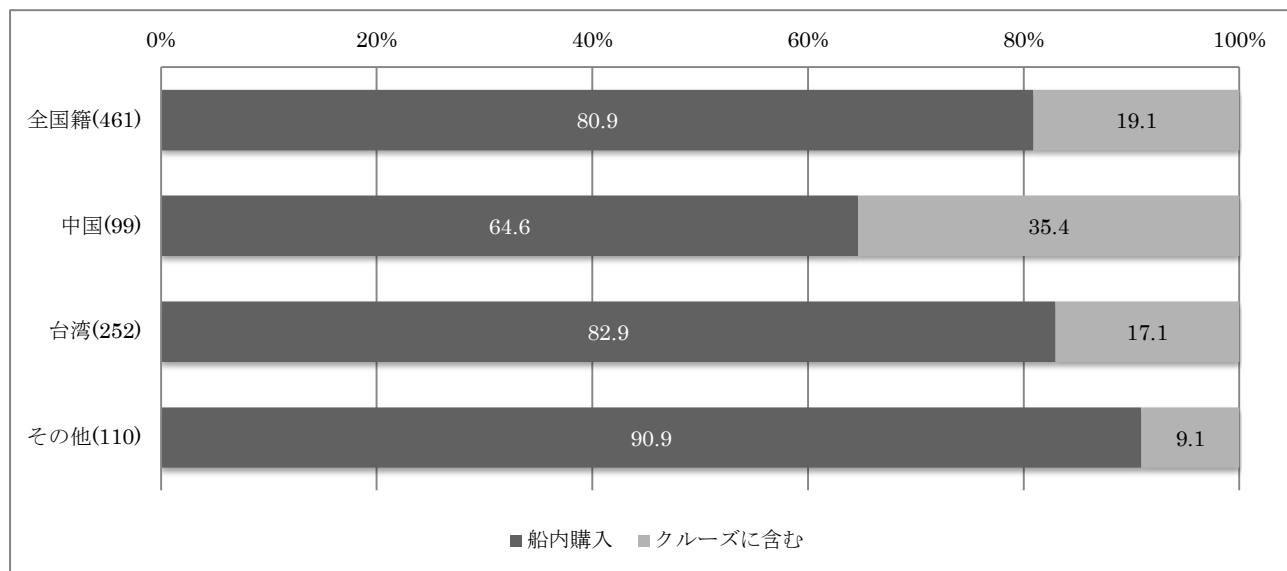
図表 10-2 下船形態（国籍別）



(3) ツアー購入形態

バスツアー利用者については全国籍でクルーズ船内で販売されるツアーを利用している観光客が80.9%と最も高い。中国ではクルーズ旅行に沖縄での観光ツアーが組み込まれているケース(35.4%)も高い。

図表 10-3 ツアー購入形態（国籍別）

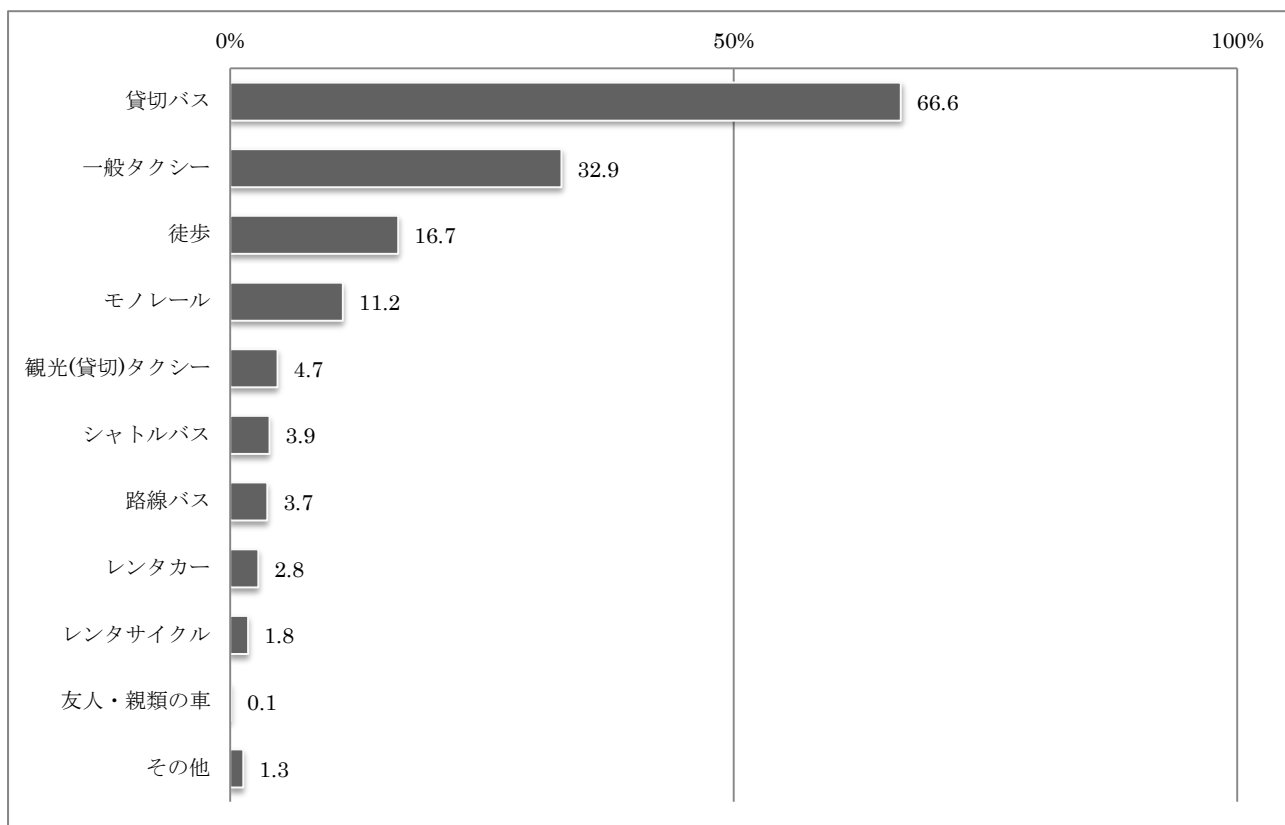


第二部 クルーズ船調査

(4) 交通手段

全国籍では、「貸切バス」(66.6%)が最も多く、特に中国は9割近くが「貸切バス」を利用している。台湾は個人行動の割合が高く「一般タクシー」(42.0%)、「モノレール」(16.4%)など公共交通機関が高くなっている。

図表 10-4 交通手段 (国籍別/複数回答)



(%)

	全国籍(872)	中国(160)	台湾(493)	その他(219)
貸切バス	66.6	88.3	59.8	72.1
一般タクシー	32.9	18.1	42.0	23.3
徒歩	16.7	16.9	14.8	21.0
モノレール	11.2	1.9	16.4	6.4
観光(貸切)タクシー	4.7	2.5	6.9	1.4
シャトルバス	3.9	1.9	1.0	11.9
路線バス	3.7	3.8	3.7	3.7
レンタカー	2.8	0.6	4.3	0.9
レンタサイクル	1.8	3.1	1.4	1.8
友人・親類の車	0.1	0.0	0.2	0.0
その他	1.3	2.5	0.4	2.3

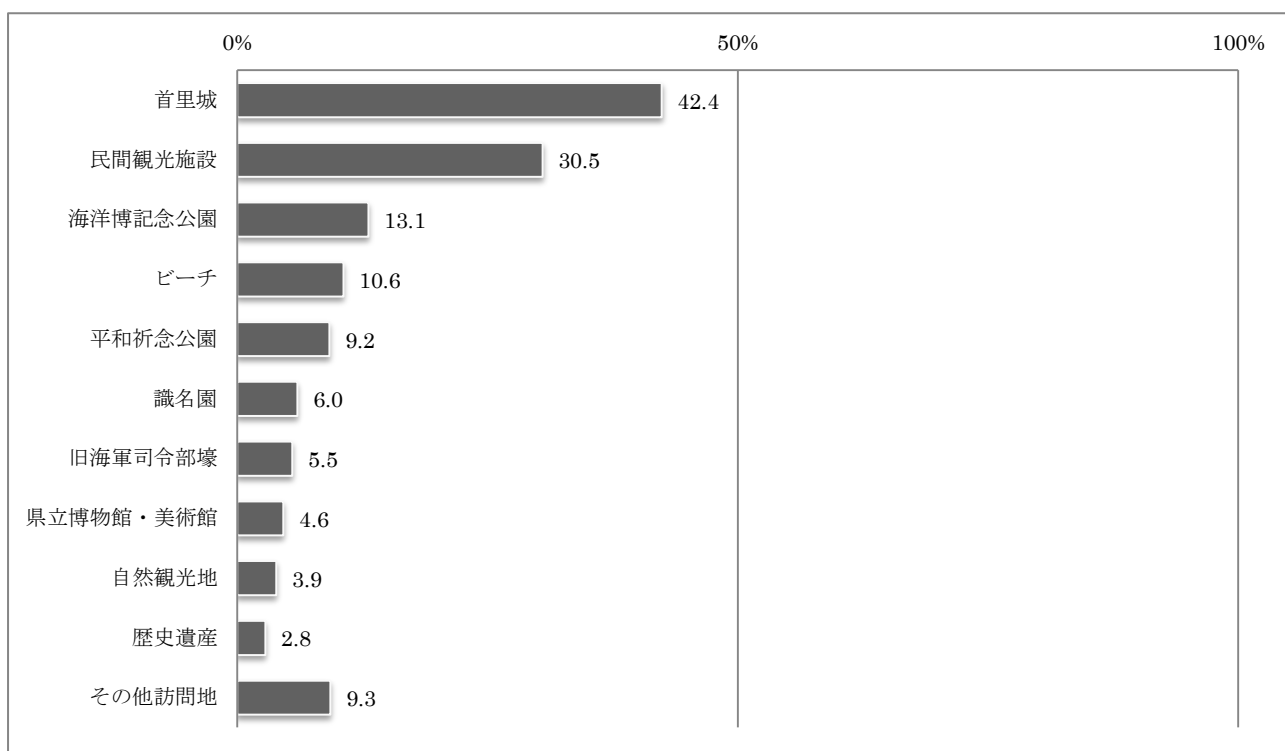
(5) 訪問場所

・観光地

全国籍では首里城が最も高く（42.4%）、ショッピングエリアの国際通りとともに那覇市内を訪れている割合が高い。空路で最も訪問率の高かった「海洋博記念公園」（83.3%, P.12 参照）は移動距離と時間の問題からクルーズでは13.1%にとどまった。

なお、多くのクルーズ船は寄港時に約2時間の入国手続きがあり、10時頃から17時頃までが観光可能な滞在時間となっている。入国手続きに関し待ち時間が長いという意見があった。

図表 10-5 訪れた観光地（国籍別/複数回答）



(%)

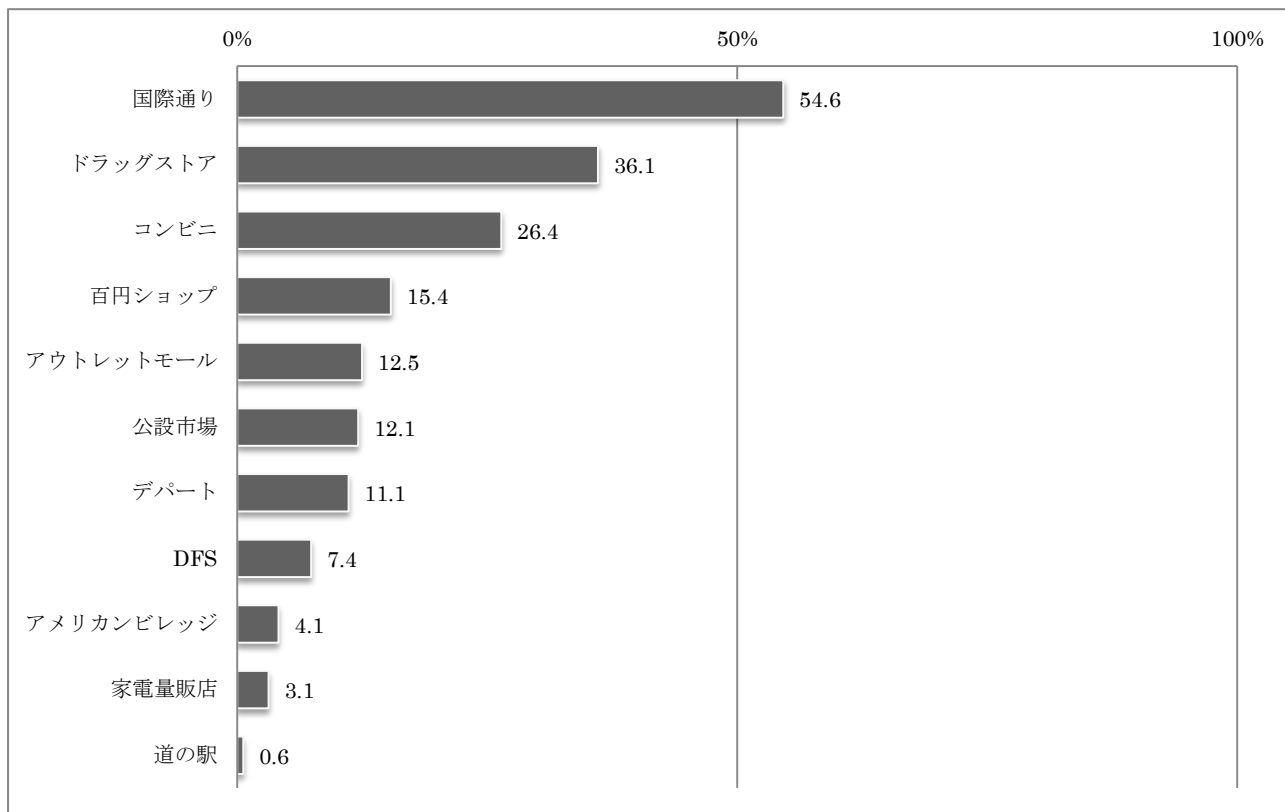
	全国籍(830)	中国(155)	台湾(464)	その他(211)
首里城	42.4	43.9	38.1	50.7
民間観光施設	30.5	35.5	34.1	19.0
海洋博記念公園	13.1	31.6	10.6	5.2
ビーチ	10.6	16.1	8.2	11.8
平和祈念公園	9.2	3.2	1.1	31.3
識名園	6.0	0.6	1.7	19.4
旧海軍司令部壕	5.5	7.1	0.6	15.2
県立博物館・美術館	4.6	2.6	3.9	7.6
自然観光地	3.9	1.9	4.5	3.8
歴史遺産	2.8	1.9	1.1	7.1
その他訪問地	9.3	9.0	7.3	13.7

第二部 クルーズ船調査

・買い物をした場所

全国籍では、「国際通り」(54.6%)が最も高く、クルーズ船の滞在時間が短いことも影響し、那覇市内でのショッピングの傾向が高い。台湾は「ドラッグストア」(53.4%)でのショッピングニーズが高く、目薬、湿布、サプリメント等をドラッグストアで(大量に)購入して帰国するケースが多々ある。

図表 10-6 訪れたショッピングエリア (国籍別/複数回答)



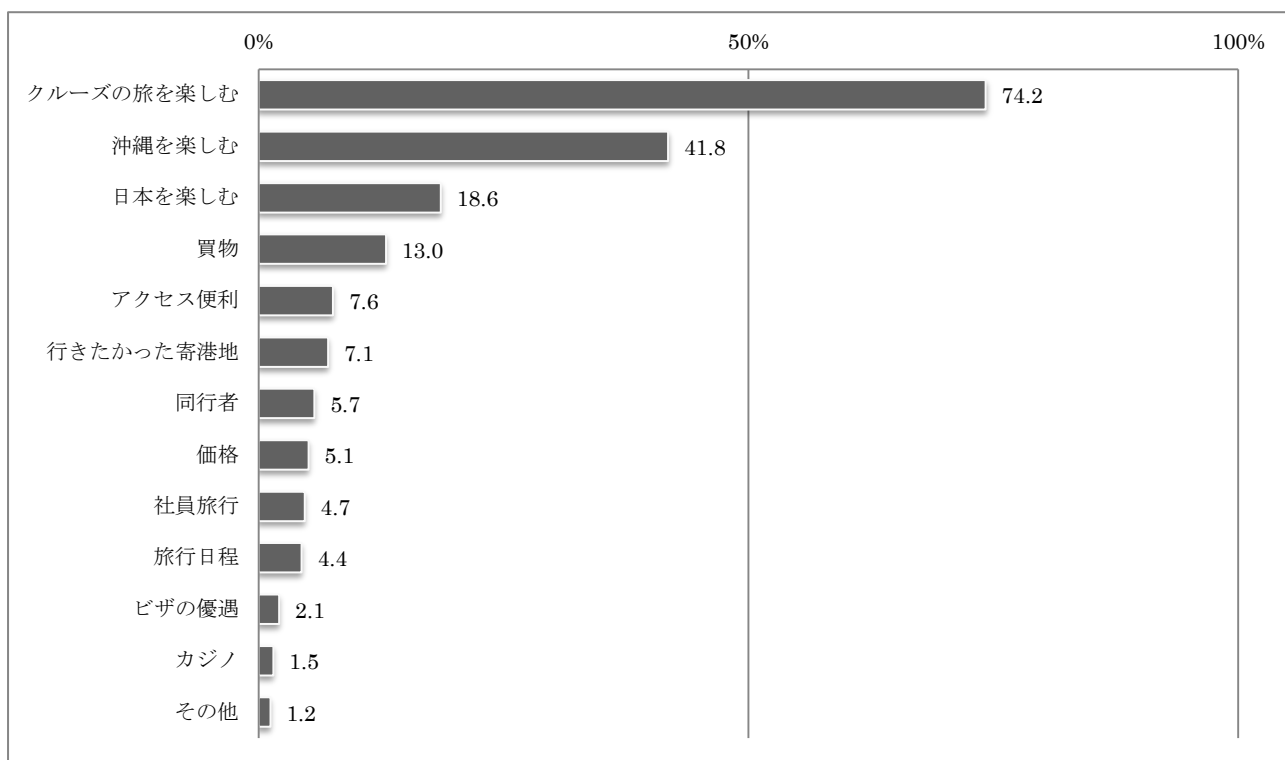
(%)

	全国籍(807)	中国(147)	台湾(180)	その他(180)
国際通り	54.6	42.9	63.7	41.5
ドラッグストア	36.1	15.6	53.4	9.5
コンビニ	26.4	15.0	35.1	14.0
百円ショップ	15.4	9.5	19.0	11.0
アウトレットモール	12.5	8.2	15.7	8.0
公設市場	12.1	1.4	17.9	6.0
デパート	11.1	6.1	14.2	7.5
DFS	7.4	15.0	7.1	2.5
アメリカンビレッジ	4.1	2.0	5.4	2.5
家電量販店	3.1	1.4	4.0	2.5
道の駅	0.6	0.0	0.2	2.0

(6) クルーズ船旅行参加理由（クルー乗務員除く）

全国籍では「クルーズの旅を楽しむ」が74.2%と最も高く、次いで「沖縄を楽しむ」が41.8%である。特に中国の「クルーズの旅を楽しむ」が90.0%と非常に高く、クルーズの旅への期待度が高いが「沖縄を楽しむ」は24.5%となり、沖縄への期待度は台湾（46.5%）と比べて低い。「行きたかった寄港地」として沖縄が挙がる率もその他国籍を除き全体的に低い。

図表 10-7 クルーズ船旅行参加理由（複数回答）



(%)

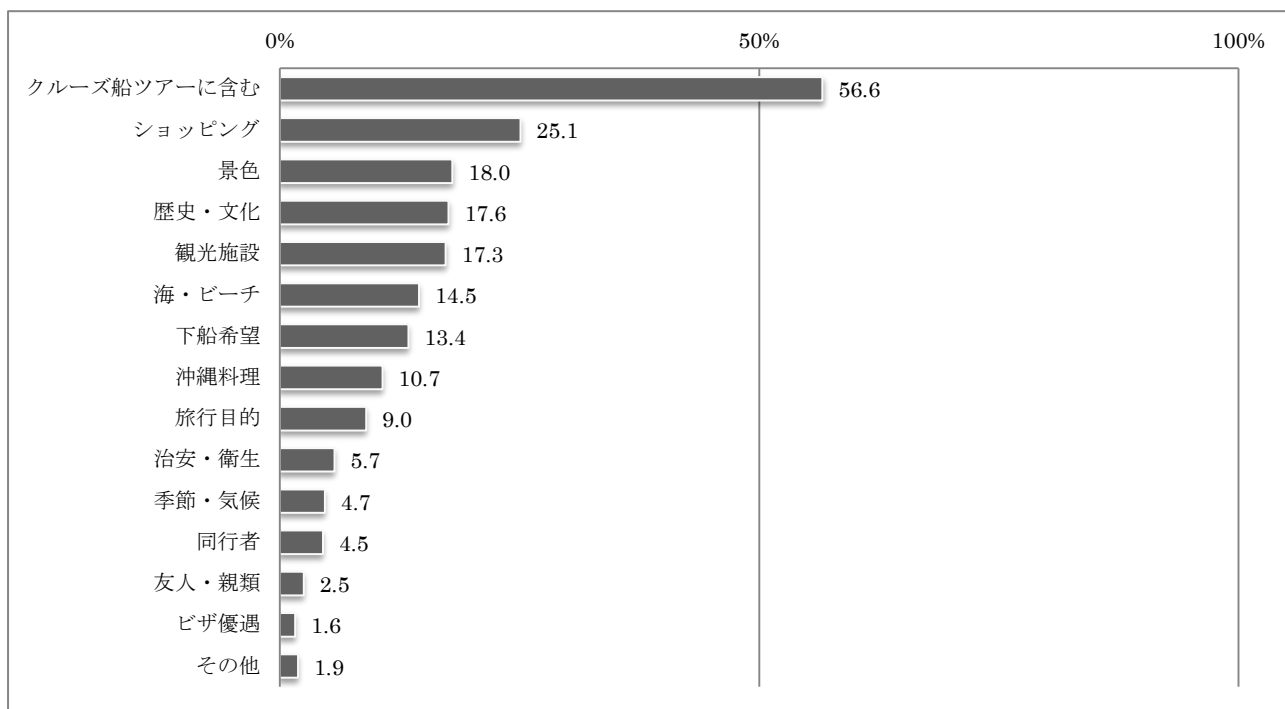
	全国籍(749)	中国(110)	台湾(493)	その他(146)
クルーズの旅を楽しむ	74.2	90.0	77.5	51.4
沖縄を楽しむ	41.8	24.5	46.5	39.0
日本を楽しむ	18.6	12.7	22.1	11.0
買物	13.0	14.5	15.6	2.7
アクセス便利	7.6	4.5	7.5	10.3
行きたかった寄港地	7.1	8.2	4.5	15.1
同行者	5.7	0.0	7.9	2.7
価格	5.1	2.7	5.9	4.1
社員旅行	4.7	4.5	5.5	2.1
旅行日程	4.4	2.7	2.4	12.3
ビザの優遇	2.1	2.7	2.4	0.7
カジノ	1.5	0.0	1.8	1.4
その他	1.2	2.7	1.2	0.0

第二部 クルーズ船調査

(7) 下船理由

全国籍でクルーズにツアーが含まれていることを理由に下船する人が最も多い(56.6%)。次いで、「ショッピング」(25.1%)となっている。その他国籍では、沖縄の歴史文化(28.5%)に関心が高く、中国では海ビーチ(23.7%)への関心が高い。

図表 10-8 下船理由(複数回答)



(%)

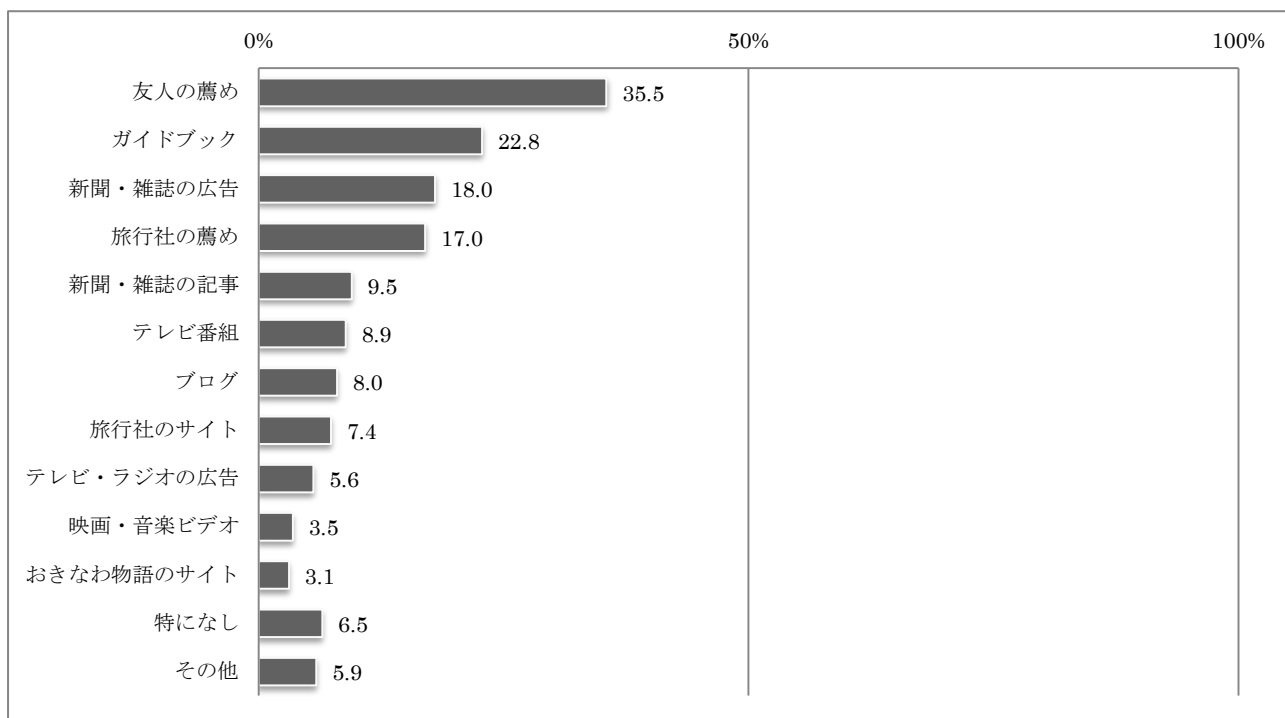
	全国籍(826)	中国(152)	台湾(474)	その他(200)
クルーズ船ツアーに含む	56.6	63.1	56.7	51.1
ショッピング	25.1	25.7	31.2	10.0
景色	18.0	20.4	20.3	11.0
歴史・文化	17.6	15.1	13.7	28.5
観光施設	17.3	11.2	18.4	19.5
海・ビーチ	14.5	23.7	15.2	6.0
下船希望	13.4	11.8	14.8	11.5
沖縄料理	10.7	10.5	10.8	10.5
旅行目的	9.0	9.9	11.4	2.5
治安・衛生	5.7	5.3	5.5	6.5
季節・気候	4.7	5.3	5.5	2.5
同行者	4.5	2.0	7.0	0.5
友人・親類	2.5	1.3	4.0	0.0
その他	1.9	2.0	0.6	5.0
ビザ優遇	1.6	0.7	2.5	0.0

11. 訪 沖 外 国 人 観 光 客 の 情 報

(1) 観光の決め手となった情報源

全国籍では、「友人の薦め」(35.5%)が最も高く、次いで、「ガイドブック」(22.8%)となっている。中国とその他国籍では、「旅行社の薦め」(中国23.7%、その他国籍21.2%)が比較的高く、台湾では「ブログ」(11.5%)が他の国籍に比べて比較的高い。

図表 11-1 観光の決め手となった情報源 (国籍別/複数回答)



(%)

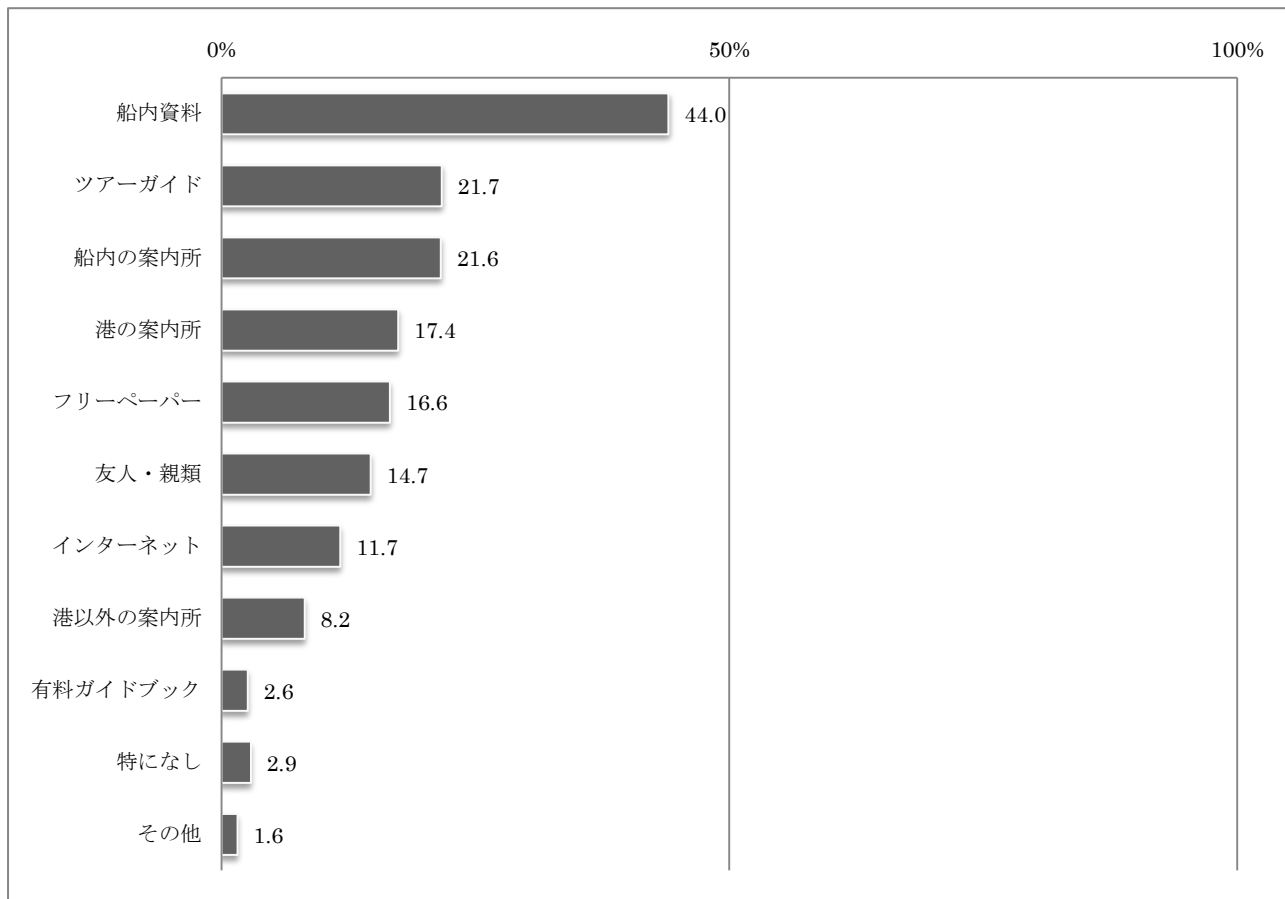
	全国籍(833)	中国(156)	台湾(479)	その他(198)
友人の薦め	35.5	39.1	44.3	11.6
ガイドブック	22.8	26.3	25.5	13.6
新聞・雑誌の広告	18.0	15.4	20.3	14.6
旅行社の薦め	17.0	23.7	13.2	21.2
新聞・雑誌の記事	9.5	7.1	11.3	7.1
テレビ番組	8.9	7.7	9.6	8.1
ブログ	8.0	3.8	11.5	3.0
旅行社のサイト	7.4	1.3	7.7	11.6
テレビ・ラジオの広告	5.6	9.6	4.0	10.1
映画・音楽ビデオ	3.5	10.3	5.6	2.0
おきなわ物語のサイト	3.1	6.4	2.3	4.0
特になし	6.5	1.3	4.2	2.0
その他	5.9	3.8	2.5	15.7

第二部 クルーズ船調査

(2) 沖縄で役に立った情報源

全国籍では、「船内資料」(44.0%)が最も高く、次いで「ツアーガイド」(21.7%)、「船内の案内所」(21.6%)となっている。台湾では「船内の案内所」(27.2%)が比較的高く、その他国籍では「港の案内所」(19.9%)の活用が目立つ。

図表 11-2 役に立った情報源 (国籍別/複数回答)



(%)

	全国籍(858)	中国(155)	台湾(482)	その他(221)
船内資料	44.0	51.0	43.2	40.9
ツアーガイド	21.7	25.2	18.7	25.8
船内の案内所	21.6	18.1	27.2	11.8
港の案内所	17.4	12.9	17.6	19.9
フリーペーパー	16.6	20.0	21.4	3.6
友人・親類	14.7	12.9	19.3	5.9
インターネット	11.7	12.3	12.4	9.5
港以外の案内所	8.2	9.7	8.3	6.8
有料ガイドブック	2.6	0.6	1.7	5.9
特になし	2.9	6.5	2.1	2.3
その他	1.6	1.3	1.0	3.2

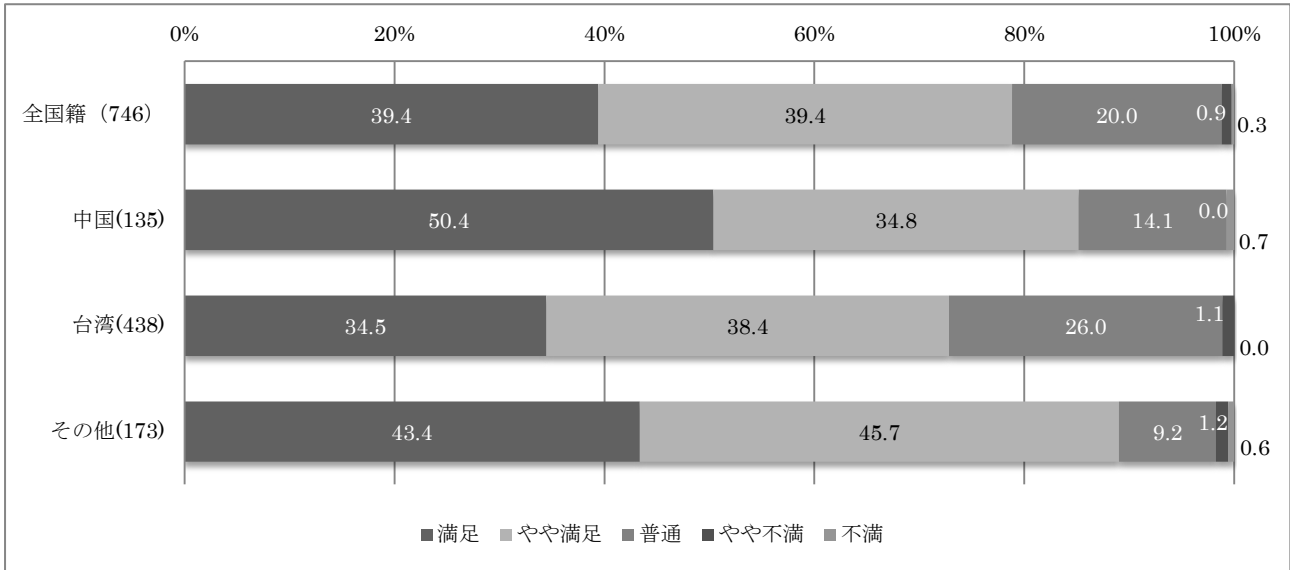
12. 沖縄旅行の評価

(1) 沖縄旅行で得られた満足度

・沖縄旅行全体

全国籍では、「満足」・「やや満足」を合わせると、78.8%となった。特に、中国での「満足」(50.4%)は最も高かった。

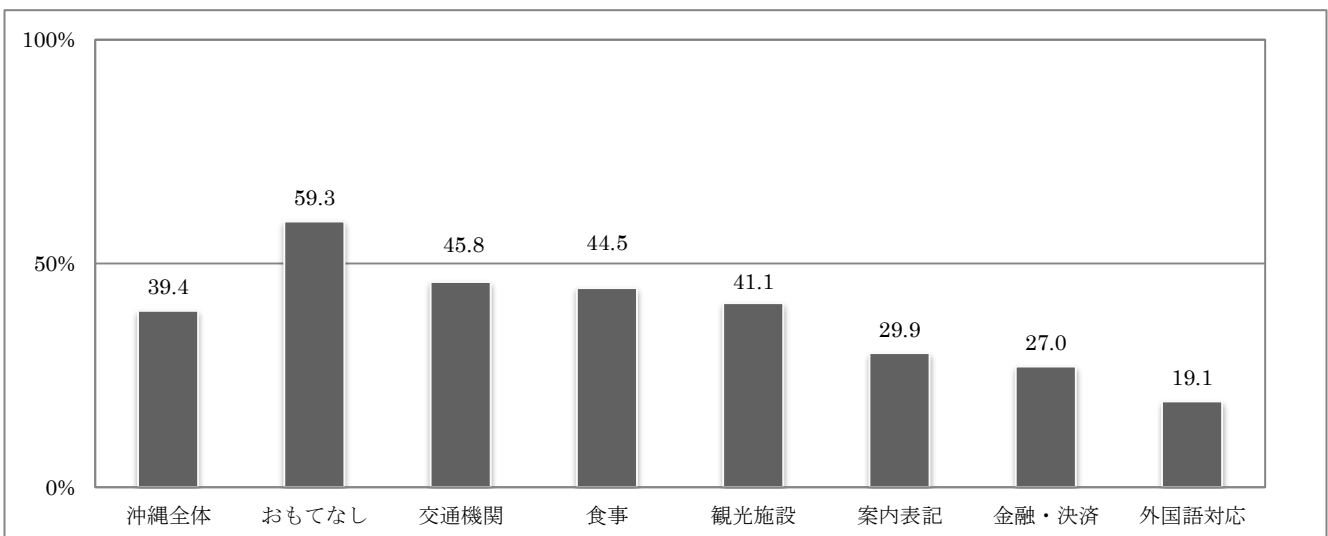
図表 12-1 旅行全体の満足度 (国籍別)



・項目別「満足」の割合

全項目で空路とほぼ同様の結果となった。おもてなしが59.3%と最も高く、本島、石垣ともに「とても親切だった。」「優しく友好的だった。」と地元の方たちの接遇に満足した意見が多く寄せられた (P.147以降参照)。一方で、金融・決済 (両替の利便性)、外国語対応は満足度が低い結果となった。

図表 12-2 満足と回答した項目

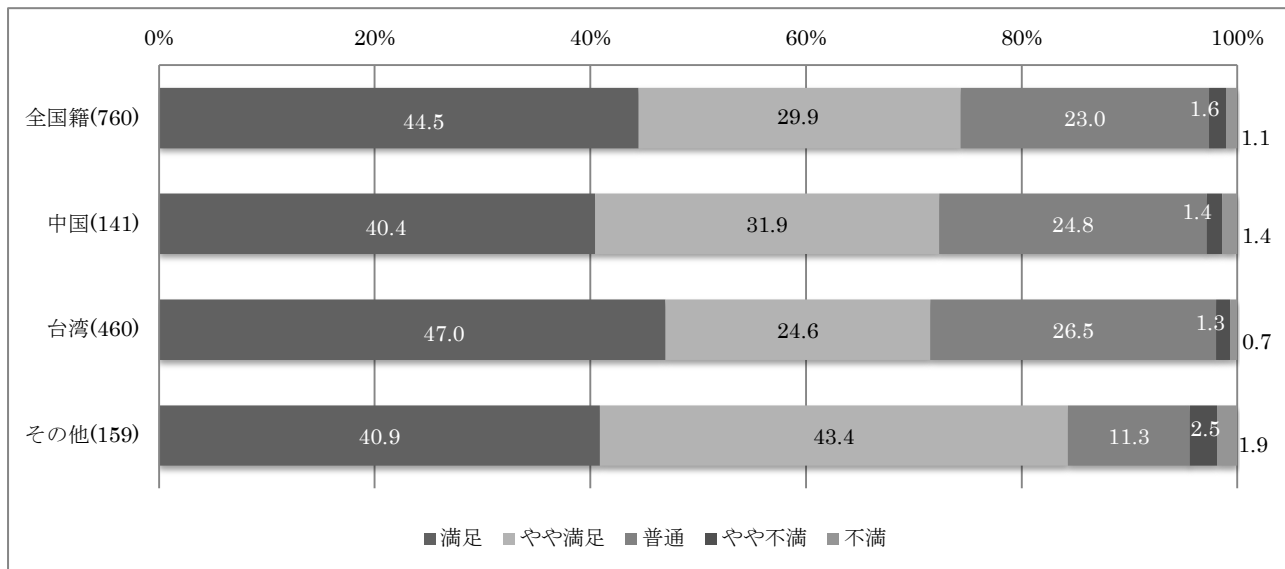


第二部 クルーズ船調査

・食事

全国籍では、「満足」・「やや満足」を合わせると74.4%となったが、中国、台湾については「普通」の割合が1/4を占めている。

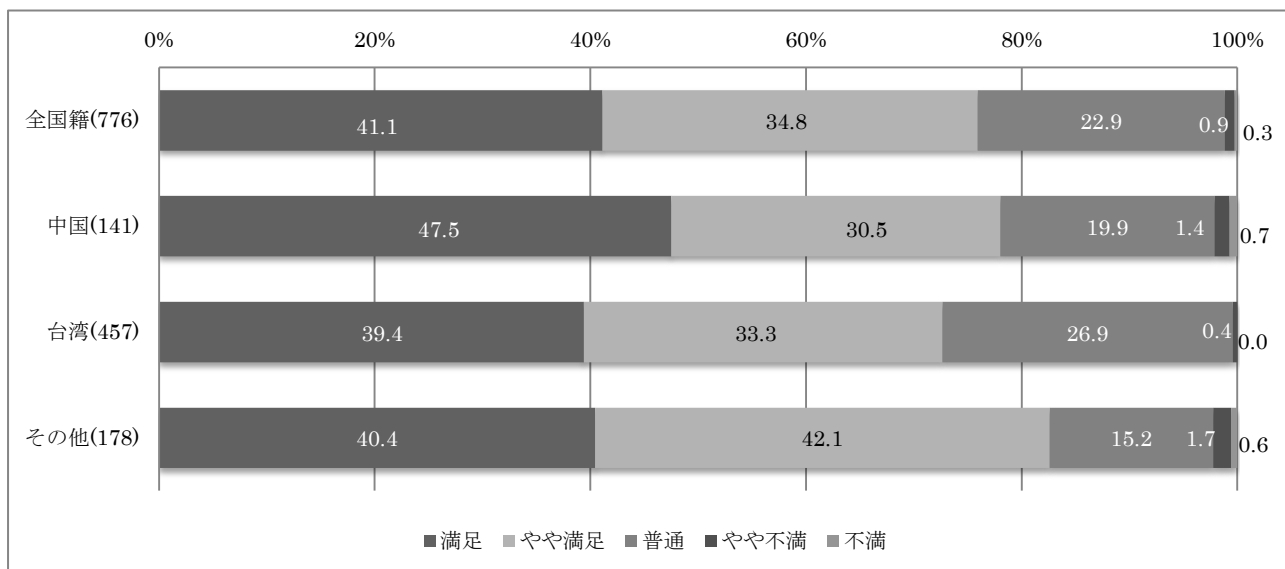
図表 12-3 食事の満足度（国籍別）



・観光施設

全国籍では、「満足」・「やや満足」を合わせると、75.9%となった。中国の「満足」(47.5%)が最も高い。

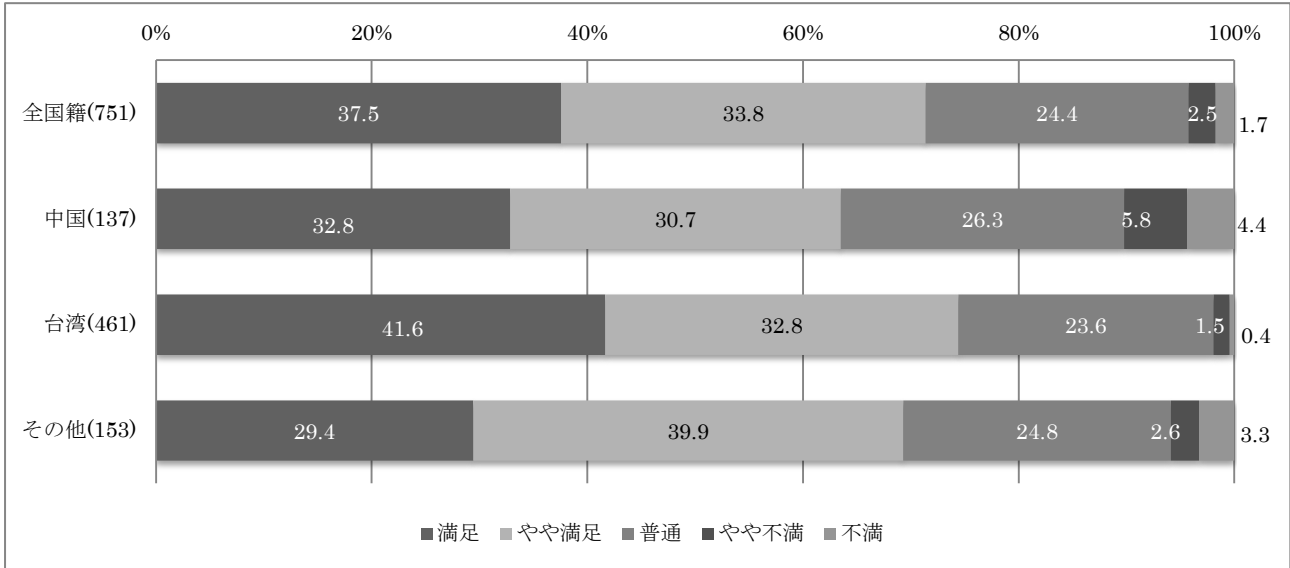
図表 12-4 観光施設の満足度（国籍別）



・ショッピング

全国籍では、「満足」・「やや満足」を合わせると、71.3%となった。台湾の「満足」(41.6%)が最も高い。その他国籍の「満足」は29.4%で最も低い。また、すべての国籍で「普通」は1/4を占めている。

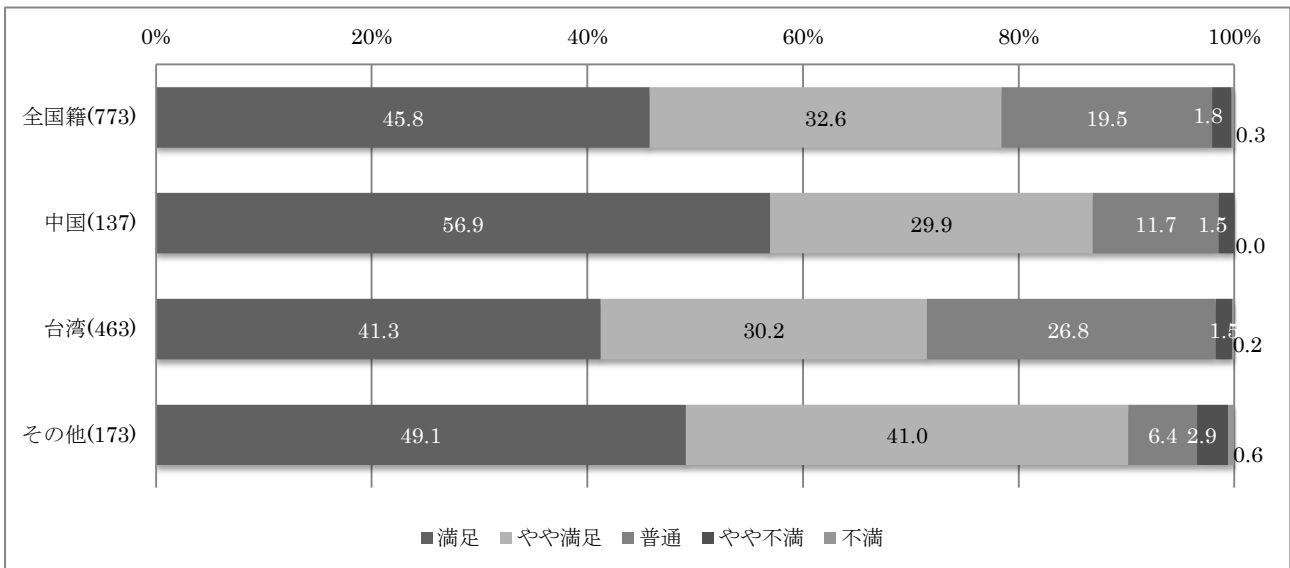
図表 12-5 ショッピングの満足度 (国籍別)



・交通機関

全国籍では、「満足」・「やや満足」を合わせると、78.4%となった。貸切バスの利用の多い中国の満足度が最も高いが(56.9%)、個人行動の多い台湾は満足度が低くなっている(41.3%)。

図表 12-6 交通機関の満足度 (国籍別)



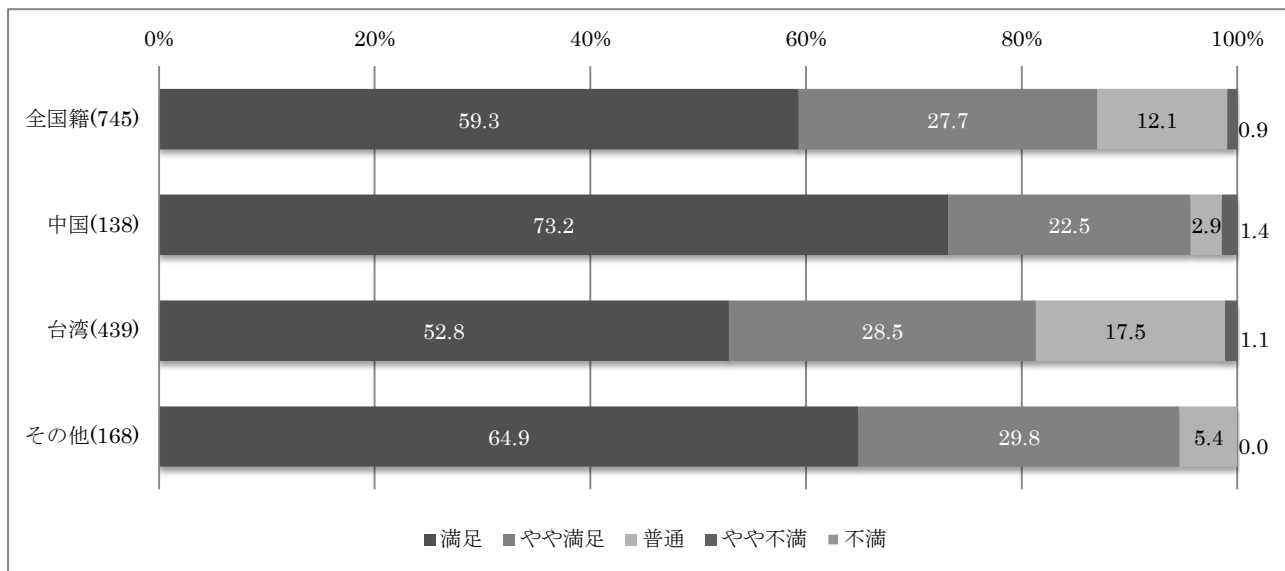
第二部 クルーズ船調査

・おもてなし

全国籍では、「満足」・「やや満足」を合わせると、87.0%となった。他の満足度の中で、「おもてなし」に関する満足度は最も高い。

中国の「満足」(73.2%)が最も高く、「やや満足」を合わせると、95.7%と満足度が高い。

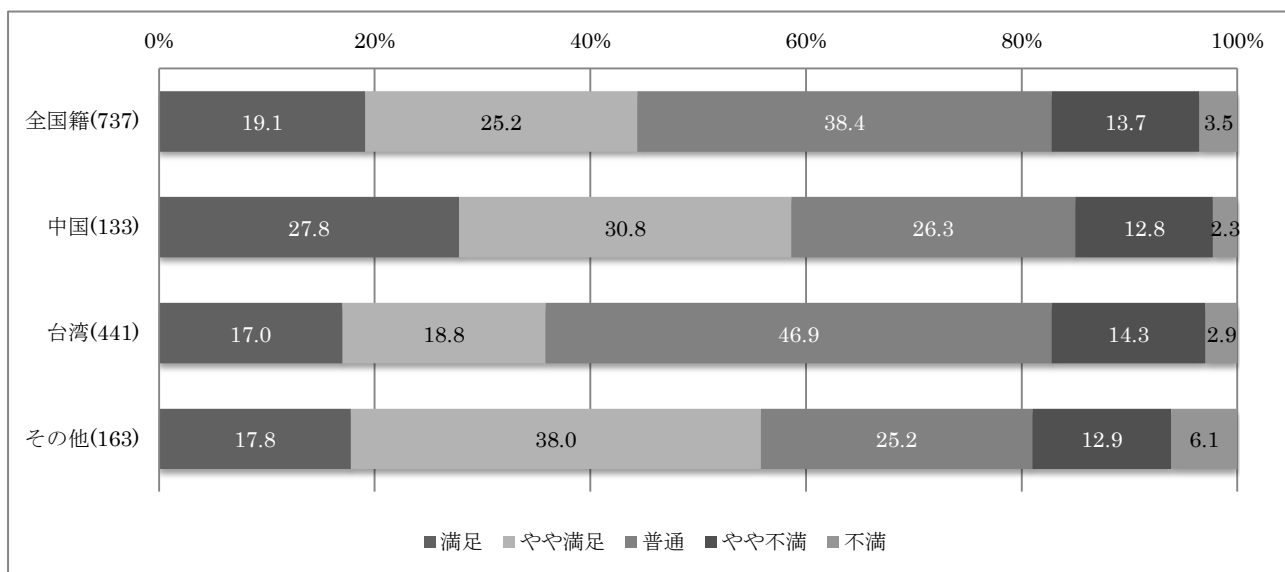
図表 12-7 おもてなしの満足度 (国籍別)



・外国語対応能力

全国籍では、「満足」・「やや満足」を合わせると、44.3%と外国語対応に関する満足度は他の満足度に比べて低い。「やや不満」「不満」の割合は約2割となっている。

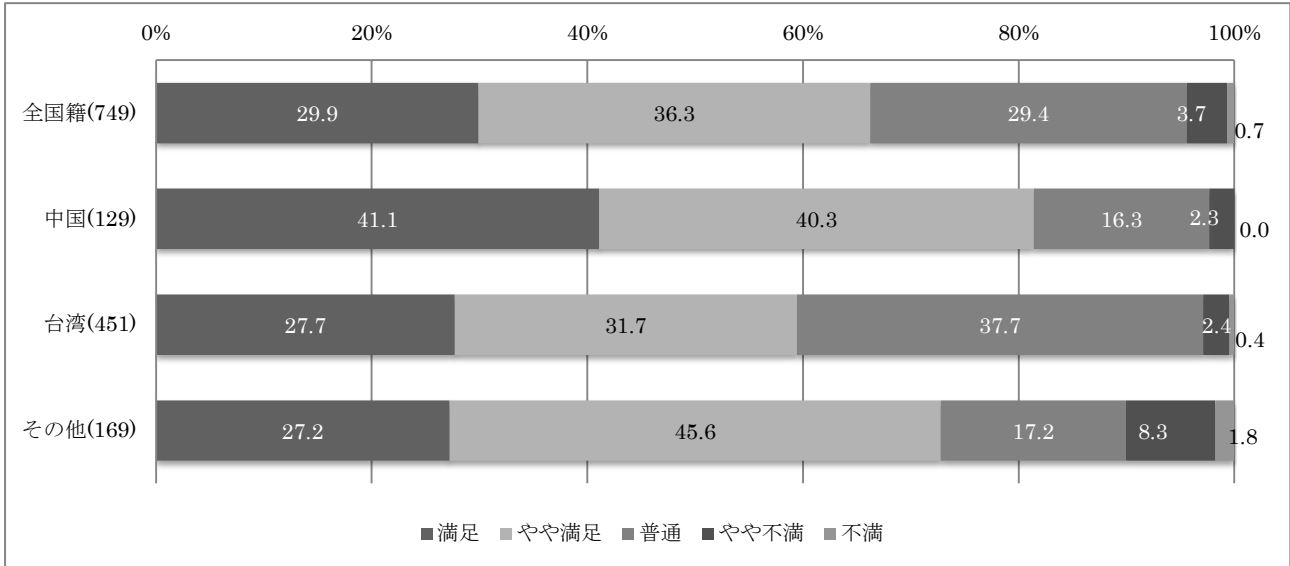
図表 12-8 外国語対応能力の満足度 (国籍別)



・案内表記

全国籍では、「満足」・「やや満足」を合わせると、66.2%となり、全体の「満足」は3割を切っており、やや低い。バスツアーの多い中国は満足度が高く、個人行動の多い台湾は低くなる傾向がある。

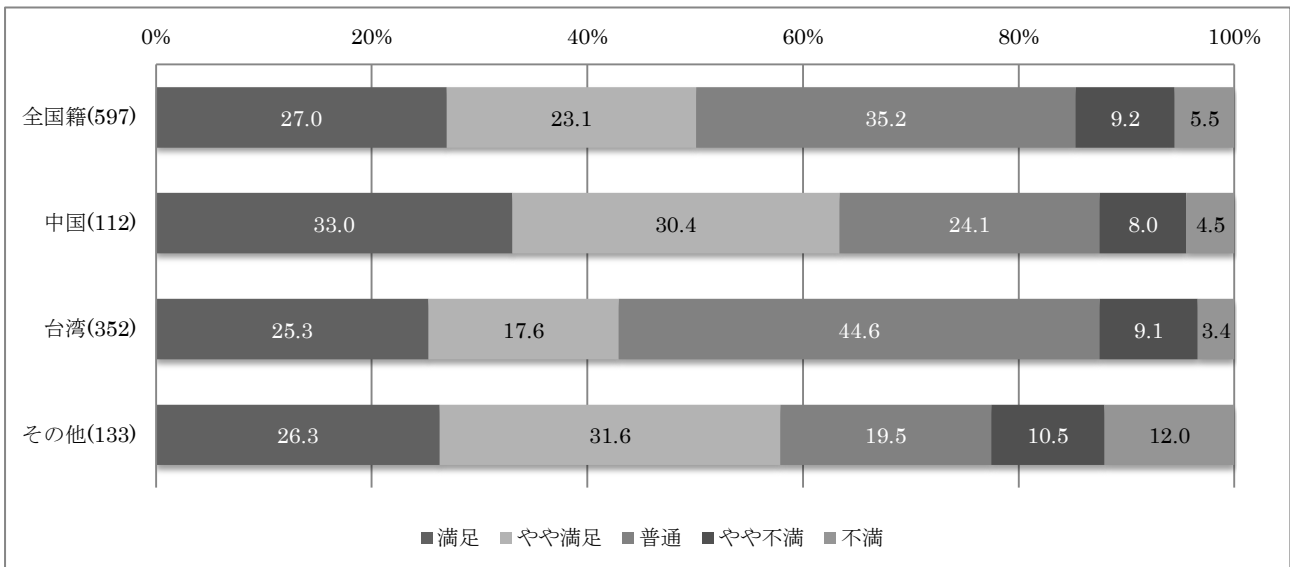
図表 12-9 案内表記の満足度（国籍別）



・金融・決済の利便性

全国籍では、「満足」・「やや満足」を合わせると、50.1%となっており、全体的に低い。

図表 12-10 金融・決済の利便性の満足度（国籍別）

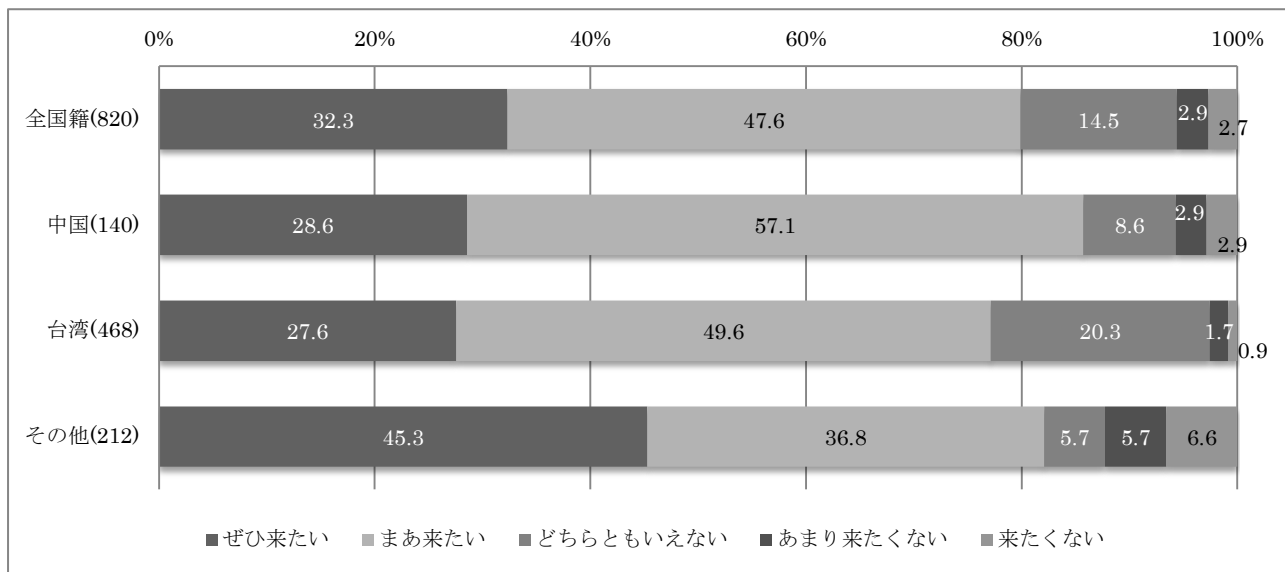


13. 沖 縄 へ の 再 訪 意 向

(1) 再訪意向

沖縄への再訪について、全国籍では、「ぜひ来たい」・「また来たい」を合わせると、79.9%となった。その他国籍は「ぜひ来たい」が45.3%と高い一方、「あまり来たくない」・「来たくない」を合わせると、1割を超える。「あまり来たくない」、「来たくない」と答えた乗客の半数以上が、欧米国籍となっている。

図表 13-1 再訪意向（国籍別）

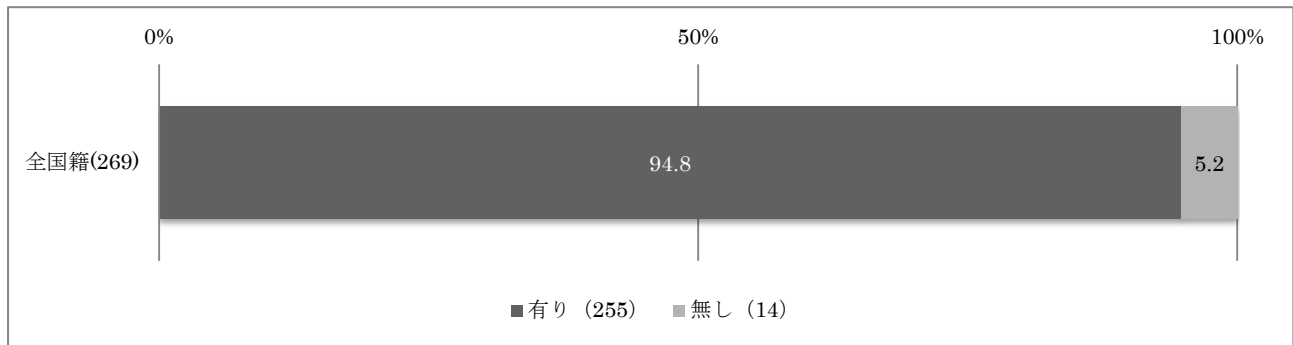


14. 石垣島入域に関する情報

(1) 石垣島下船の状況

石垣寄港の場合、那覇港下船者のほとんどが石垣でも下船していた。

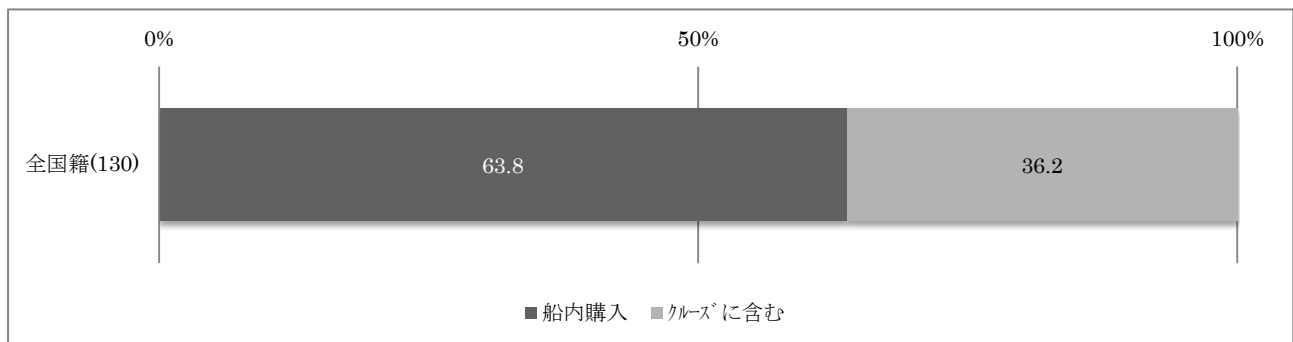
図表 14-1 石垣島下船有無



(2) 下船形態

石垣島でのツアー参加者の63.8%は船内でツアーを購入している。

図表 14-2 下船形態

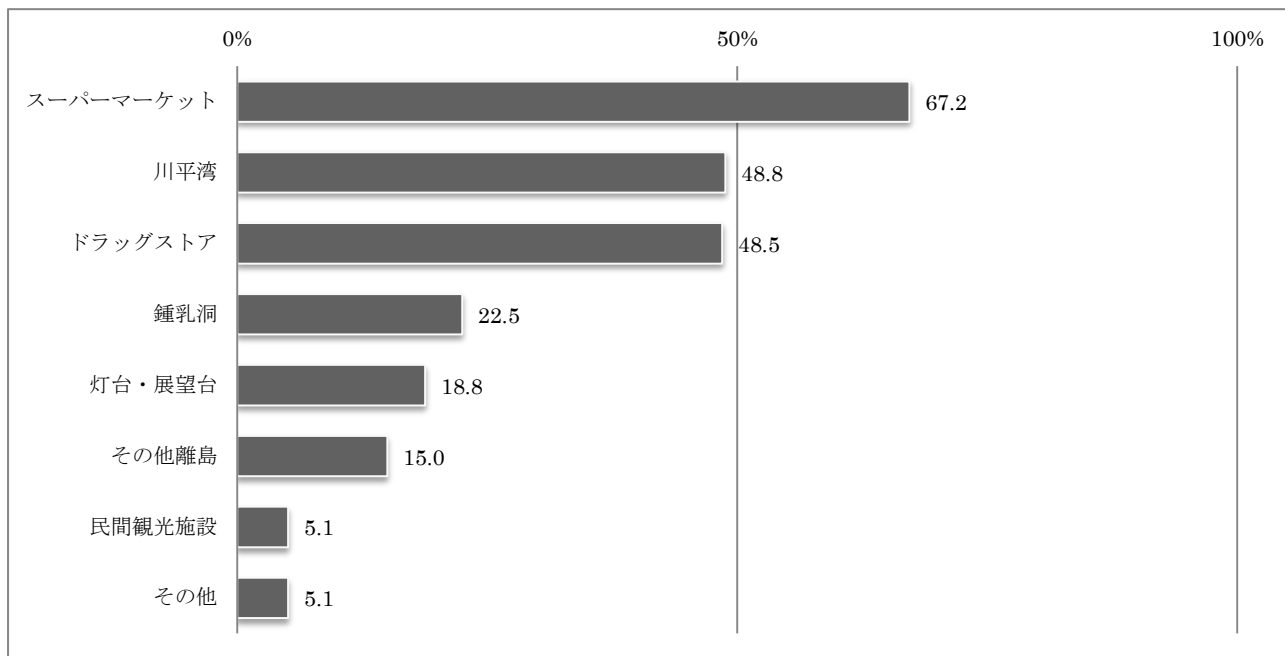


第二部 クルーズ船調査

(3) 訪問場所

石垣島ではスーパーマーケットへ訪れた割合（67.2%）が最も高い。石垣島でもドラッグストアは人気で日本の医薬品、サプリメントの購買意欲が伺える。

図表 14-3 訪問場所（国籍別/複数回答）



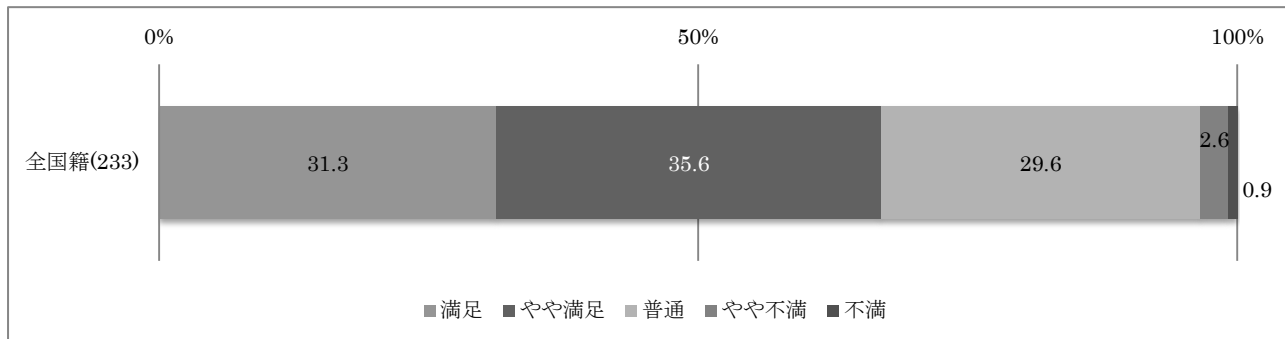
(%)

	全国籍(293)	中国(9)	台湾(217)	その他(67)
スーパーマーケット	67.2	77.8	81.1	20.9
川平湾	48.8	33.3	61.8	9.0
ドラッグストア	48.5	11.1	63.6	4.5
鍾乳洞	22.5	0.0	28.6	6.0
灯台・展望台	18.8	22.2	23.5	3.0
その他離島	15.0	22.2	17.5	6.0
民間観光施設	5.1	22.2	4.6	4.5
その他	5.1	11.1	4.1	7.5

(4) 石垣島の満足度

全国籍では、「満足」・「やや満足」を合わせると、66.9%となっている。

図表 14-4 石垣島の満足度



15. 訪沖外国人観光客の旅行支出(海路)

(1) 消費額推計結果 (上下期別、バスツアー参加費のうちの県内消費額を含む)

空路では中国の消費額が台湾と比較し約 1.8 倍だったが (P.32 参照)、クルーズでは台湾との差は、それほど大きくない。

図表 15-1 1人あたり観光消費額 (円) (国籍別)

	沖縄全体	沖縄本島			石垣
	全国籍	全国籍	中国	台湾	その他
上半期	21,057	16,687	19,425	16,330	15,379
下半期	14,389	12,090	14,291	21,310	5,460
年度合計	20,001	15,959	18,993	16,970	13,038

※四捨五入のため総額が一致しない場合がある。

(2) 費目別旅行支出 (バスツアー参加費内訳を含む)

費目別では中国の「土産・買物費」が高く (12,400 円)、台湾は飲食費が 1,948 円と中国の倍以上の高い消費額となっている。

図表 15-2 1人あたり観光消費額 (円) 費目内訳 (国籍別) ※本島支出のみ

	合計	宿泊費	土産・買物費	娯楽・入場費	飲食費	県内交通費	その他
全国籍	15,959	—	10,091	1,240	1,280	3,036	311
中国	18,993	—	12,400	1,056	579	4,957	0
台湾	16,970	—	10,667	1,341	1,948	2,379	636
その他	13,038	—	8,108	1,218	843	2,788	82

※四捨五入のため総額が一致しない場合がある。

図表 15-3 【参考】客種別 1人あたり観光消費額

	沖縄本島			石垣		
	個人行動客	バスツアー客	乗務員	個人行動客	バスツアー客	乗務員
上半期	17,090	15,982	10,402	9,535	11,905	5,658
下半期	15,244	13,258	4,857	8,505	9,876	2,642
年度合計	16,789	15,551	9,524	9,409	11,656	5,289

※四捨五入のため総額が一致しない場合がある。

(1) 推計方法

当アンケート調査では、ツアー料金・往復交通費等旅行前支出、沖縄県県内での旅行中支出 (宿泊費、土産・買物費、娯楽・入場費、飲食費、県内交通費、その他) を調査し、四半期毎・国籍別に算出し、四半期毎・国籍別の入域観光客数により重みを付けて年平均値を推計している。なお、旅行前に支払われているツアー料金のうち県内観光産業に吸収される額については、個人旅行者の消費額費目構成比から推計し、旅行中の支払額に加算して、1人あたり観光消費額としている。

(2) 推計結果

24年度の1人あたり観光消費額は、空路は 83,336 円、海路は 20,001 円 (特例上陸者込み) となった。国籍別では、空路・海路とも中国本土が最も高く特に土産・買物費の額が高い。また飲食費は台湾が最も高くなっている。

16. クルーズ船国籍別サマリー

①中国



海路のみ

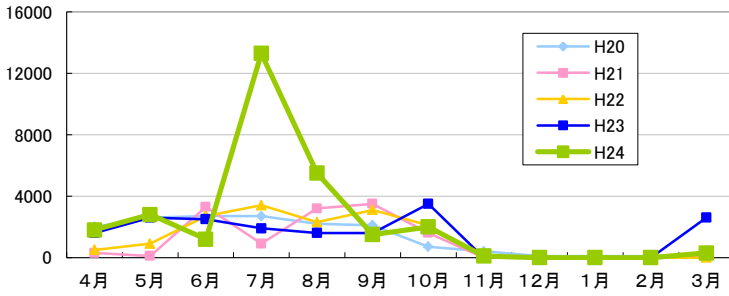
- 訪沖外客数 28,500人(前年度比159%、海路中シェア19.8%)
- 本島での1人当たり旅行支出 18,993円(参考値)

特徴

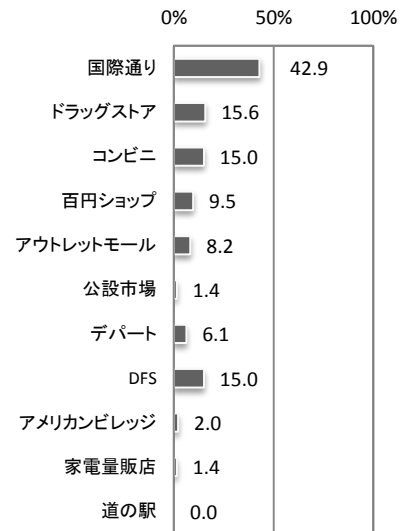
- ・大型クルーズ寄港により、入域客数が前年度より6割増加した
- ・DFSの訪問率が他の国籍と比較すると高い(15.0%)

(人)

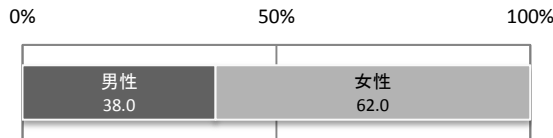
入域観光客数(5年分)



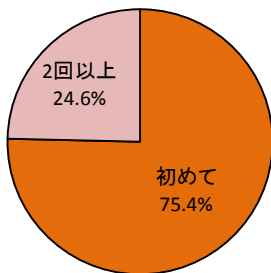
買物場所



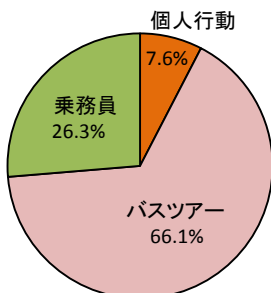
性別



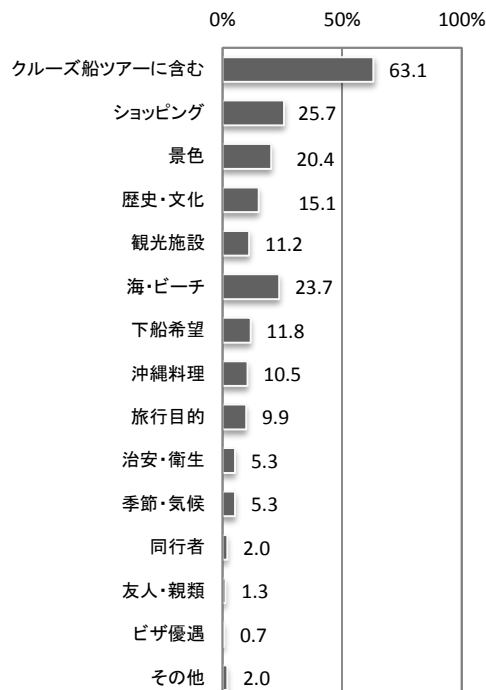
来沖回数



下船形態

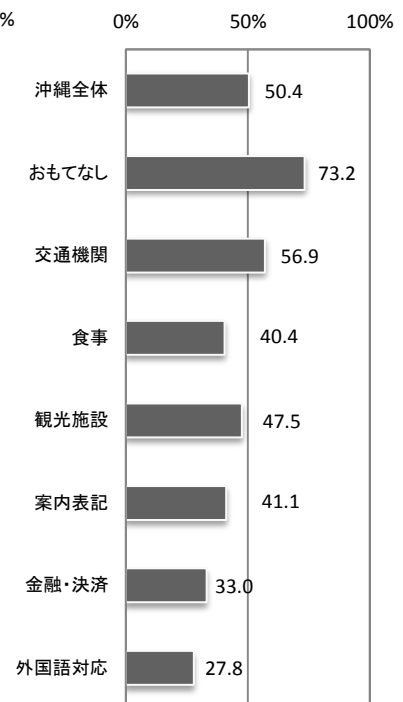


下船理由



※乗務員を除く

満足率



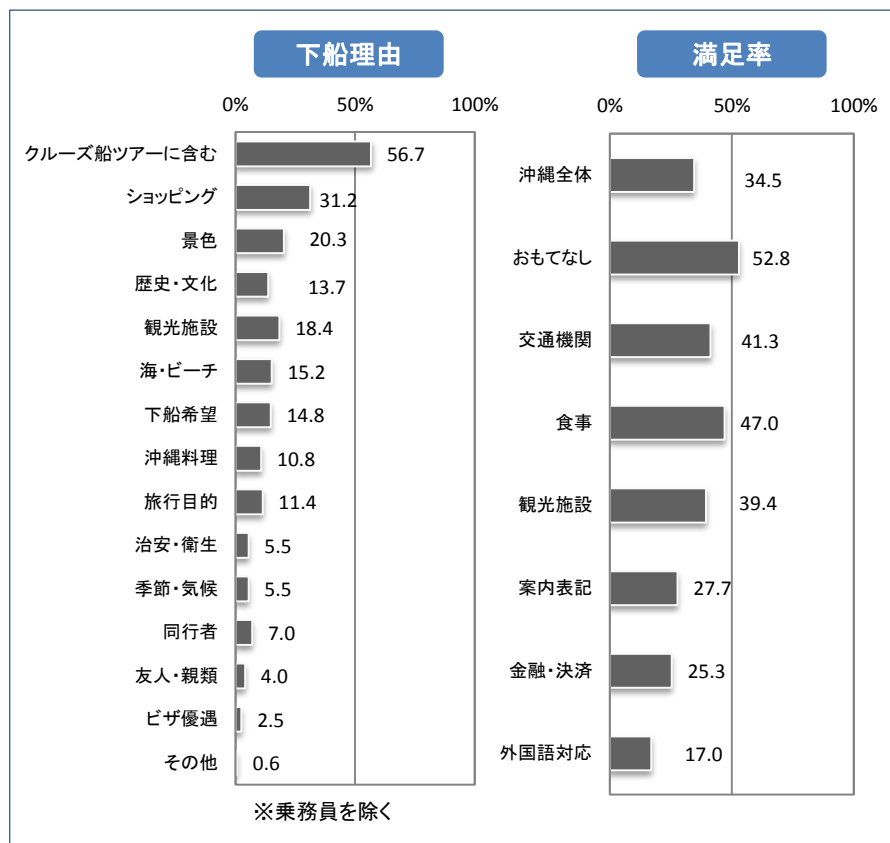
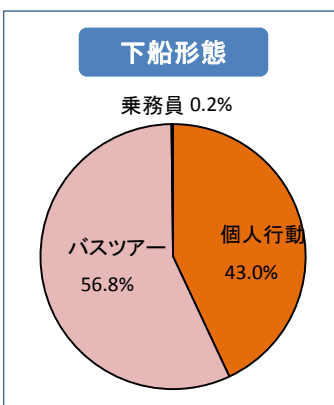
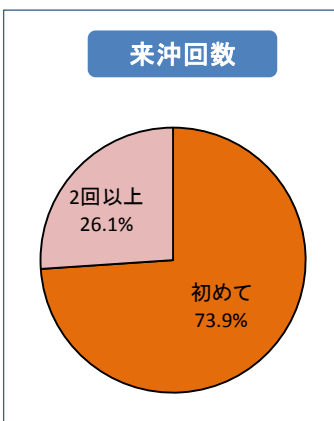
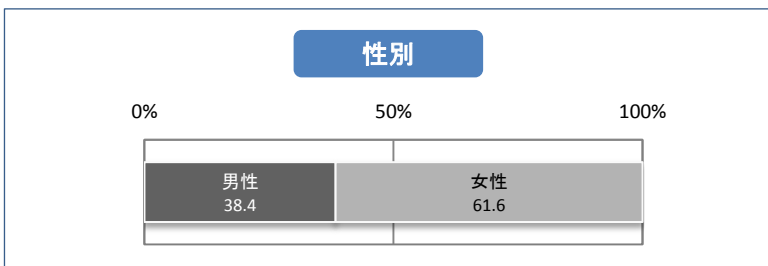
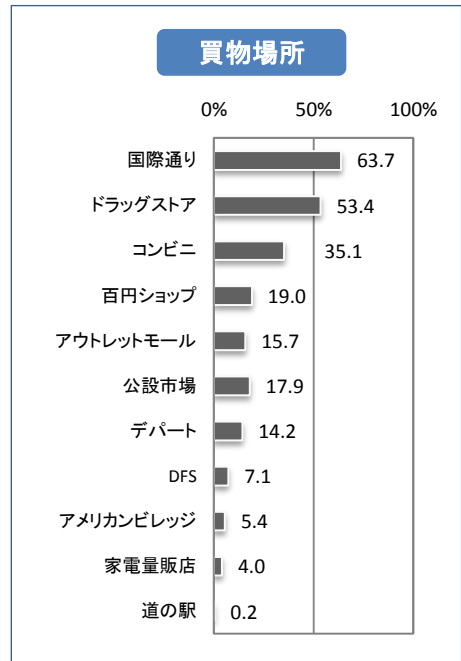
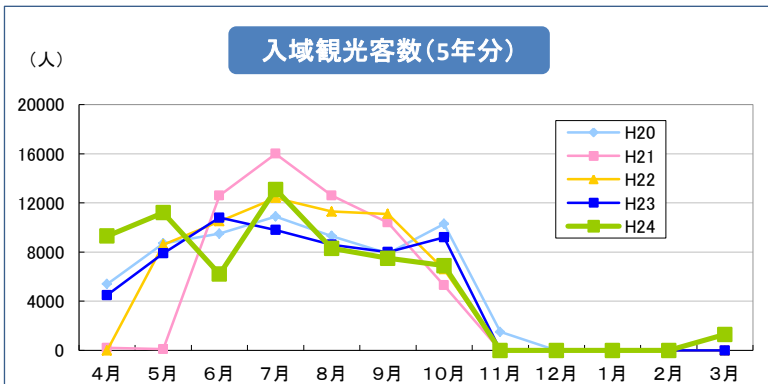
②台湾

海路のみ

■ 訪沖外客数 63,800人(前年度比109%、海路中シェア44.3%)
 ■ 本島での1人当たり旅行支出 16,970円(参考値)

特徴

- ・4月から10月に入域客数が集中している
- ・ドラッグストアの訪問率が他の国籍と比較すると高い(53.4%)
- ・食事の満足度が高い傾向にある



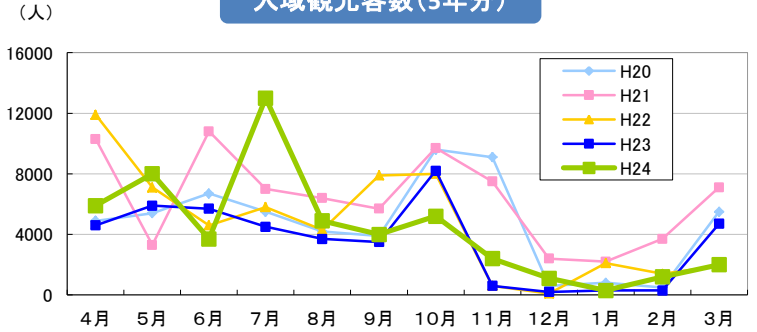
③その他

海路のみ

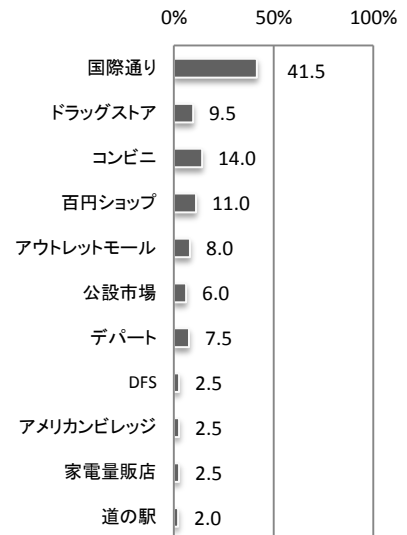
■訪沖外客数 51,700人(前年度比123%、海路中シェア35.9%)
 ■本島での1人当たり旅行支出 13,038円(参考値)

特徴
 ・乗務員は多国籍なため、その他国籍には多く乗務員が含まれている
 ・下船理由として歴史・文化を挙げる割合が高い

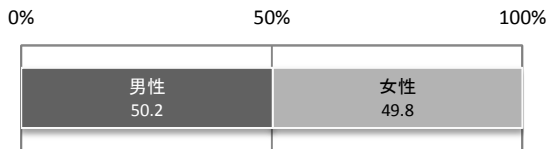
入域観光客数(5年分)



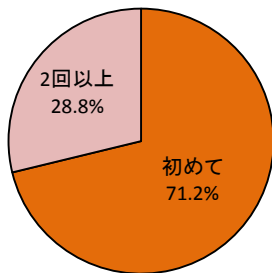
買物場所



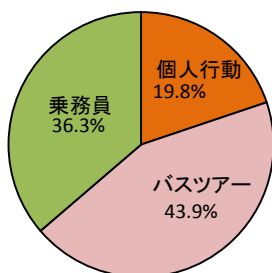
性別



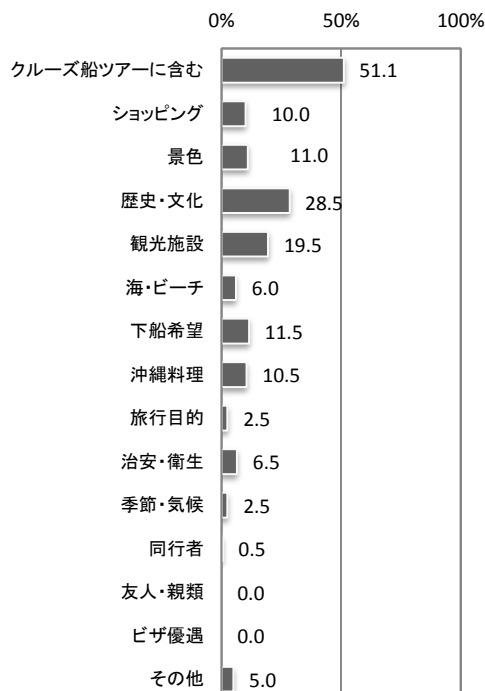
来沖回数



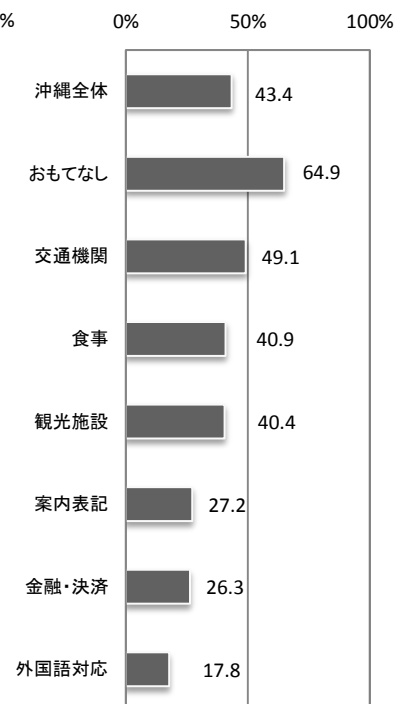
下船形態



下船理由



満足率



※乗務員を除く

